

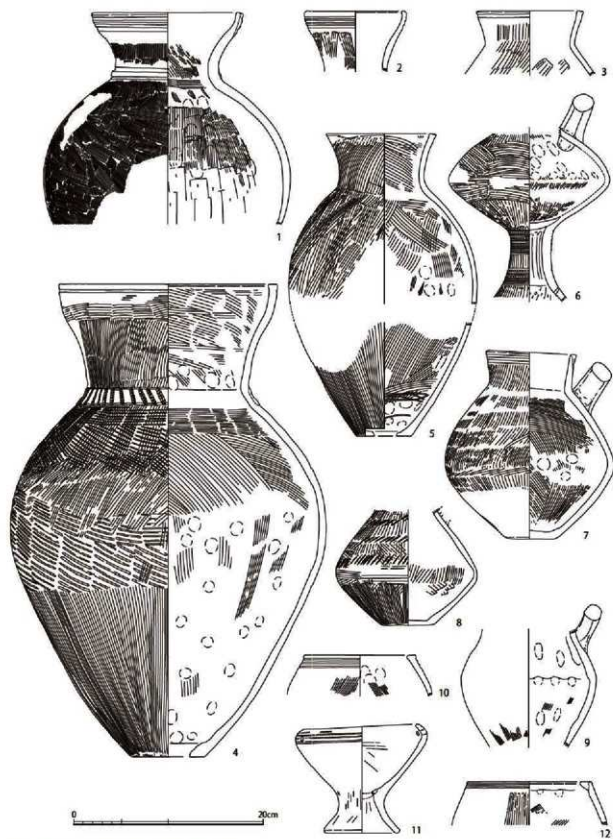
第217図 ST3出土土器実測図(縮尺1/4)

は上方につまみ上げるもの(7~9)や、端面に凹線文を施文するものなどがある(10・12)。高杯は口縁が内湾した後に立ち上がるもの(第220図1・2・4・6)と外側に水平に延びる部分をもつもの(8・9)の二者が存在する。以上のST3出土土器の時期は中期後葉である。

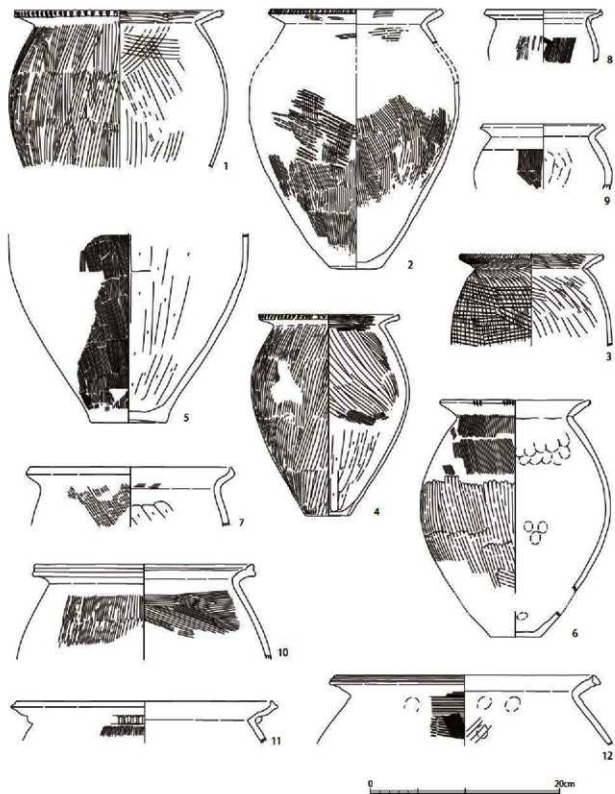
ST4出土土器は細片のみで良好な土器はない(第220図13~17)。時期は中期後葉である。

ST5からは各種の壺が出土している(第221図)。広口壺1は口縁部外面に凹線文、肩部に櫛描直線文・波状文を重ね、口縁部内面にはハケメ原体の刺突文を入れ、突起をつけている。底部には焼成後の穿孔がある。タタキ調整がみられる短頸壺4は把手はないが口縁部には刺り込みがみられる。水差し7も刺り込みがあるほか、底部に焼成後穿孔がみられる。同遺構の甕(第222図1)は口縁端部が弱くつまみ上げられている。5は台付鉢で紐孔がみられる。これらの時期は中期後葉である。

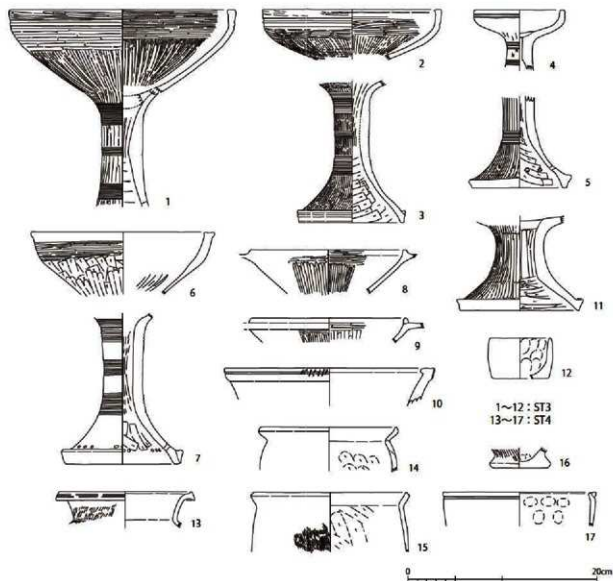
第222図6~8はST6出土で中期後葉と思われる。6は残りが悪い土器で櫛描文がかすかに認められる。一段階古い混入品か。9はST7から出土した甕で後期中葉頃のものであろう。10・11はST8か



第218圖 ST3出土土器実測図(縮尺1/4)



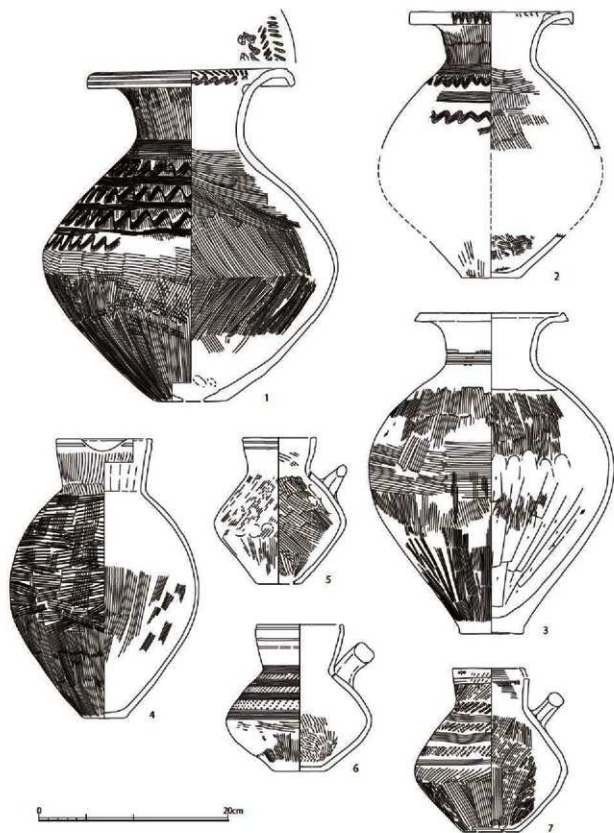
第219図 ST3出土土器実測図(縮尺1/4)



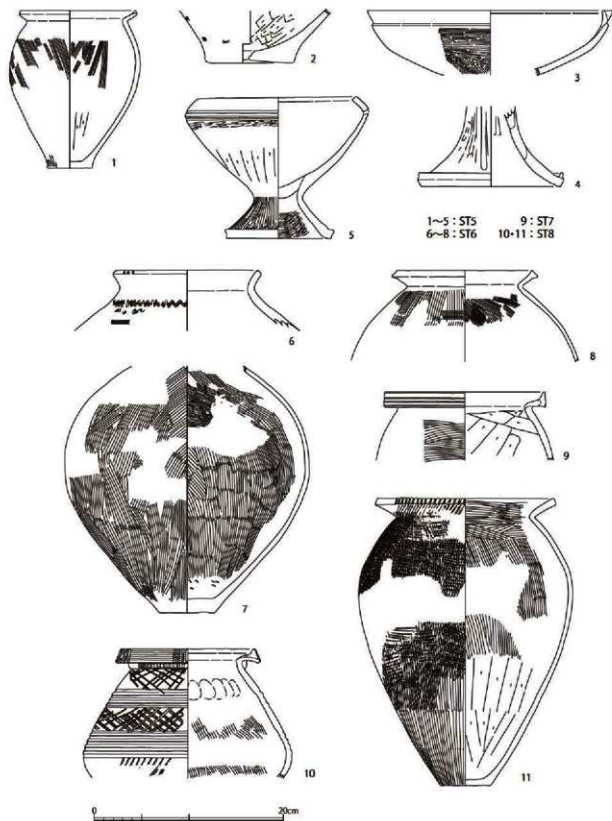
第220図 ST3・4出土土器実測図(縮尺1/4)

ら出土した。10は壺形の土器。口縁部は凹線文を施文した上から棒状浮文を貼り付け、頸部には圧痕文突帯を貼り付けている。体部にも斜格子文と凹線文を繰り返し施文し、最下段にハケメ原体による列点文を入れる。土器の形態と体部への凹線文の多用は当地域と周辺地域のいずれにもみられない特徴であり、兵庫県播磨地方からの搬入土器と考えられる。11は口縁端部に刻目を入れるタタキメをもつ長胴気味の甕。両者の時期は中期後葉である。

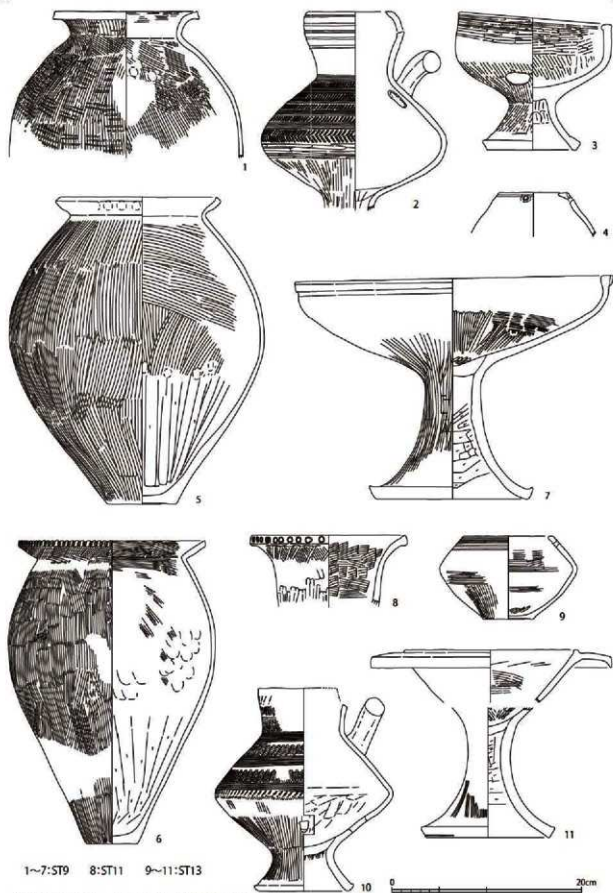
第223図1～7はST9出土土器である。高杯3は杯部に焼成後穿孔がある。6は縦長のプロポーシオンをもつ甕。体部は外面をハケメ調整し、内面は下半のみヘラケズリがみられる。口縁端部にはハケメ原体による刻目がみられる。7は大形の杯部をもつ高杯で口縁部が方形に肥厚する。以上は中期後葉である。8はST11出土の壺で口縁端部に竹管文を施文する。弥生中期か。9～11はST13出土。9は口縁部に凹線文5条を施文する無頸壺で、紐孔をもつ。10は低い脚台が付けられた水差しで把手方向の



第221图 ST5出土土器实测图(縮尺1/4)

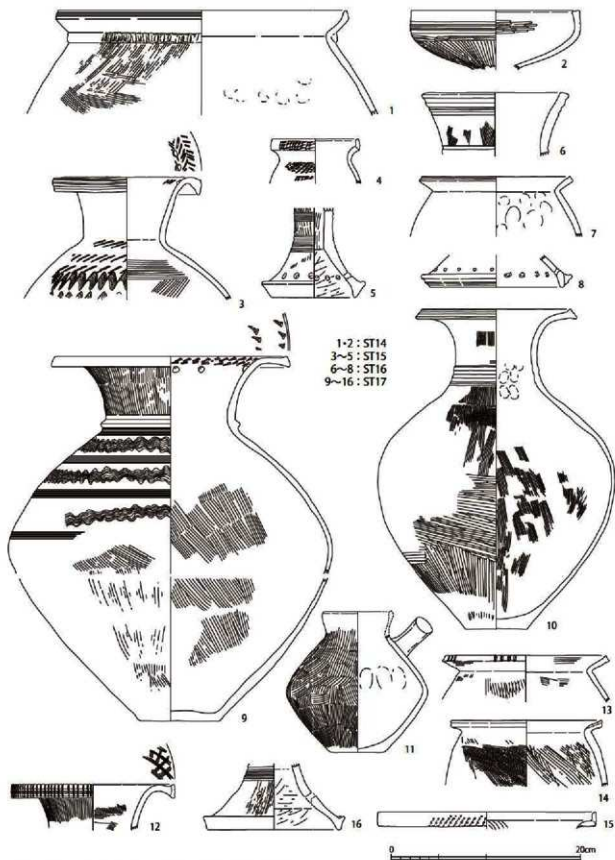


第222図 ST5・6・7・8出土土器実測図(縮尺1/4)

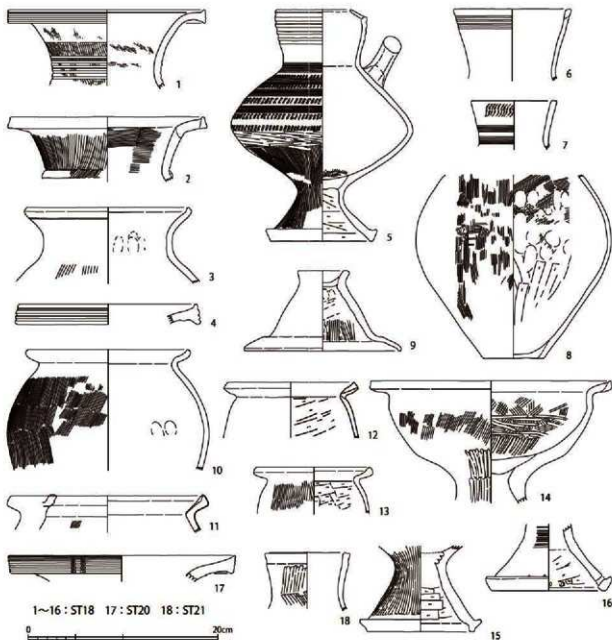


1~7:ST9 8:ST11 9~11:ST13

第223図 ST9・11・13出土土器実測図(縮尺1/4)



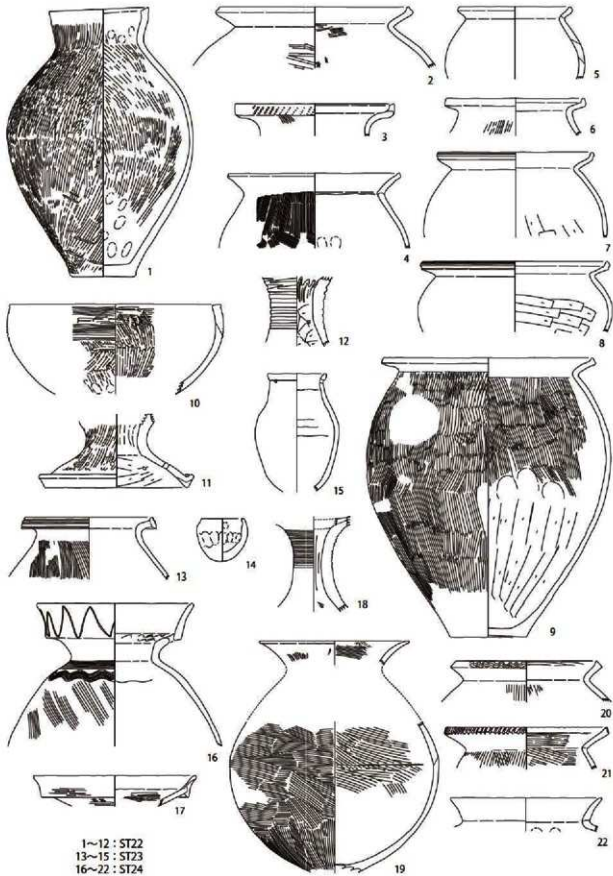
第224図 ST14・15・16・17出土土器実測図(縮尺1/4)



第225図 ST18・20・21出土土器実測図(縮尺1/4)

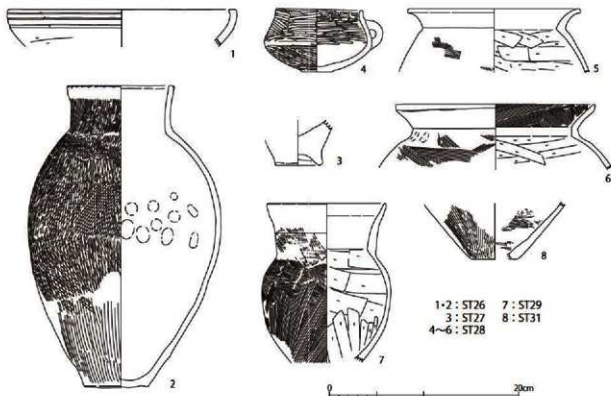
口縁部には割り込みがある。11は口縁部から水平方向に伸びてさらに垂下する延長部分をもつ高杯。脚部内面をヘラケズリ調整している。これらST13の土器も中期後葉である。

第224図1・2はST14出土。1は大型の甕で頸部に指頭圧痕文突帯を貼付け、口縁端部には凹線文2条を施文する。2は高杯の杯部である。両者は中期後葉である。3～5はST15出土で4は近江系の受口状口縁甕である。3点とも中期後葉。6～8はST16出土。3点とも小片で良好な資料ではないが、これらも時期は中期後葉である。9～16はST17出土土器で、同じく中期後葉。9の広口壺は口縁内面に櫛描扇形文2段を施文し、その直下に突起をつけている。15の近江系受口状口縁甕は後期のものにもみえ、混入品と思われる。



第226図 ST22・23・24出土土器実測図(縮尺1/4)

0 20cm



第227図 ST26・27・28・29・30出土土器実測図(縮尺1/4)

第225図1～16はST18から出土した。台付水差5は体部上半に櫛描直線文と櫛描列点文を交互に施文、口縁部には凹線文5条を施文する。把手方向の口縁部に刺り込みがある。9は重厚な作りの壺である。11は壺の口縁で、焼成前に部分的に縦位に粘土紐を貼り足している。乾燥時の破損を補修したもののか。以上は中期後葉のまとまった資料である。17はST20出土で口縁端部に凹線文施文後、棒状浮文を貼付けた痕跡がある。中期後葉の壺か。18はST21出土の壺で中期後葉。

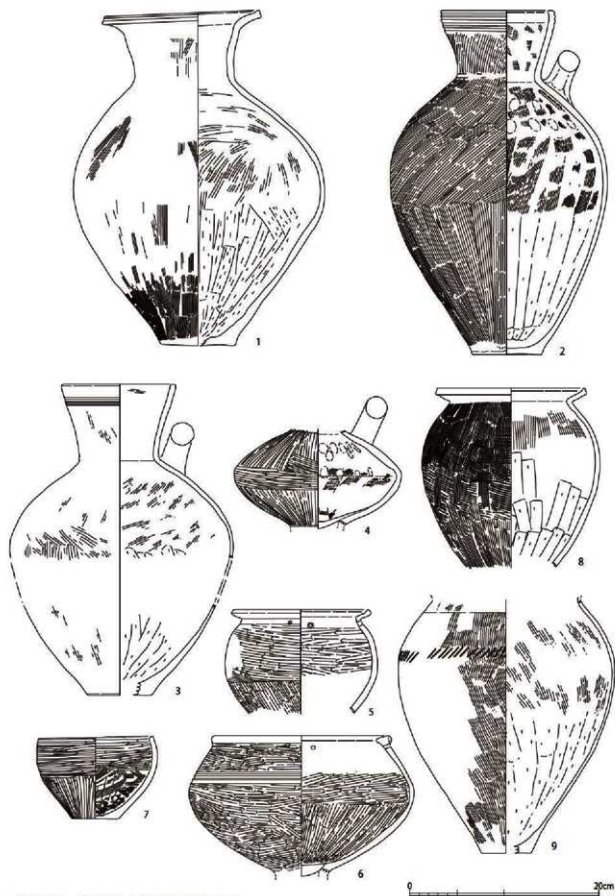
第226図1～12はST22出土で中期後葉の資料。3は近江系受口状口縁壺の口縁部である。10は体部が深い鉢で外面に櫛描直線文を2段施文する。13～15はST23出土。15は砲弾型の小型壺で口縁部は粘土紐を貼付け、紐孔状の穿孔がある。内外ナデ調整である。14は半円形を呈する鉢形のミニチュア品。13の壺から判断して14・15も弥生中期後葉であろう。16～22はST24出土。二重口縁壺16は口縁部外面にヘラで波状文が、肩部に櫛描直線文・波状文がみられる。17は器台。以上2点は終末期のものでそれ以外は中期後葉に位置付けられる。後者が混入品であろうか。

第227図1・2はST26出土で1は凹線文3条を施文する高杯、2は短頸壺で口縁端部の外側に刻目を入れる。中期後葉。3はST27出土。厚手の底面が大きく凹む底部で時期は不明。4～6はST28出土で4は把手付の無頸壺の精製品。壺5・6は単純口縁をもつ。いずれも後期である。7はST29出土の内面ヘラケズリ調整の壺で後期と考えられる。8はST31出土の壺の底部で、調整と胎土・焼成から搬入品の近江系受口状口縁壺の底部と判断できる。中期後葉。

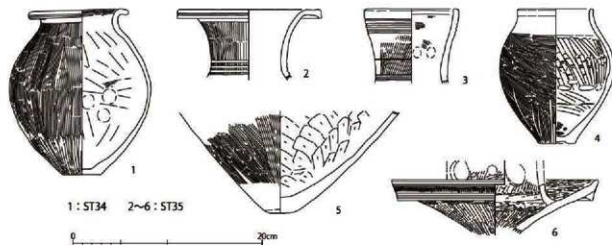
第228図にはST32出土土器を挙げた。2は壺底部と考えられ、焼成後穿孔がある。3は精製の壺で体部外面には条線が細かいハケメ、口縁部はヘラミガキ後に竹管文を施文している。4は小型の短頸壺で底部に焼成後穿孔がみられる。5は大型壺の肩部で2方向に半環状の把手がつけられている。壺7は



第228圖 ST32出土土器実測図(縮尺1/4)



第229図 ST33出土土器実測図(縮尺1/4)



第230図 ST34・35出土土器実測図(縮尺1/4)

完形品で外面ハケメ調整、内面はナア調整で口縁部内面に羽状刺突文がめぐる。石川県加賀地方に主体的に認められる土器である⁽³⁾。焼成・胎土も異質であり搬入品であろう。胎土中には海綿骨針の含有は認められない。底部には焼成後の穿孔がある。16は脚部を欠損する台形土器である。以上の土器の時期は中期後葉である。

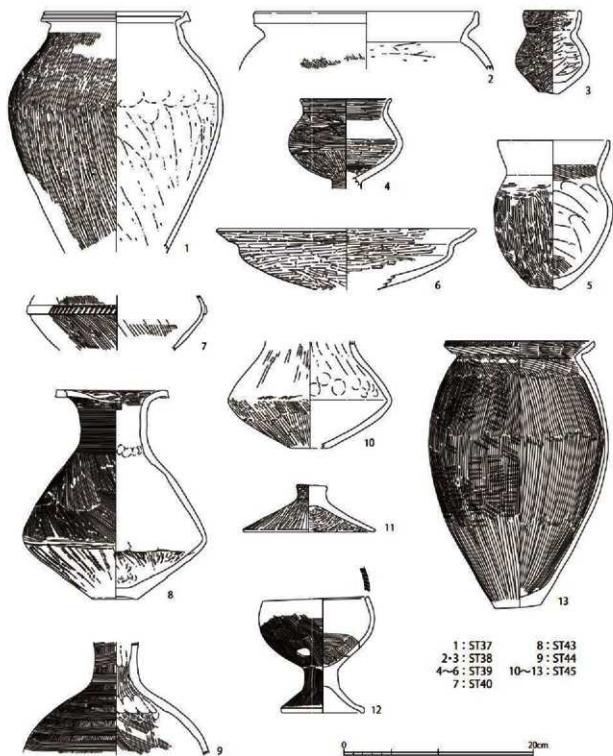
第229図はST33出土土器。壺頸はいずれも口縁部を除いて文様を施文していない。4は扁平な体部をもつ台付の水差。6は大型の台付無頸壺で紐孔がある。壺9は肩部にハケメ原体で列点文を施文している。いずれも中期後葉の時期である。

第230図1はST34出土の壺でハケメ調整後、下半をヘラミガキ。中期後葉である。2～6はST35出土で2～4が中期後葉。5は大型壺の底部、6は裝飾器台で、受け部端面には擬凹線文を施文後、鋭利な原体で列点文を入れている。後期後葉から終末期である。

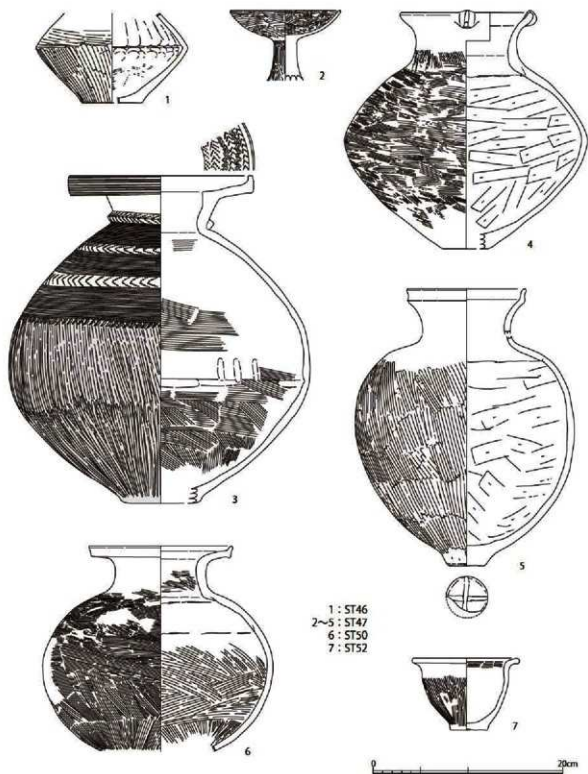
第231図1はST37出土土器で口縁部が強くすぼまる器形をもち、体部外面の上半をハケメ調整、下半をヘラミガキ調整する。口縁部に凹線文2条を施文する。内面調整は上半ナア、下半はヘラケズリ。岡山県・香川県などの中部瀬戸内地方からの搬入品であろう。時期は中期後葉である。2・3はST38出土。2は無文の有段口縁をもつ大型の甕、3はヘラミガキ仕上げの小型壺である。両者とも後期の資料である。4～6はST39出土で同じく後期である。7はST40出土で、搬入品と考えられる近江系受口状口縁をもつ鉢の体部。時期は後期である。

同図8はST43出土土器で直立する頸部に櫛描直線文帯を入れており、口縁部は打ち欠いている。中期中葉に遡るものである。44はST44出土の細頸壺で櫛描直線文を多段施文する。こちらも中期中葉に遡るものだが、残りが悪く方形周溝墓に伴うものではないかもしれない。10～13はST45から出土した。12は台付鉢で口縁端部にハケメ原体による刻目があり、体部に焼成後穿孔がみられる。13は長胴でタタキメ後ハケメ調整の甕。口縁端部に刻目を入れる。これらは中期後葉である。

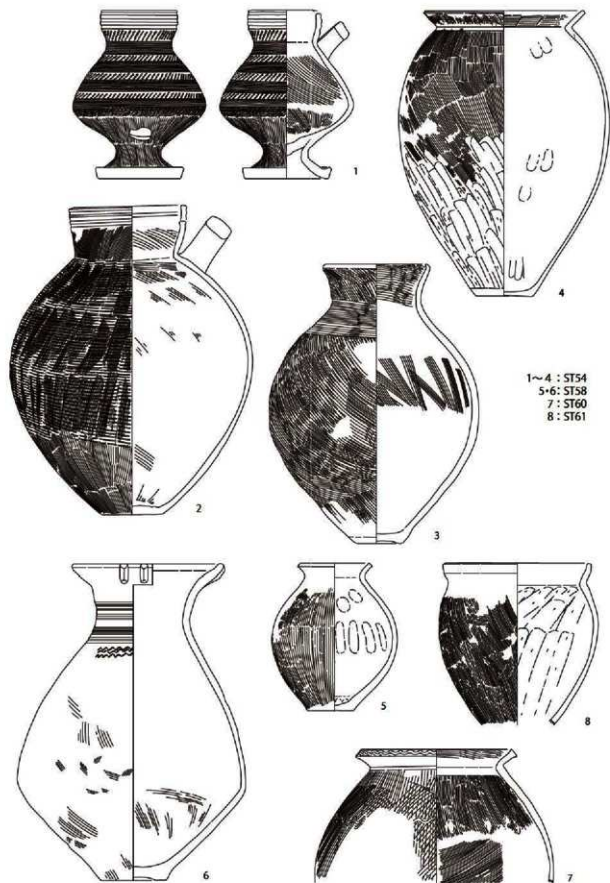
第232図1はST46出土の壺で、胴部は強く屈曲し外面ヘラミガキ調整、内面はナア調整である。中期後葉と考えられる。2～5はST47出土土器。3は白色の精良な胎土で近江・東海系の搬入品と考えられる⁽⁴⁾。加飾壺で頸部には突帯上に櫛描列点文を入れ、体部上半には櫛描直線文と列点文を重ねる。下半はヘラミガキ調整と赤彩を施す。5は有段口縁壺で底部に十字状のヘラ記号をもつ。以上は終末期



第231図 ST37・38・39・40・43・44・45出土土器実測図(縮尺1/4)

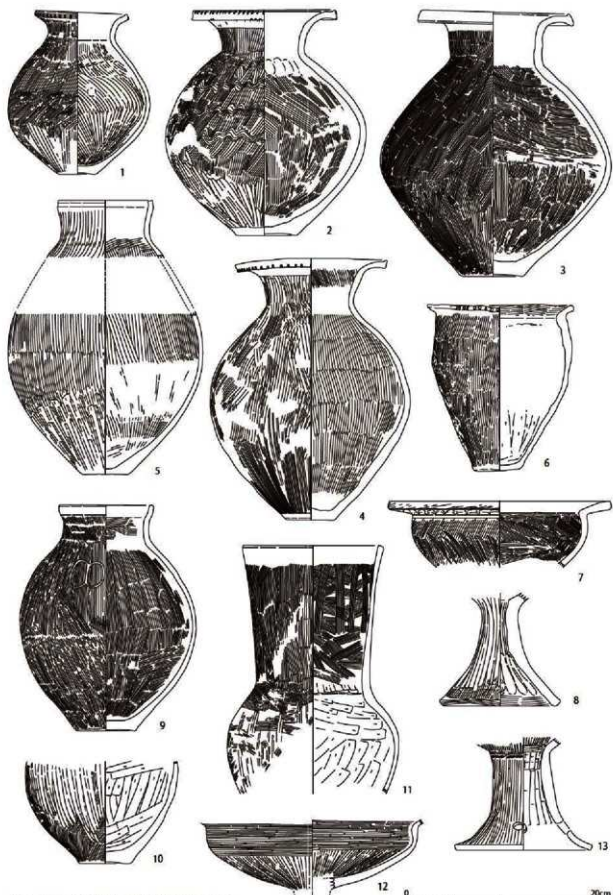


第232図 ST46・47・50・52出土土器実測図(縮尺1/4)

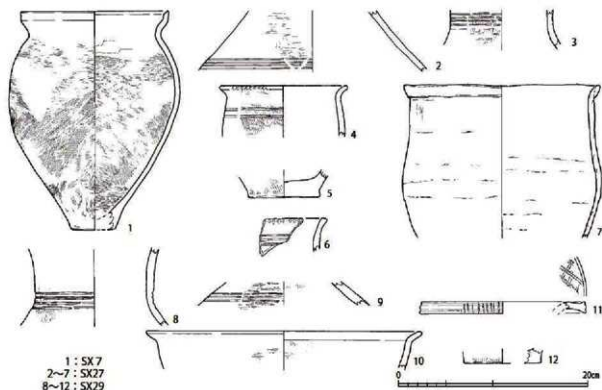


第233图 ST54・58・60・61出土土器実測図(縮尺1/4)

0 20cm



第234图 ST62出土土器实测图(縮尺1/4)



第235図 SX7・27・29出土土器実測図(縮尺1/4)

である。6はST50出土の壺で時期は後期。7はST52出土の鉢で中期のものと考えられる。

第233図1~4はST54から出土した。1は台付の水差で体部上半に櫛描直線文と列点文を交互に施文している。体部下位には焼成後の穿孔がみられる。2はやや大型の水差で体部外面はタタキメの後ハケメ調整をし、内面はハケメ後ナデ調整。口縁部把手側に刺り込みが認められる。3はハケメ調整の短頸壺で、頸部にハケメ原体で直線文を施している。以上は中期後葉に位置付けられる。5・6はST58出土。6は下彫れの胴部をもち、口縁に2条単位の棒状浮文を貼付ける壺である。磨耗により不明瞭であるが頸部には櫛描直線文・波状文の施文が確認できる。近江地方に分布する土器である⁽⁵⁾。5は中期後葉に下る可能性が高いが、6は中期中葉に位置付けられる。7はST60から出土した甕。口縁端部と肩部に櫛描波状文を施文している。時期は中期後葉。8はST61出土の甕で外面ハケメ調整、内面ヘラケズリで、無文の有段口縁をもつ。時期は後期である。

第234図はST62出土土器である。壺類に凹線文は全く施文されない(1~5)。小型の壺1は口縁端部の下端に刻目を入れている。壺2は口縁端部上側に刻目を全周させ、下側の一部にも刻目を入れている。胴部には櫛描波状文が4段施文されている。4は1と同様に口縁端部の下端に刻目を入れている。小型の甕6は外面下半にヘラケズリをした後、全体をハケメ調整している。内面は下位のみヘラケズリがみられ、ほかはナデである。頸部はあまり締まらない器形で、口縁端部には部分的に刻目を入れている。8の高杯脚部の内面にヘラケズリはみられない。以上の土器はほかの多くの周津墓出土の中期後葉の土器群より先行する特徴をもっていると考え、中期中葉に位置付ける。9~13は同遺構出土だが後期の土器で、混入したものと考えられる。短頸壺9の肩部には「∞」字状のヘラ記号が認められる。



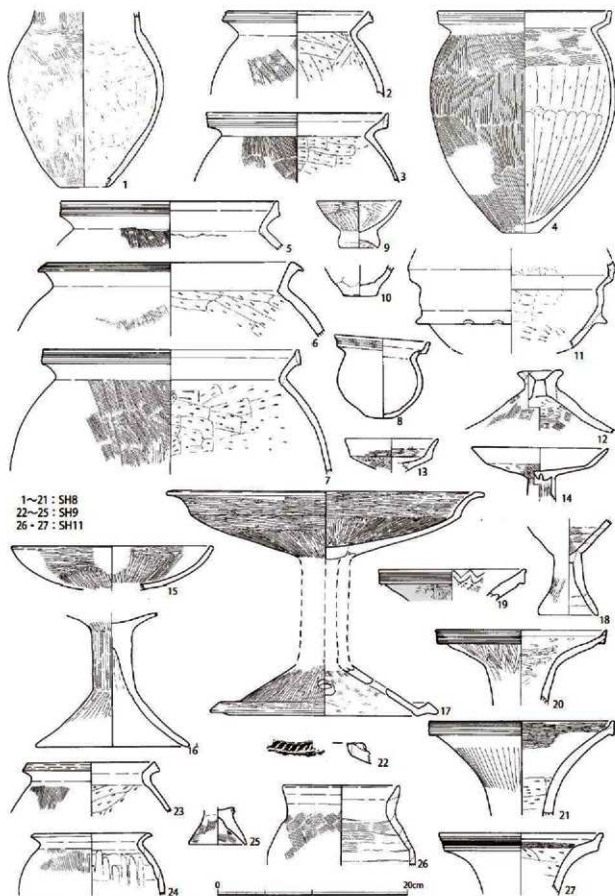
第236図 SH1・5・6・7出土土器実測図(縮尺1/4)

2) 土坑墓・木棺墓(SX)出土土器(第235図)

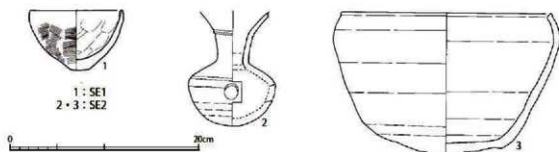
第235図は土坑墓・木棺墓(SX)出土資料をまとめた。木棺墓SX7出土の有段口縁甕1は内外をハケメ調整し無文の有段口縁をもつが口縁端部は内傾する明瞭な面をもっている。近江系受口状口縁甕の変容土器とすべきか。時期は後期中葉と考えられる。人為的に破砕された状況で出土したものである。

SX27は細片化した遠賀川系土器(同図2~6)に伴って7の深鉢が出土した。2は大型の壺の胴部で4条以上のヘラ描沈線文を施文している。調整はハケメ後のヘラミガキである。3は壺の頸部で4条以上のヘラ描沈線文を施文、調整はハケメ後のヘラミガキである。4は小型の甕で外面はハケメ調整、

1~7: SH 1
8~11: SH 5
12~23: SH 6
24~26: SH 7



第237図 SH8・9・11出土土器実測図(縮尺1/4)



第238図 SE1・2出土土器実測図(縮尺1/4)

頸部にヘラ描沈線文を2条施文する。内面はナデ調整。口縁部はヨコナデ調整の後端部に右上がりの刻目を入れている。6は甕の口縁部で頸部にヘラ描沈線文を3条施文。口縁部はヨコナデで端部には不明瞭な面をもち、下側に刻目を入れている。深鉢7は内外面はナデ調整で一部に垂直方向の擦痕が認められるが粘土紐の継ぎ目は消されず残っている部分が多い。口縁部は扁平な突帯を貼り付けている。細砂を多く含む胎土で、黒っぽい色調をもつ焼成である。ほかの遠賀川系土器とは一目見て異質なものである。本個体はSX27出土土器のなかで最も残りの良い土器であるため、弥生前期の遺構に古い時期の遺物が混入したとも考えにくい。よって弥生前期に残存した縄文土器の系譜上にある土器と評価する。

SX29は細片が主体で固化できるものは少なかった(同図8~12)。8は直立気味に伸びる口縁部をもつ壺の頸部で、頸部に4条のヘラ描沈線文を施文する。外面調整はハケメである。9は壺の胴部で段の直下にヘラ描沈線文を2条施文する。外面調整はハケメ後のヘラミガキ、内面調整はナデである。10は甕の口縁部で内外面の調整はハケメ、口縁部はヨコナデ調整する。文様は施文していない。11は櫛描文を施文する壺の口縁部で口縁部に凹線文を施文後縦位の沈線を入れ、口縁部内面に半箆竹管状具による斜格子文を入れている。以上は弥生前期の土器(8~10)が主体であるものの、11・12の2点が中期と考えられる。

3) 周溝建物(SH)出土土器(第236・237図)

第236図にはSH1・5~7出土土器を挙げた。いずれも周溝出土。SH1の壺2は逆U字状の浮文を貼付けている。13はSH6の壺で把手の痕跡をもつ。14は有段口縁をもつ鉢で紐孔をもっている。

第237図にはSH8・9・11の土器を挙げている。いずれも周溝出土。SH8の11は手焙形土器である。19はヘラによる波状文2条と櫛描列点文がみられる。器台であろうか。

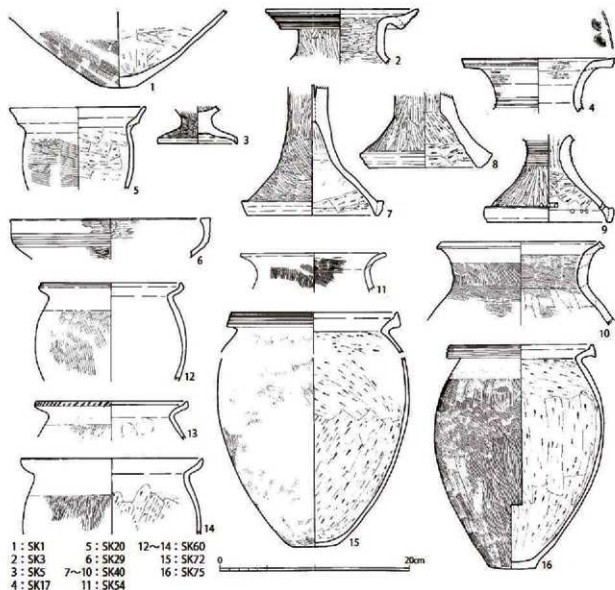
これらの周溝建物出土土器はいずれも後期中葉を主体とする時期のものである。

4) 井戸(SE)出土土器(第238図)

第238図は井戸(SE)出土資料。1はSE1出土の鉢。外面はハケメ調整で内面はナデ調整。底部は小さく不明瞭である。弥生後期後葉から終末期にかけてのものであろう。2・3はSE2出土土器。2は須恵器の甕で口縁部を欠損しており、意図的に打ち欠いている可能性がある。3は須恵器の大形鉢である。両者は7世紀代の資料である。

5) 土坑(SK)出土土器(第239~247図)

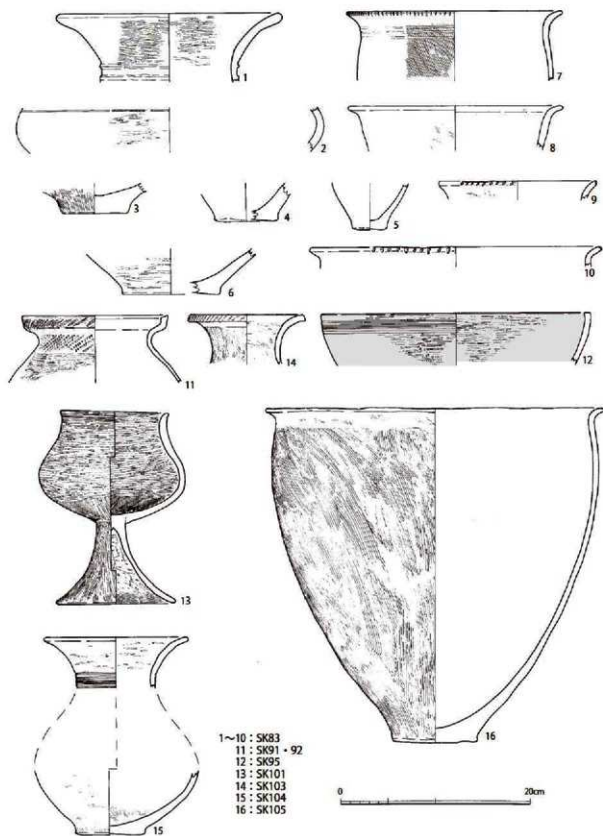
第239図1はSK1出土の大型甕の底部で後期後葉から終末期のもの。2は井戸SK3出土で擬凹線文を施文する有段口縁壺。後期後葉。3はSK5出土で台付鉢の脚部と思われる。弥生後期。4はSK17出土で口縁端部、頸部に沈線を施し、口縁部内面に櫛描扇形文を入れている。弥生中期中葉。SK20出土の5は後期の甕。SK29出土の6は中期後葉の高杯で3条の凹線文を施文している。7~10はSK40出



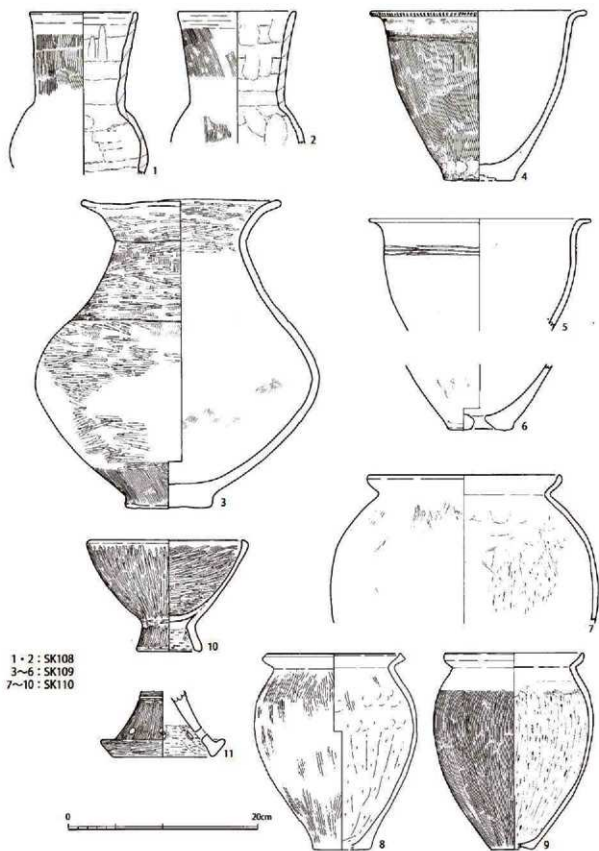
第239図 土坑 (SK) 出土土器実測図(縮尺1/4)

土。7～9は高杯脚部でいずれも内面をヘラケズリする。10はハケメ調整の壺の口縁部。弥生中期後葉。11はハケメ調整の壺で弥生中期のものか。12～14はSK60出土でいずれも弥生中期後葉の甕。15はSK72出土の後期の甕で口縁部に擬凹線文4条を施文する。16も後期の甕でSK75出土。

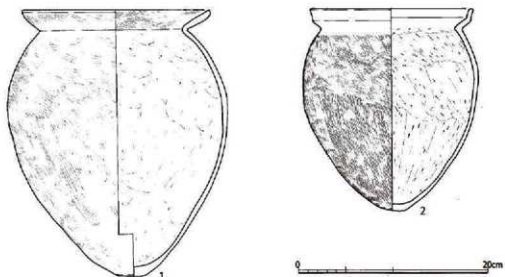
第240図1～10は土坑墓SK83出土。壺1は頸部に貼付け突帯2条以上をもち、内外をヘラミガキ調整する。2は壺の胴部でヘラ描沈線文が1条以上施文されている。外面調整はヘラミガキである。7の如意形口縁をもつ甕は頸部に3条のヘラ描沈線文が施文される。9・10の甕にも口縁端部の刻目が見られる。以上は弥生前期中葉であろう。11はSK91・92出土の弥生後期の近江系受口状口縁壺。ハケメ原体による列点文と籐状文を施文する。断面黒色の焼成で、搬入品と考えられる。12はSK95の高杯で凹線文4条を施文し、内外面をヘラミガキ調整に加え赤彩もみられる。弥生中期後葉。13はヘラミガキ仕上げで精製の台付無頸壺でSK101出土。弥生後期中～後葉。SK103出土の14は口縁端部にハケメ原体で刻目を入れる壺。弥生中期中葉か。15はSK104出土の壺で頸部に5条以上のヘラ描沈線文を施す。弥生前期後葉であろう。16はSK105出土の大型の甕。全体をハケメ調整し文様はない。弥生前期。



第240圖 土坑 (SK) 出土土器実測図(縮尺1/4)



第241圖 SK108・109・110出土土器実測図(縮尺1/4)



第242図 SK112土器棺実測図(縮尺1/4)

第241図1・2はSK108から出土した同形・同大の長頸壺で後期中葉か。3～6はSK109出土でいずれも弥生前期中葉の遠賀川系土器。壺3は口縁部が強く外反し頸部と胴部に段がみられる。体部外面はハケメの後ヘラミガキ調整である。壺4は頸部に沈線2条、口縁端部に刻目を入れる。5は沈線文が3条になっているが、口縁部の刻目は残りが悪く存在の有無がわからない。6の底部は焼成後に穿孔を行っている。

同図7～11はSK110出土。7～9の壺はいずれも内面調整がヘラケズリである。10は台付鉢で底部に円盤充填法がみられる。11は高杯の脚部3条以上の沈線による施文がみられる。以上は中期後葉の一括資料である。

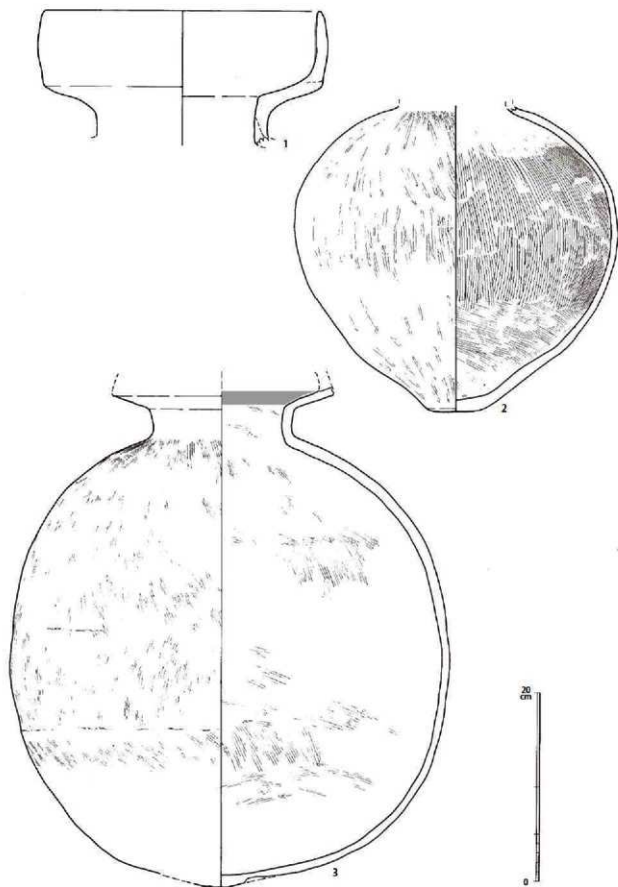
第242図はSK112出土で、土器棺に用いられた完形の壺2点である。両者ともに外面ハケメ、内面ヘラケズリ調整であるが、1は単純口縁、2は無文の有段口縁である。弥生後期後葉と考えられる。

第243図は土器棺墓SK113出土の土器である。1は大形複合口縁壺の口縁部であるが3とは別個体のもの。2は中型の壺で外面ヘラミガキ、内面ハケメ調整で平底をもつ。3は棺身として用いられていた大形複合口縁壺。口縁部は欠損しているが、内傾して立ち上がると考えられる。内外面の調整はハケメで、底部は丸底であるが周辺が焼成後に輪状に脱落しており、突出底風になっている。内面口縁部上半に黒色物を塗布している。これらの時期は古墳前期中葉である。

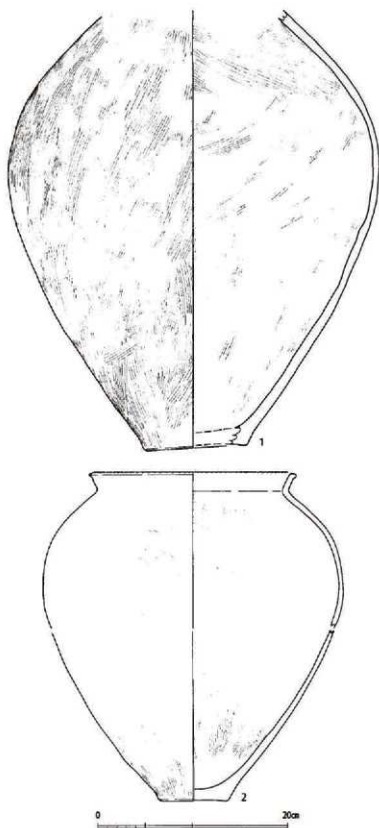
第244図は土器棺墓SK116出土の土器。1は壺の体部で内外面にハケメ調整がみられる。2は壺で短い口縁部をもち、端部の上端に刻目を入れている。弥生中期後葉。

第245図1はSK118の鉢で弥生前期。現地の所見ではST22より新しい遺構であり、混入品と考えられる。SK121出土の2も弥生前期の把手付壺。3はSK123出土の高杯脚部で弥生中期後葉。4は外面ハケメ、内面ヘラケズリ調整の壺で口縁端部に2条の垂直方向の沈線を記号状に入れる。弥生後期。

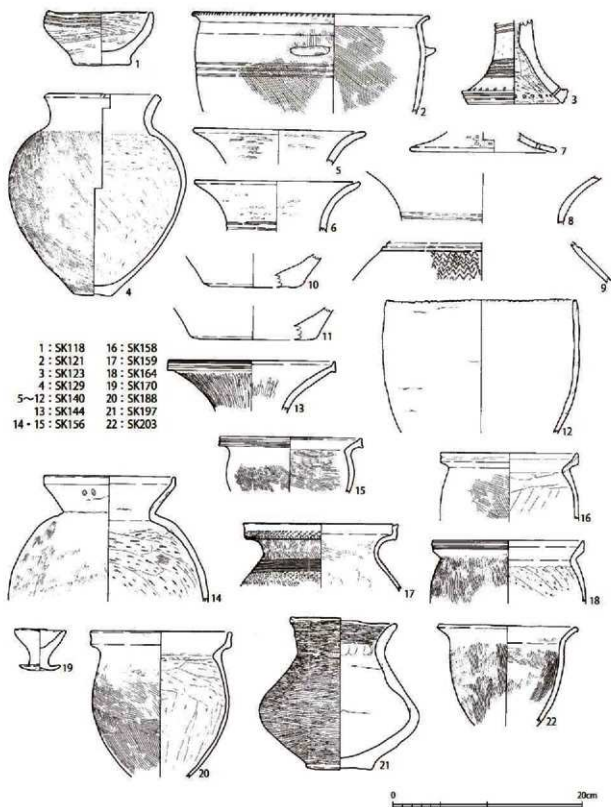
同図5～12はSK140出土で、5～11が弥生前期の遠賀川系土器。6・8は壺の頸部で2条以上のヘラ指沈線文を施文する。9は壺の胴部で、突帯で区画した直下にはヘラによる無輪羽状文を充填している。7は壺の壺で紐孔をもつ。12は口縁部が直立する砲弾形の深鉢で、外面はナデ調整だが、所々で接合痕が消されずに残されている。口縁端部には上方から細かい刻目を入れている。胎土・焼成はSX27出



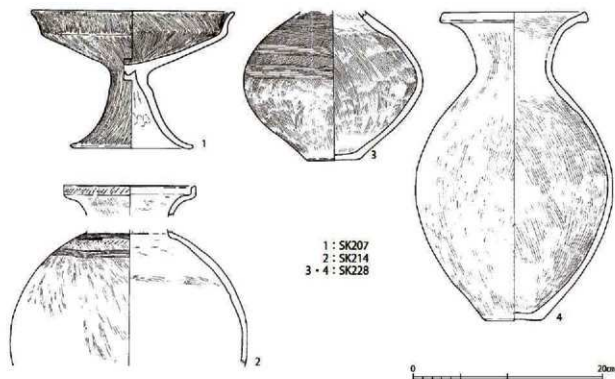
第243図 SK113土器棺実測図(縮尺1/4)



第244図 SK116土器棺実測図(縮尺1/4)



第245図 土坑 (SK) 出土土器実測図(縮尺1/4)



第246図 SK207・214・228出土土器実測図(縮尺1/4)

土の深鉢(第235図7)と類似する。この土器も弥生前期における縄文土器系譜の土器と評価する。

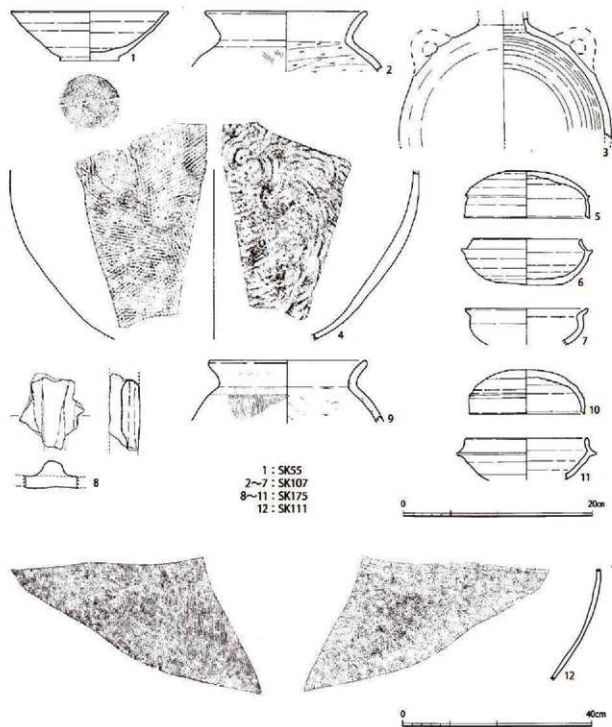
SK144出土の同図13は弥生後期の器台。14・15はSK156出土。14の有段口縁壺の口縁部にはヘラによる刺突が2つ認められる。16はSK158出土の後期の甕。SK159出土の17はいわゆる近江系の受口状口縁壺。弥生後期。SK164出土の18も後期の甕。高杯形のミニチュア品19はSK170出土で弥生後期か。20はSK188出土の無文の有段口縁壺で後期のもの。21はSK197出土の小型の壺で外面全体と口縁部内面をヘラミガキ調整する。文様や装飾はみられない。時期は弥生前期である。22は頸部が屈曲して開くハケメ調整の甕で弥生中期と考えられる。

第246図1はSK207から出土した高杯で弥生後期中葉のもの。2は受口状口縁をもつ壺で口縁部外面に櫛描列点文、肩部に櫛描直線文と列点文を重ねるいわゆる近江系土器で後期のものである。3・4はSK228出土で3は5帯以上の櫛描直線文を施文する壺、4は長胴気味の体部に外反して開く口縁部がつく壺。中期中葉であろう。

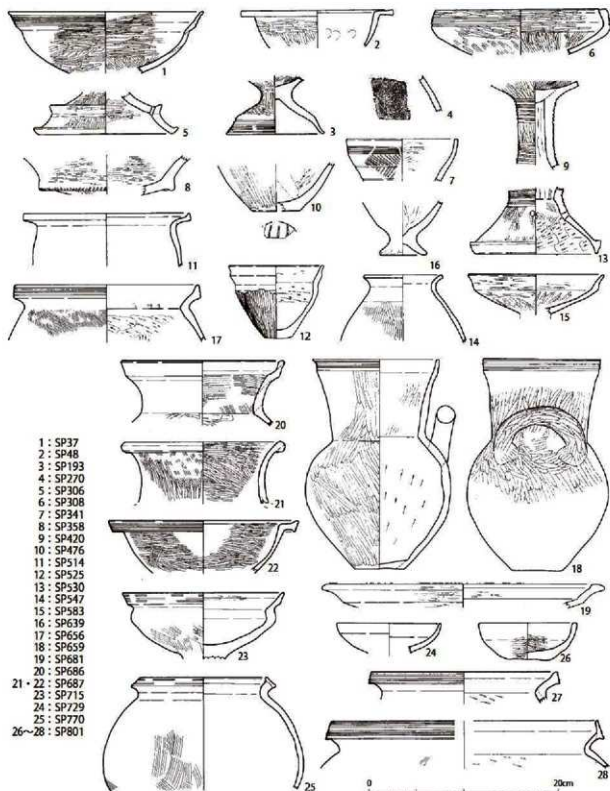
第247図には古墳時代後期以降の土坑出土資料を挙げている。第247図1はSK55出土の土師器椀で底部に回転糸切り痕をもつ。10世紀代。2～6はSK107出土で土師器甕(2)、須恵器埴瓶(3)、須恵器甕(4)、須恵器坏蓋(5)、同坏身(6)、土師器坏身(7)から構成される。6世紀前葉。8～11はSK175の資料で8は突帯をもつ土師器片で移動式竈と思われる。9は土師器の甕。6世紀中葉と考えられる。12は須恵器大甕の体部片でSK111より出土。詳しい時期は不明である。

6) ビット(SP) 出土土器(第248・249図)

SP48出土の第248図2は水平に伸びる口縁部をもつ高杯。弥生中期後葉。SP270出土の4は後期の壺の体部と考えられ、ヘラによる線刻表現がある。船を表しているか。7はSP341出土の精製品で、凹線文とヘラによる羽状文が施される。中期中葉の壺の口縁部であろう。SP476出土の10はヘラ記号をも

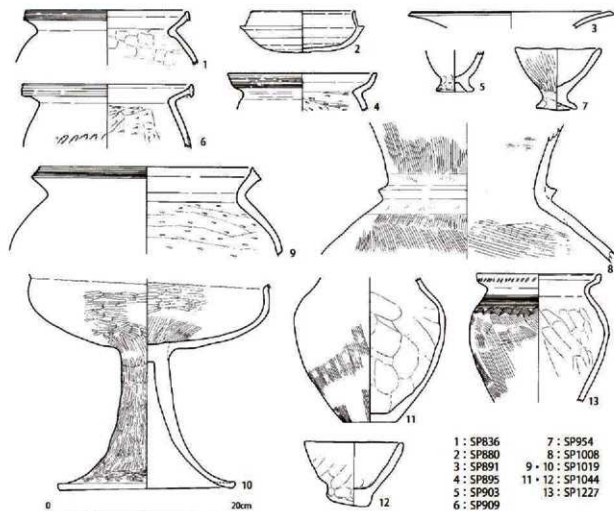


第247図 土坑 (SK) 出土土器実測図(縮尺1/4・1/8)



- 1 : SP37
- 2 : SP48
- 3 : SP193
- 4 : SP270
- 5 : SP306
- 6 : SP308
- 7 : SP341
- 8 : SP358
- 9 : SP420
- 10 : SP476
- 11 : SP514
- 12 : SP525
- 13 : SP530
- 14 : SP547
- 15 : SP583
- 16 : SP639
- 17 : SP656
- 18 : SP659
- 19 : SP681
- 20 : SP686
- 21・22 : SP687
- 23 : SP715
- 24 : SP729
- 25 : SP770
- 26~28 : SP801

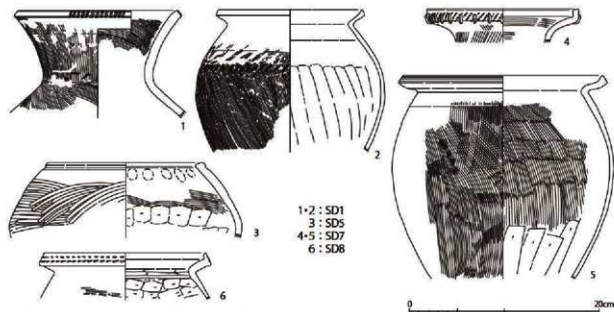
第248図 ビット (SP) 出土土器実測図(縮尺1/4)



第249図 ビット (SP) 出土土器実測図(縮尺1/4)

つ底部で後期と考えられる。18はSP659出土の把手をもつ壺。内外面は把手を含めてヘラミガキ調整を行う。時期は弥生後期。25はSP770出土。外面ハケメ調整で球形の胴部をもつ。口縁部には凹線文が施文されている。中期後葉。

第249図2はSP880出土の須恵器杯身。6世紀中葉である。8はSP1008から出土した大型の壺の頸部で、屈曲部に突帯が回っている。SP1019出土の10は大形の杯部をもつ高杯で頸部の屈曲をもち、有段口縁になると考えられる。弥生後期。13は弥生後期の近江系受口状口縁壺でSP1227出土。口縁部に列点文が、肩部に備描直線文・波状文が施文されている。



第250図 SD1・5・7・8出土土器実測図(縮尺1/4)

7) 溝・旧河道 (SD) 出土土器 (第250～266図)

第250図1・2はSD1出土で壺1の口縁部には部分的に刻目を入れている。3はSD5出土の無頸壺。4・5はSD7出土。4はいわゆる近江系の受口状口縁をもつ壺で、櫛形列点文と棒状浮文の装飾をもつ。5は口縁部に凹線文を施文する甕で内面は下位にヘラケズリを施す。以上は弥生中期後葉。6はSD8の甕で口縁部に半截竹管状の二股に分かれた原体で刺突文を入れている。弥生後期。

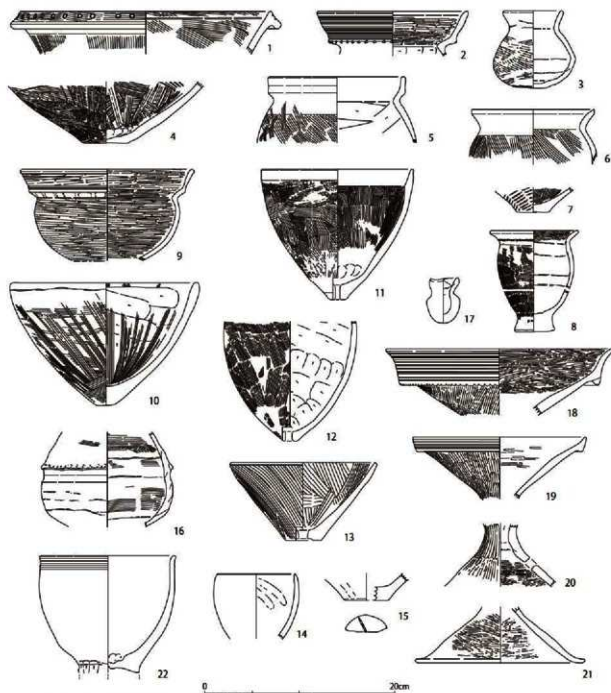
第251図はSD10出土資料。2は擬凹線文を施文する有段口縁壺で外面の屈曲部には刻目を入れている。7はタタキ調整の甕の底部で外来系土器である。16は手焙形土器で外面はナア調整で全体的に粗雑な感がある。17は壺形のミニチュア品。22は口縁部直下に沈線3条を入れる甕で重厚な底部をもつ。弥生前期であろう。これを除けば弥生後期後葉を主体とする資料といえる。

第252図1～22はSD11から出土したもので、17・18など弥生中期と22の須恵器杯身を含むが後期を主体とする。8は口縁部の外反が弱く浅い杯をもつ高杯で後期前葉。10の脚部も同様の時期と考えられる。同図23～25はSD14出土で弥生後期。26はSD18出土の甕。後期中葉頃であろう。

第253図はSD19出土資料。1～4は有段口縁壺だが3は文様の上から2箇所竹管による刺突を、4は頸部内面にヘラによる2条の記号状の線刻を入れている。20は鉢の口縁部かと思われる形で口縁部直下に魚形の線刻が入っている。時期は後期後葉を主体とするが、壺21と無頸壺22は中期後葉で混入品であろう。

第254図1～13はSD21出土で弥生中期後葉から終末期までの時期幅をもつ。8は外反する有段口縁に多条の擬凹線文を施文する終末期の甕。9は後期の近江系甕。12の甕は中期後葉であろう。SD24出土の14やSD41出土の22も近江系の甕で時期は後期。SD43出土の直口壺23は丸底で全体的に厚手な作りが特徴的である。古墳前期であろう。

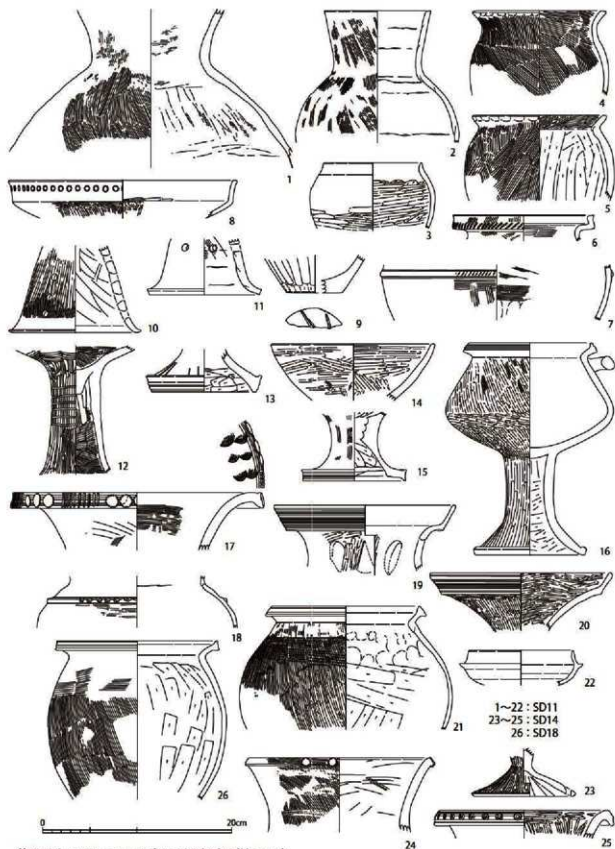
第255図1～6はSD75出土で後期後葉。8はSD85出土。外反する有段口縁で擬凹線文を施文する甕で終末期と考えられる。9～11はSD86出土で中期後葉と考えられる。10はやや肩が張る器形に頸部には凹線文、肩部には列点文を入れる。口縁部には凹線文の上から棒状浮文を4条単位で貼付けている。



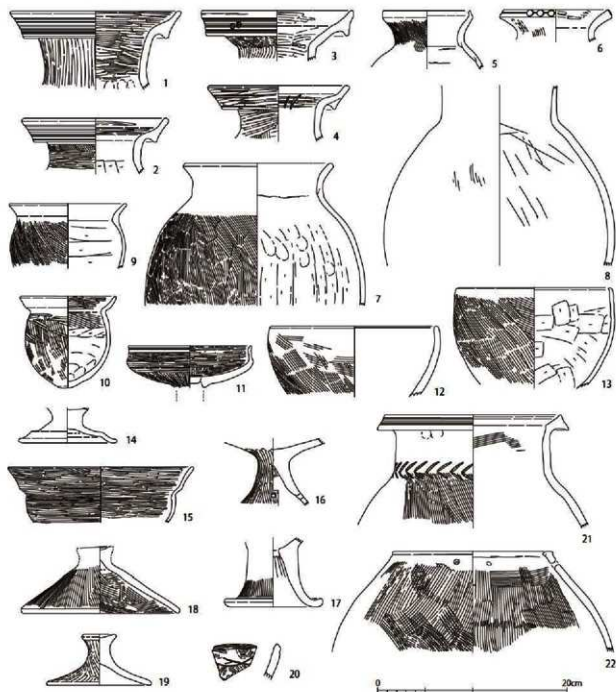
第251図 SD10出土土器実測図(縮尺1/4)

隣接地域を含めても珍しい形態であり、播磨から吉備にかけての地域からの搬入品であろう。13はSD106出土の須恵器杯蓋で時期は6世紀代である。SD124出土の15は後期の把手付の壺。SD131出土の17も後期の壺で把手は剥離している。焼成後に底部に穿孔をしている。

第256図1～3はSD137出土で1は口縁部に凹線文、肩部に櫛描直線文・波状文を重ねる水差で把手直上の口縁部には割り込みを入れている。3はタタキ目を入れた後にハケメ調整を行う短頸壺。以上は中期後葉である。15～19はSD186から出土した後期の土器。19は近江系の受口状口縁壺で口縁部に櫛描列点文、肩部に櫛描直線文・波状文を施文している。



第252圖 SD11・14・18出土土器実測図(縮尺1/4)

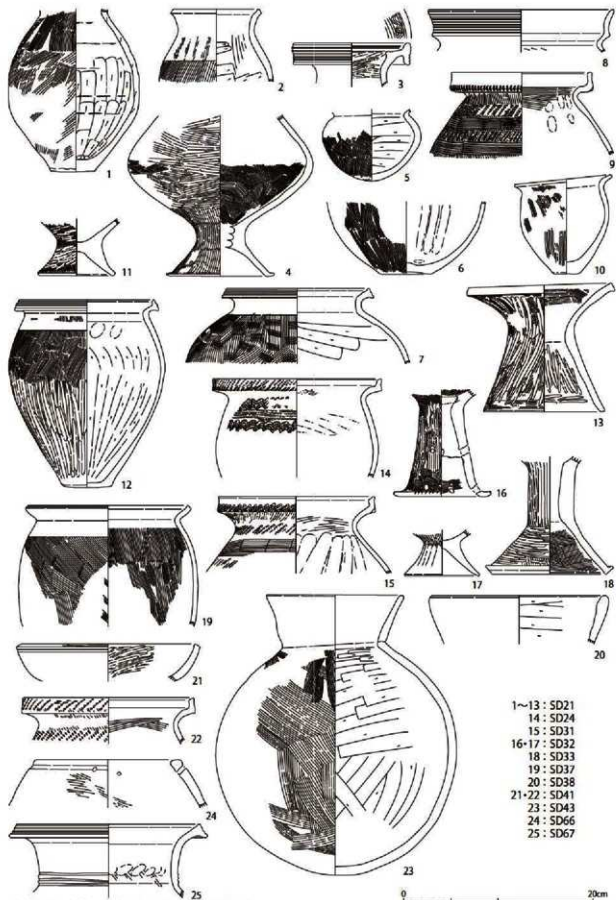


第253図 SD19出土土器実測図(縮尺1/4)

SD191から出土した第257図1の壺は口縁端部に凹線文状の凹みがあるほかに文様はみられない。2はヘラミガキ調整の鉢。中期後葉である。SD204出土の3・4やSD205出土の受口状口縁壺5、SD213出土の6・7も同時期のもの。

8はSD216出土の前期速賀川系の壺で頸部と体部には段があり、胴部の段直下にはヘラ描沈線文帯を入れ、さらに縦位の沈線で区画した後にヘラで無軸羽状文を入れている。9はSD220の中期後葉の壺で片口がある。10は終末期の擬凹線文有段口縁壺で終末期のものである。

第258図3の壺はSD234から出土した。内面ヘラケズリ調整だが厚手で後期前葉から中葉にかけての



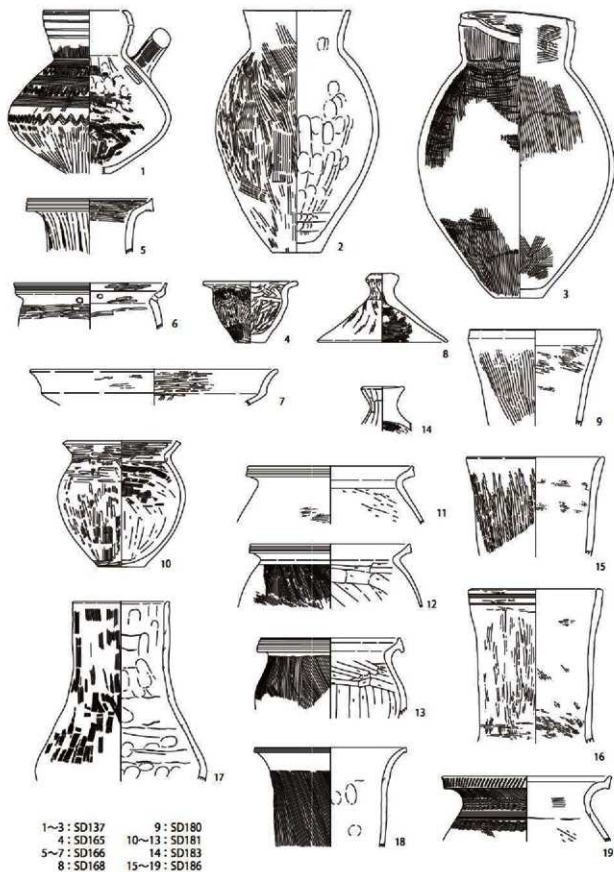
- 1~13: SD21
- 14: SD24
- 15: SD31
- 16~17: SD32
- 18: SD33
- 19: SD37
- 20: SD38
- 21~22: SD41
- 23: SD43
- 24: SD66
- 25: SD67

第254圖 津(SD)出土土器実測図(縮尺1/4)

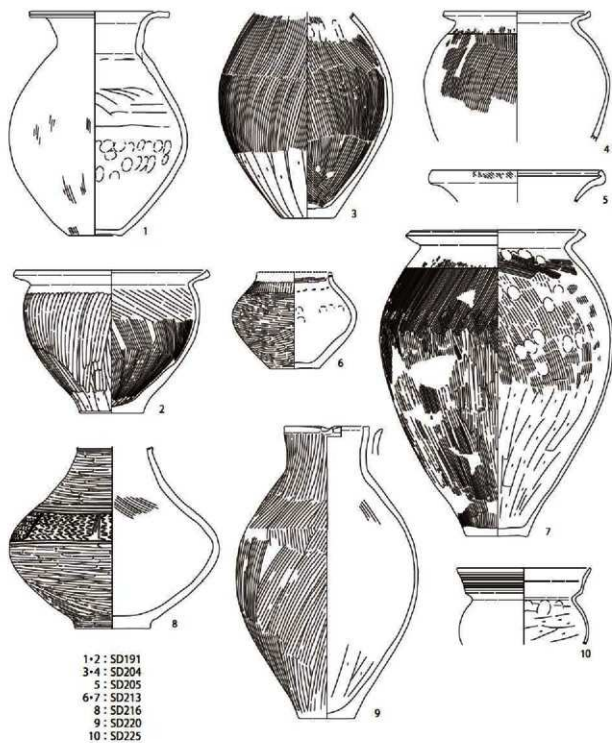
0 20cm



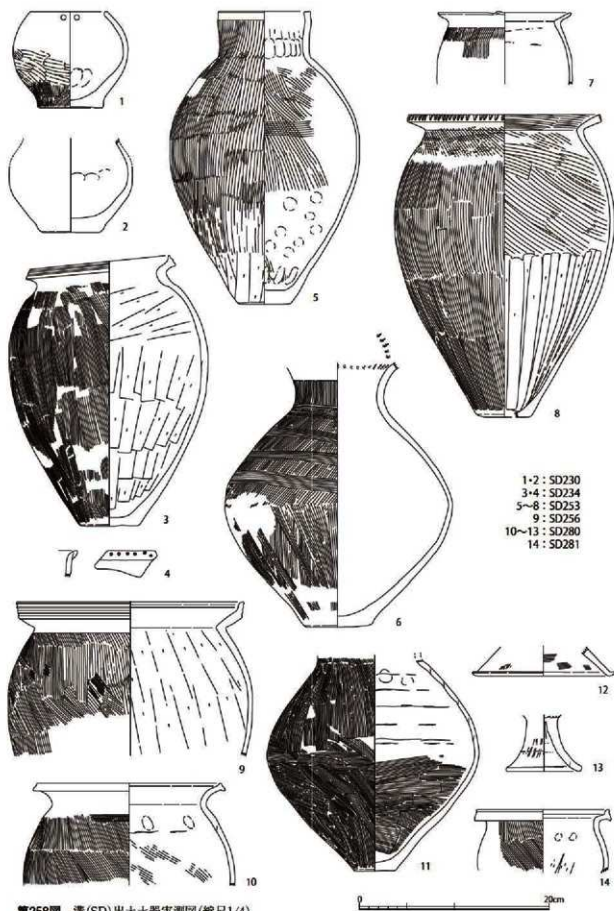
第255図 溝(SD)出土土器実測図(縮尺1/4)



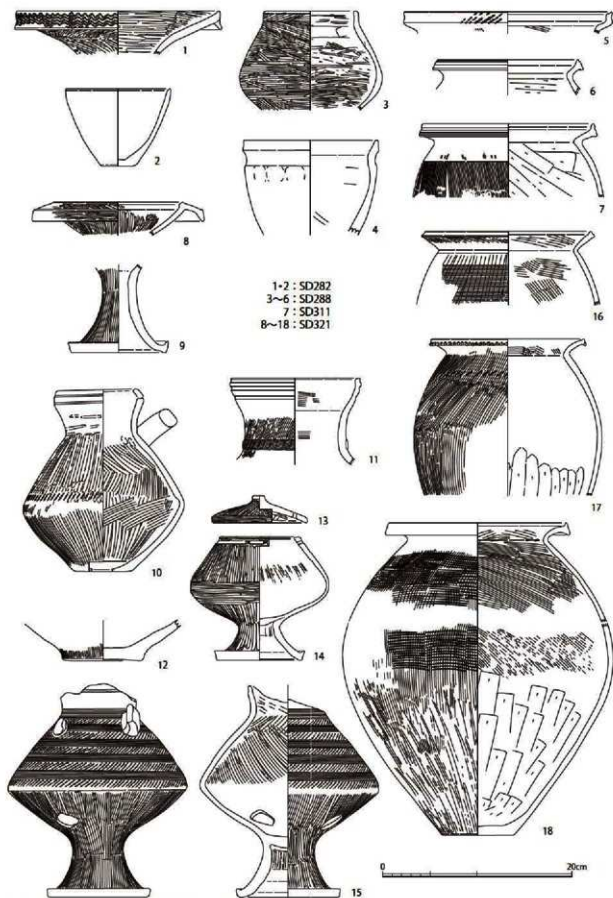
第256図 溝(SD)出土土器実測図(縮尺1/4)



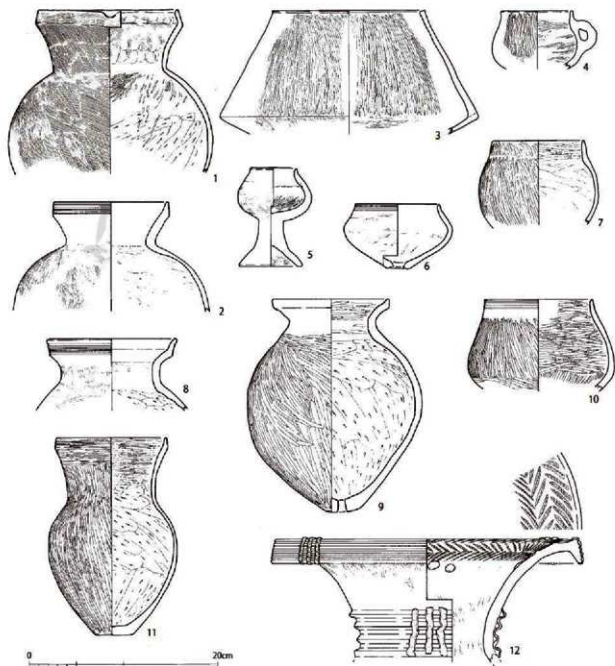
第257図 津(SD)出土土器実測図(縮尺1/4)



第258图 清(SD)出土土器实测图(缩尺1/4)



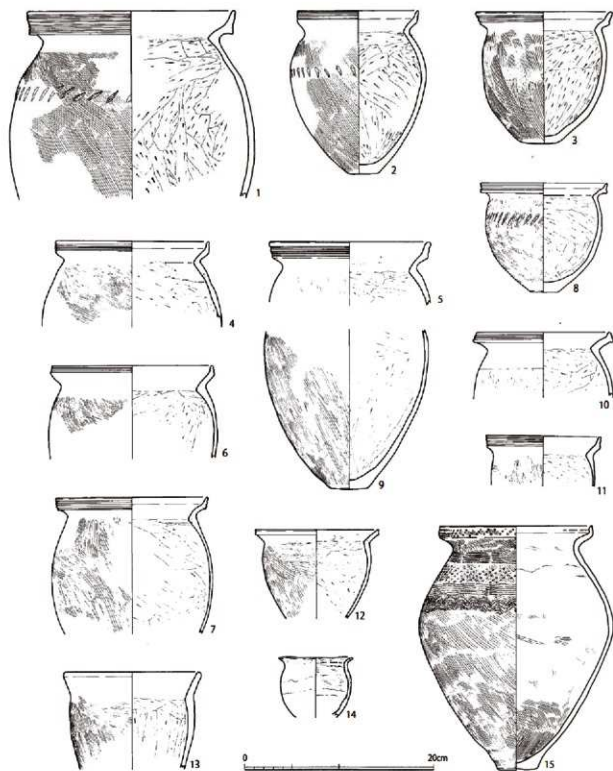
第259図 SD282・288・311・321出土土器実測図(縮尺1/4)



第260図 SD324出土土器実測図(縮尺1/4)

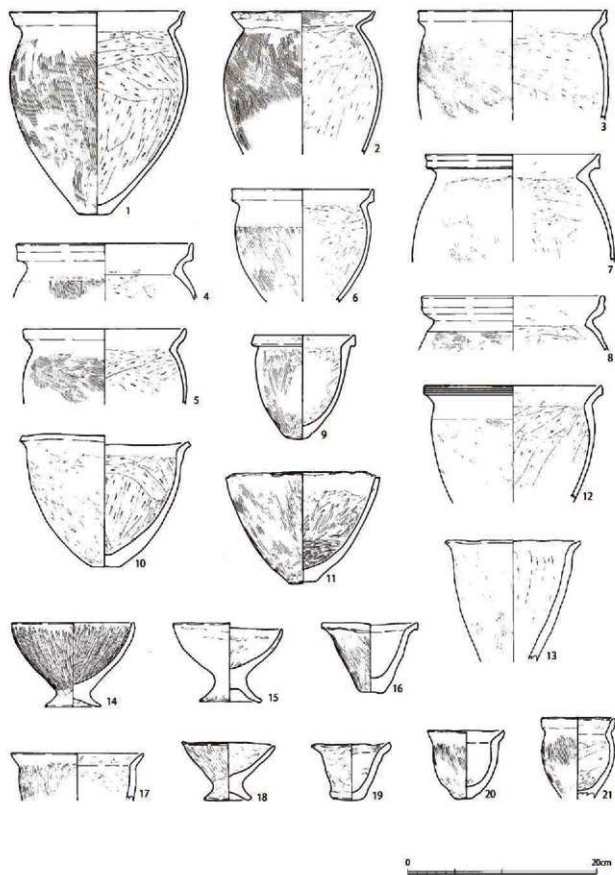
ものであろう。同遺構から出土した4は口縁部に突帯を貼付けて竹管文を入れる。5～8はSD253出土で壺6は肩部に構描直線文、口縁部内面に構描扇形文をめぐらす。壺7は単純口縁の一部に押圧をいれている。中期中葉か、中期後葉でも古相に位置付けられるだろう。

第259図1・2はSD282、3～6はSD288出土でいずれも後期。5は近江系の受口状口縁壺である。8～18はSD321出土で方形周溝墓の供献土器の可能性ある。水差10は底部に焼成後の穿孔を入れていいる。13・14は台付無頸壺と蓋のセット。15の台付水差は体部下半に2箇所の穿孔があり、口縁部も打ち欠いている可能性がある。時期は中期後葉である。

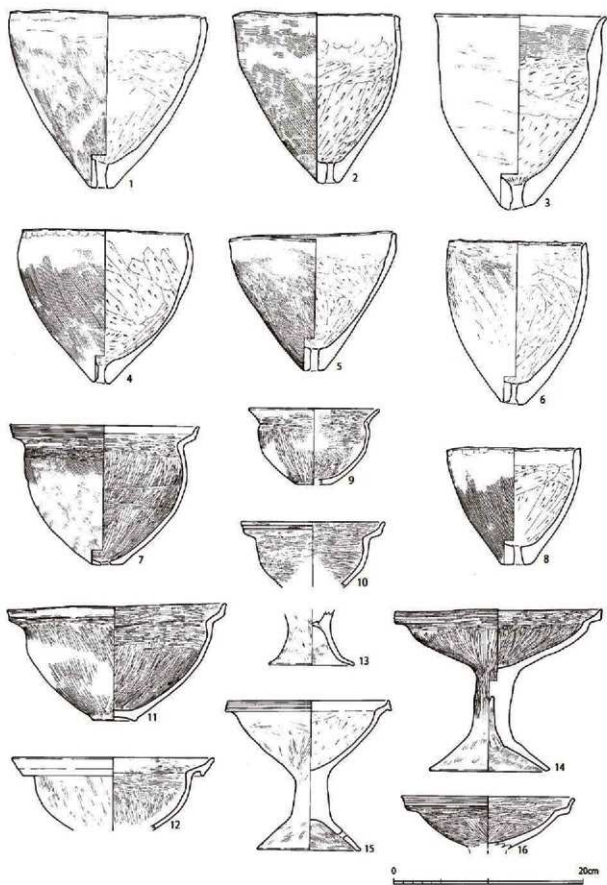


第261図 SD324出土土器実測図(縮尺1/4)

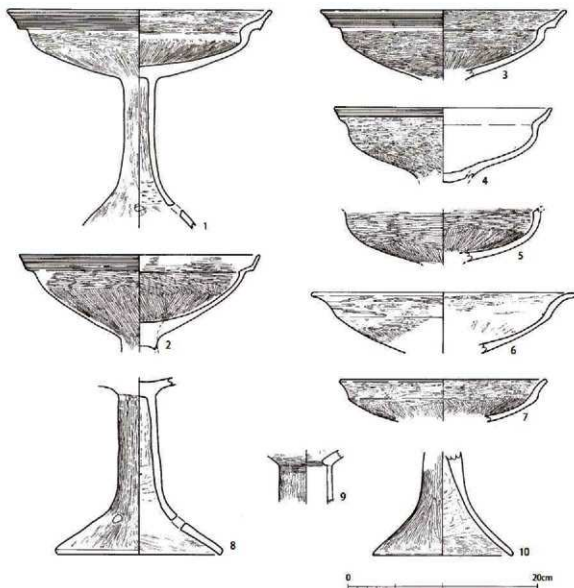
第2節 遺物



第262図 SD324出土土器実測図(縮尺1/4)



第263図 SD324出土土器実測図(縮尺1/4)

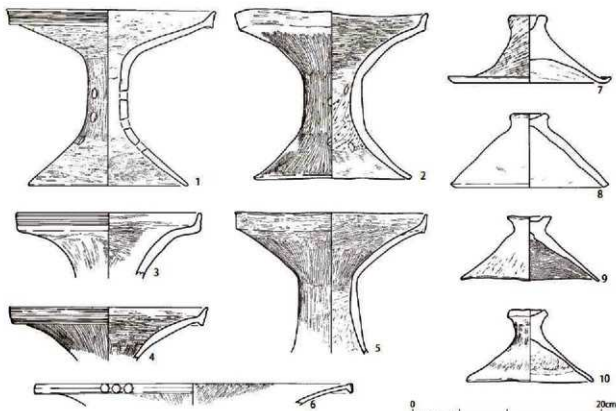


第264図 SD324出土土器断面図(縮尺1/4)

第260～265図は旧河道SD324出土資料であり、今回の調査のなかで最も多量の土器を擁する。第260図には壺を図示した。8は小型の無頸壺で口縁部に擬凹線文を施文、底部は焼成後に穿孔している。12は頸部に断面三角形突帯とその上から3本単位の棒状浮文が、口縁部には凹線文と刻目をもつ3本単位の棒状浮文が、口縁内面には刷毛目原体の羽状刺突文と円形浮文がみられる装飾性豊かな土器で、これのみ中期に位置付けられる。出土した位置もほかの土器とは異なっており、本来は別の遺構のものと考えられる。播磨地方からの搬入品か。

当河道の壺は有段口縁で擬凹線文を施文するものが主体であり(第261図)、1・2などのように肩部に列点文を入れるものもある。15は近江系の受口状口縁壺である。第262図2は口縁の調整が不十分で、有段口縁を呈する部分と直線的に延びる部分がある。鉢(第262・263図)には法量の大小や口縁部の形状で多様性があり、有孔鉢も多い(第263図1～8)。

同じSD324出土の高杯は有段口縁をもつ浅い鉢形の杯部をもつ日本海沿岸特有のもの(第263図14～



第265図 SD324出土土器実測図(縮尺1/4)

16、第264図1～5)と、近畿・東海地方通有の稜をもって屈曲する杯部をもつもの二者があり(6・7)、前者の方が多い。脚部9は樹脂での補修が見られる。第265図は器台と蓋である。

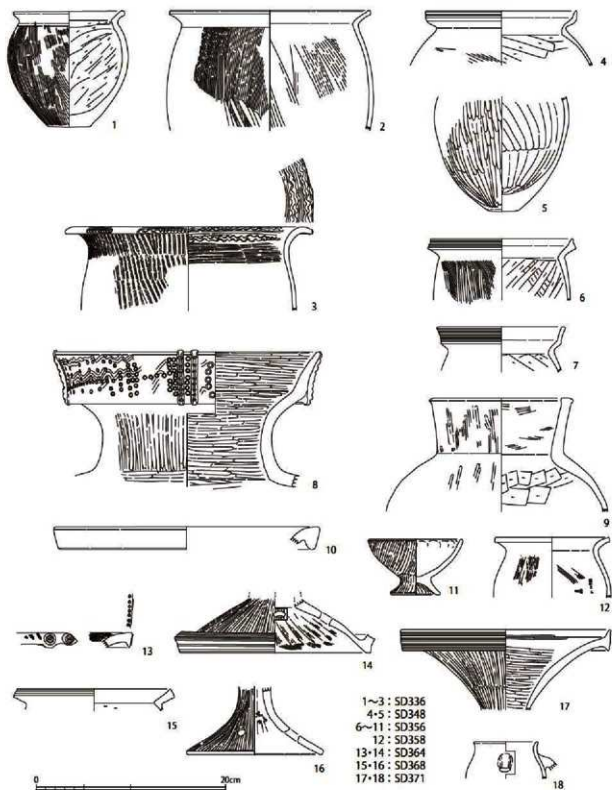
第266図1～3はSD336から出土した。1は内面ヘラケズリ調整の臺あるいは鉢で後期のものか。3は中期前葉の臺で体部はハケメ調整、口縁端部には全体的に刻目を入れ、部分的にそれより大きい押圧を入れる。6～11はSD356出土。8は大形の有段口縁壺で刻目を入れる棒状浮文、襷摺波状文、竹管文で装飾を加える。後期後葉であろう。同図のほかの溝も時期は後期である。

8) 包含層ほか出土土器(第267～277図)

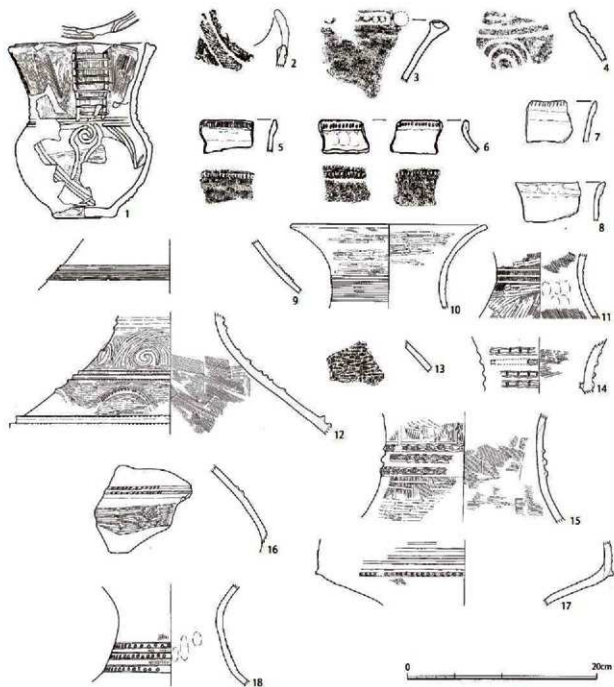
第267～277図には包含層出土品を示した。紙幅の関係で遺構出土品になかった時期や形態のものや、特異な特徴をもつものを優先して図化しているため、図示した遺物の構成は出土遺物総体のなかでの量比を反映するものではない。また、ここには弥生前期の土器で新しい時期の遺構に混入して出土したと判断したものも含めている。以下の記述は縄文時代、弥生前期、弥生中期、弥生時代後期～古墳時代前期、それ以降の時期に大別して行う。

第267図1～4は縄文土器である。1は条痕調整後にヘラで文様を施文する。2は磨消縄文をいれる波状口縁の深鉢。3は拡張した口縁端部の面を沈線で区画し、刺突を刻む。4は深鉢肩部で沈線による直線文と渦巻文がある。以上はいずれも後期である。5～8は口縁部に扁平な突帯を付けた深鉢で、5～7では草本類による刺突文が施されており、6ではそれが内面にもみられる。縄文晩期後葉から弥生前期のものと考えている。

同図9～17は弥生前期の壺。13は沈線文間を無軸羽状文を重ねる胴部片。14は頸部に4条以上の刻

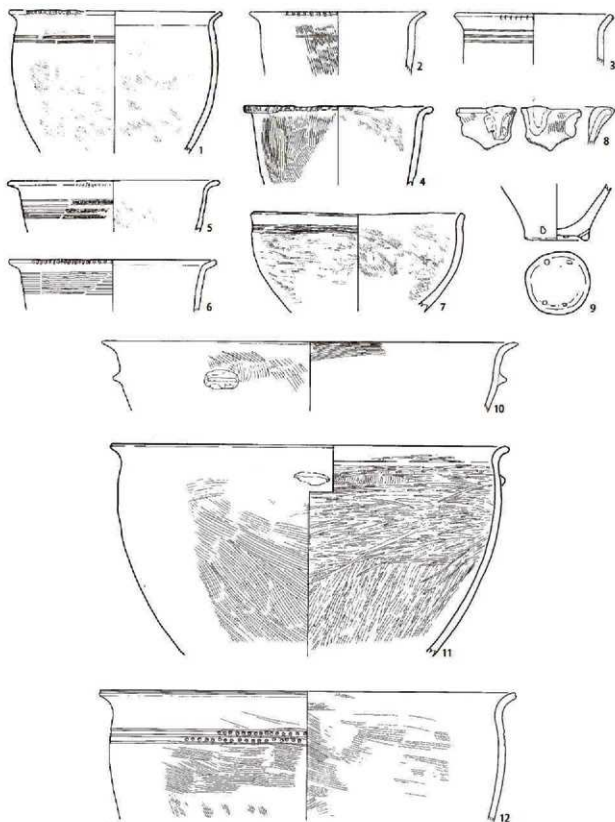


第266圖 溝(SD)出土土器実測図(縮尺1/4)

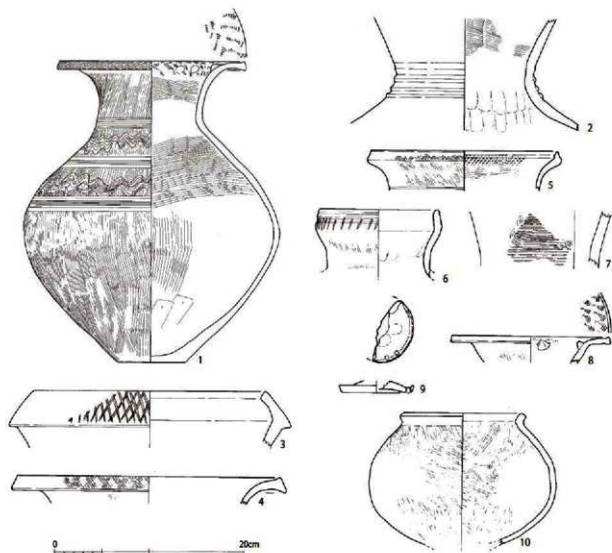


第267図 包含層はか出土土器実測図(縮尺1/4)

第2節 遺物



第268図 包含層ほか出土土器実測図(縮尺1/4)



第269図 包含層はか出土土器実測図(縮尺1/4)

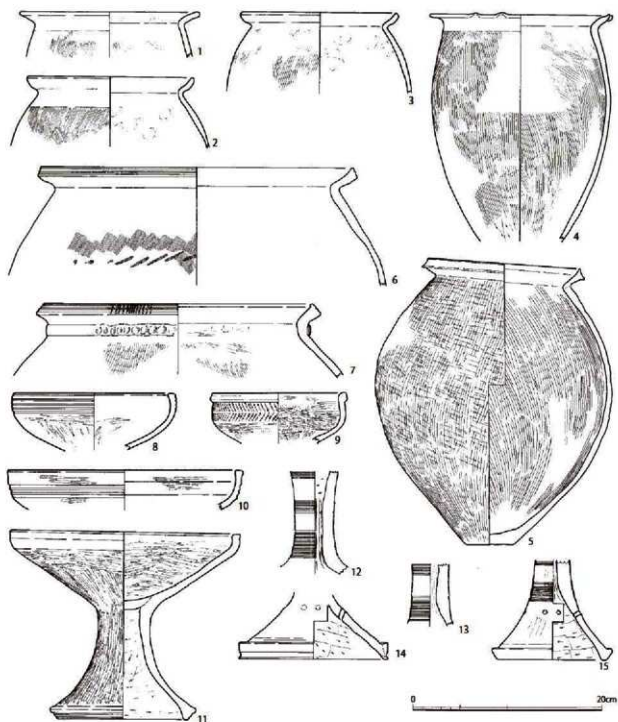
目をもつ貼付突帯が回るほか、内面にも突帯の痕跡がある。15は頸部に3条の貼付突帯をつけ、布を巻いた棒で刻目を入れている。18は沈線間に竹管文を施文する。前期でも新しいものか。17は壺の胴部と考えられ、貼付突帯と多条の沈線がみられる。前期後葉から中期前葉のものか。

第268図は前期の甕・鉢である。180は全体の復元が難しい破片であるが縦位に突帯状に粘土を足している。9は紐孔状の穿孔をもつ底部である。10・11は把手をもつ大形の鉢である。

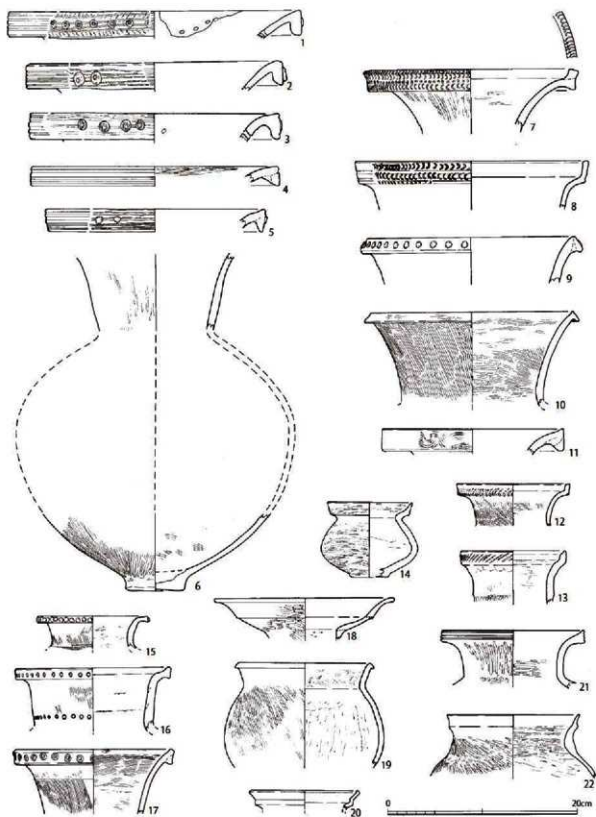
第269図は弥生時代中期の壺。5は受口状口縁の近江系で外面に櫛描波状文、内面に櫛描列点文を施文。7は壺の口縁部で櫛描流水文がみられる中期前葉のもの。8は口縁部が水平気味に開き、内面に櫛描扇形文を2段施す。中期中葉の小形の壺であろう。

第270図は中期の甕・鉢・高杯である。4は口縁部を部分的に押圧する中期中葉の甕。5はタクキメがみられる中期後葉のものである。大型甕6・7も列点文や凹線文で装飾する。中期後葉。高杯8～15も凹線文を施文し、脚部の内面はヘラケズリを行う中期後葉のもので占められる。

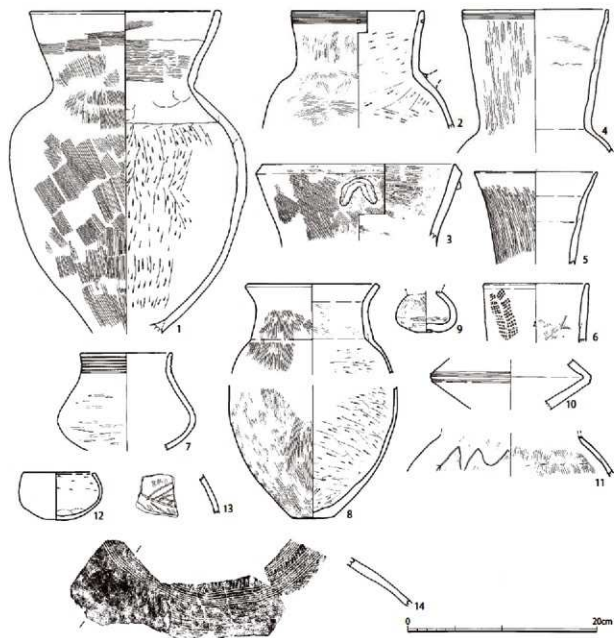
第271図は後期以降の壺。1～6は口縁部を垂下させて装飾を行う生駒西麓産胎土の搬入品である。



第270图 包含層ほか出土土器実測図(縮尺1/4)



第271図 包含層はか出土土器実測図(縮尺1/4)

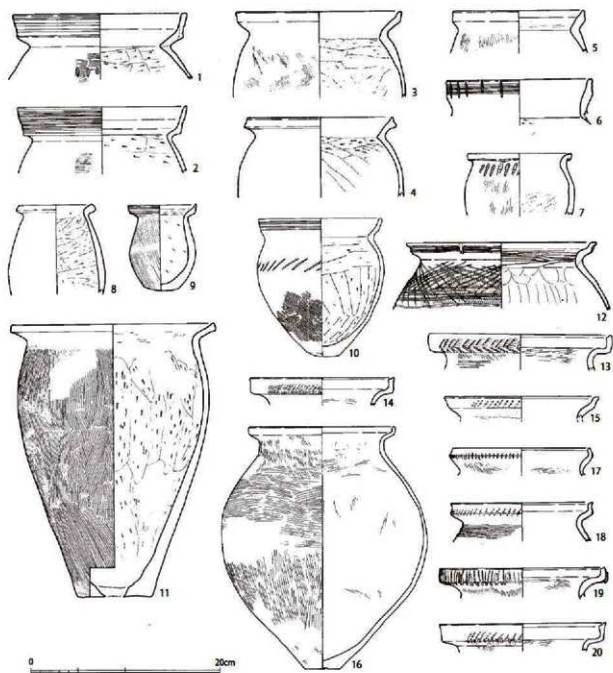


第272図 包含層はか出土土器実測図(縮尺1/4)

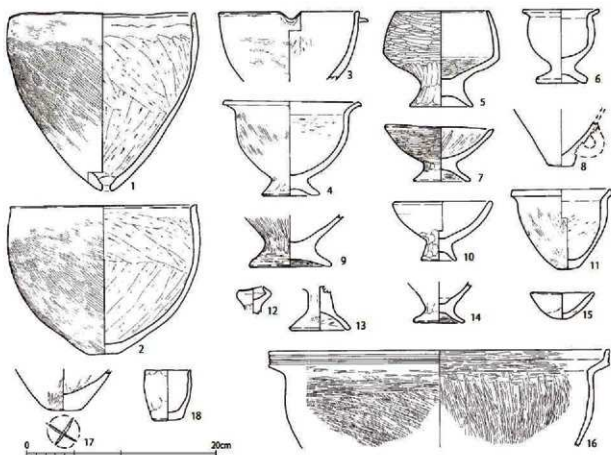
12・13は近江系の受口状口縁壺。14は精製の小型壺で後期後葉である。

第272図2は外面口縁部直下の擬凹線文のなかに1箇所刺突を入れている。3は口縁直下に逆U字状の浮文を加えている。9は近江・東海系の小型のヒサゴ壺と考えられる。古墳前期前葉である。6は柳描列点文が2帯斜めに走っている。13は小片であり天地も確実でないが、ヘラによる線刻表現がある。11はヘラによる波状文が肩部に施されている。14は大型の壺の肩部で、柳描直線文・列点文、ヘラ波状文からなる文様帯がみられる。その直下にはヘラによる直線1条を刻む部分と、直線2条の間にT字状の表現を交互に向きを違えて配列した部分とがある。

第273図は後期以降の甕である。2は発達した口縁部に擬凹線文を施文しており、終末期のものであろう。6は口縁部外面の文様の上から擬位の沈線を入れている。11は長胴気味の体部で底部に焼成後穿孔を施す。詳しい時期はよくわからない。12～20は近江系の受口状口縁甕である。



第273図 包含層ほか出土土器実測図(縮尺1/4)



第274図 包含層ほか出土土器実測図(縮尺1/4)

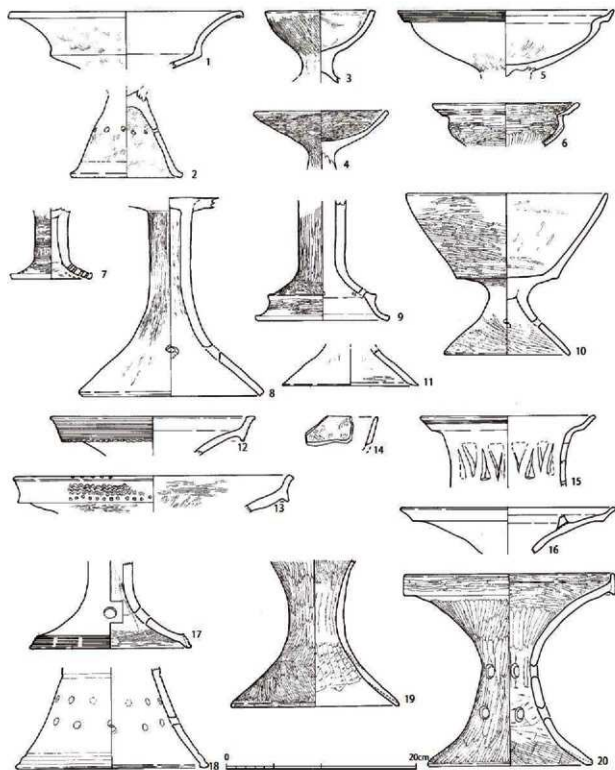
第274図は同じ時期の鉢である。3は片口を、8は把手の痕跡をもつ。15は鉢形のミニチュア品。17は外面に十字状のヘラ記号をもつ底部である。

第275図は同時期の高杯・器台である。1は大きく外反する杯部をもつ高杯。後期前葉のものであろう。柱状の脚部7も同時期と考えられる。10は近江・東海系の深い杯部をもつ高杯で終末期。15・16は装飾器台である。

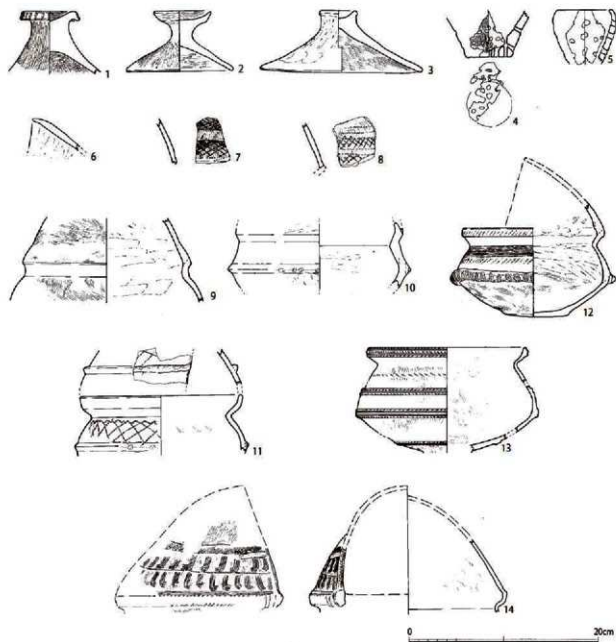
第276図は同じく後期以降のそのほかの器種である。1～3は蓋、4・5は多孔鉢である。6～14は手焙であり、プロポーション、口縁部の形態、施文位置には多様性がある。14は覆い部分で中段に横位の短い突帯を、口縁の開口部近くに縦位の短い突帯を貼付けている。覆いの下段はL字状の櫛描文を方向を違えて2段施文している。

第277図に挙げたのはその後の時期の遺物である。1～9は古墳時代の須恵器。12は緑釉陶器皿。19は隠形の土師器で6世紀代か。15は白磁碗の底部、16は青白磁合子の身である。17は天目茶碗の底部である。

同図20～23は土師器の移動式竈である。20は掛口部分の破片でハケメ調整が残る。端部の断面形は外側のみ弱く肥厚している。21・22は同じく掛口部分であるが、焚口部分の切り取りもみられる。端部の断面形はいずれも方形である。庇は認められない。23も竈と考えられる。焚口部分と考えられ幅6cm程の広い面を作り、厚みを減じていくが最も残りの良い部分で9cm程で終わっている。側面から



第275図 包含層ほか出土土器実測図(縮尺1/4)

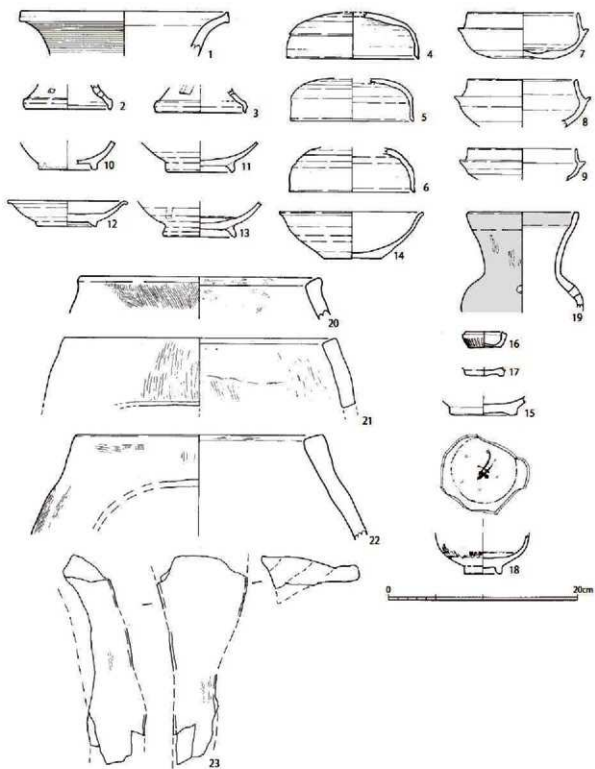


第276図 包含層ほか出土土器実測図(縮尺1/4)

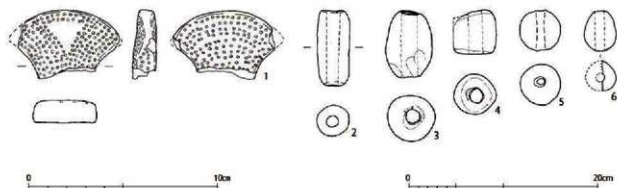
見た幅は下方に向かって細くなっているが、地面に差し込んで固定する部位と考えるには長すぎる。上記の観察が正しければ、通常の大サイズの甕とした場合に焚口部分のみにしかならない。別個の移動式甕か、あるいは造り付け甕に取り付けて用いる焚口部分の可能性があるが、類例はない。

9) 土製品 (第278図)

第278図1は分銅形土製品である。Ⅱ区F・G13・14グリッドの包含層から出土した。全体の約半分を欠損し、天地は不明である。残存長は5.4cm、厚さは1.2cmで、重さは21.6gを量る。本来の全長は7cm程と推定される。左右の突出部で厚みが異なり、図の右側は5mm前後まで厚みを減じる部分がある。断面形では一方の面がわずかに湾曲して膨らむのに対して逆側はほぼ平坦である。以下では湾曲



第277図 包含層ほか出土土器実測図(縮尺1/4)



第278図 土製品実測図(縮尺1/2・1/4)

する面を表面とする。くびれ部での断面形はほぼ方形である。全体は丁寧にナデ調整が行われた後に表面・裏面とくびれ部分の側面に径1mm前後の円筒状の草本類による刺突文が施されている。刺突の深さは約1~4mmとばらつきがある。表面の刺突文は左右側辺に沿って7列が、上辺に沿って2列が施文され、中央に逆三角形の空白部分が生じている。一方、裏面の施文は輪郭に平行するように施文されているようではあるが、空白を作らず全体に刺突が充填されている。側面の刺突は2段施文されている。胎土は精良で白色の砂粒をわずかに含む。色調はにぶい橙色で裏面の一部に黒斑が認められる。焼成は良好である。時期は弥生中期後葉と考えられる。

同図2~5は管状の土錵で古墳時代から古代のものと考えられる。法量は観察表を参照されたい。

註

- 1 佐原真 1964 「弥生式土器の製作技術」[紫雲出] 鹿野町文化財保護委員会
- 2 今回報告する遺物のうち、主要土器について平成22年9月23日に埋蔵文化財関係者を対象とした検討会を当センターにおいて開催し、近県を中心に多数の方々に来訪していただいた。本報告の内容もその際いただいた多くのご教示に依拠している。
- 3 この土器については楠正勝氏、笹沢正史氏、久田正弘氏、福澤貴子氏にご教示いただいた。
- 4 この土器については鎌田美博氏・恩田朋美氏にご教示いただいた。
- 5 この土器については伊庭功氏にご教示いただいた。

第10表 土器観察表

押出	番号	形状	産地	数量(個)	概要	色相	備考
214	1	皿	571 美濃	(口)24.40 (高)10.7	(外面)体部へラツギ、口縁へラツギ、口縁部細コナツ(縞線文4条)へラツギ。 (内面)体部へラツギ、口縁部へラツギ、口縁部へラツギの裏へラツギ。	E10F 黄緑	二ノ宮野分。
214	2	皿	571 美濃	(口)24.7	(外面)体部へラツギ、(内面)体部上へラツギ、下平ナツ。	黄	尾形記号スナ、左側研削痕。
214	3	皿	571 美濃	(口)22.0(高)17.7	(外面)口縁部へラツギ、口縁部細コナツ、縞線文、竹骨何形文、(内面)口縁部ナツ。	E10F 黄緑	尾形記号、
214	4	皿	571 美濃	(口)20.9(高)18.1	(外面)体部へラツギ、口縁部へラツギ、口縁部細コナツ、縞線文、底縁ナツ。 (内面)体部ナツ、口縁部ナツ、上平へラツギ、上平へラツギの裏へラツギ。	黄緑	尾形記号交差線痕あり。
214	5	皿	571 美濃	(口)23.00 (高)14.0	(外面)体部へラツギ、底縁ナツ。	E10F 黄緑	左側研削痕。
215	1	皿	571 美濃	(口)20.9(高)17.0	(外面)口縁部コナツ(縞線文5条)、(内面)口縁部コナツ。	黄緑	スナ丸。
215	2	皿	571 美濃	(口)20.9 (高)14.0	(外面)体部下平へラツギ、上平研削痕文、へラツギ文、口縁部へラツギコナツ。 (内面)体部ナツ、口縁部コナツ。	黄	
215	3	皿	571 美濃	(口)20.4(高)17.0	(外面)体部ナツ、口縁部へラツギ上平コナツ、(内面)体部ナツ、口縁部コナツ。	黄	
215	4	皿	571 美濃	(口)20.9(高)18.0	(外面)体部へラツギ、口縁部コナツ、(内面)体部へラツギナツ、口縁部へラツギコナツ。	E10F 黄緑	
215	5	皿	571 美濃	(口)22.00 (高)12.7	(外面)口縁部へラツギコナツ、(内面)口縁部へラツギコナツ。	黄緑	
215	6	皿	571 美濃	(口)20.9(高)18.0	(外面)体部へラツギ、口縁部へラツギコナツ、縞線部縦線文後部部分に縦線文の付着痕文。 (内面)口縁部へラツギコナツ。	黄	
215	7	皿	571 美濃	(口)20.4(高)18.0	(外面)口縁部へラツギコナツ、(内面)口縁部へラツギ上平コナツ。	E10F 黄緑	
215	8	皿	571 美濃	(口)21.6(高)14.7	(外面)口縁部コナツ、(内面)口縁部コナツ。	黄緑	
215	9	皿	571 美濃	(口)20.3(高)18.0	(外面)体部へラツギ、口縁部へラツギコナツ、(内面)体部へラツギ、口縁部コナツ。	黄	
215	10	皿	571 美濃	(高)20.00(口)21.3	(外面)体部下平へラツギ、上平ナツへラツギ列立文、縞線部縦線文、底縁文、底縁へラツギ列立、(内面)体部ナツ、	黄緑	竹骨何
215	11	皿	571 美濃	(口)24.0 (高)10.0	(外面)口縁部コナツへラツギ、(内面)口縁部コナツへラツギ。	黄	
215	12	皿	571 美濃	(口)20.4(高)18.0	(外面)体部へラツギ、口縁部コナツ(縞線文2条)、(内面)体部へラツギ、口縁部コナツ。	黄	
215	13	皿	571 美濃	(口)27.8(高)18.0	(外面)体部へラツギ、口縁部コナツ(縞線文4条)、(内面)体部へラツギ、口縁部コナツ。	E10F 黄緑	スナ丸。
215	14	皿	571 美濃	(口)20.9(高)18.0	(外面)口縁部コナツ(縞線文4条)、(内面)体部へラツギ、口縁部コナツ。	黄	
215	15	皿	571 美濃	(口)20.9(高)18.0	(外面)体部へラツギ、口縁部コナツ(縞線文3条)、(内面)体部へラツギ、口縁部コナツ。	E10F 黄緑	年代測定資料(9M01)、スナ丸。
215	16	皿	571 美濃	(口)24.8(高)18.0	(外面)口縁部コナツ、(内面)口縁部コナツ。	E10F 黄緑	スナ丸。
215	17	皿	571 美濃	(口)20.9(高)18.0	(外面)口縁部コナツ、(内面)体部へラツギ、口縁部コナツ。	黄緑	スナ丸。
215	18	皿	571 北陸	(口)20.4(高)18.7	(外面)体部へラツギナツ、口縁部コナツ、(内面)体部ナツ、口縁部コナツ。	E10F 黄緑	
215	19	皿	571 北陸	(口)20.9(高)18.0	(外面)体部へラツギ、口縁部コナツ、へラツギ文、(内面)体部ナツ、口縁部コナツ。	黄緑	
215	20	皿	571 美濃	(口)22.6(高)19.0	(外面)体部へラツギ、口縁部コナツ、耳片、(内面)体部へラツギ、口縁部コナツ。	黄	スナ丸。
215	21	皿	571 美濃	(口)24.7(高)18.0	(外面)体部へラツギナツ、口縁部コナツ、(内面)体部へラツギナツ、口縁部コナツ。	E10F 黄緑	スナ丸。
215	22	皿	571 美濃	(口)24.4(高)18.0	(外面)体部へラツギ、口縁部コナツ、(内面)体部へラツギ、口縁部へラツギコナツ。	黄	
215	23	皿	571 美濃	(口)20.9 (高)20.00(口)21.8	(外面)体部へラツギ、口縁部コナツ、底縁ナツ、(内面)体部へラツギナツ、口縁部コナツ。	E10F 黄緑	年代測定資料(9M01)、スナ丸。
215	24	皿	571 美濃	(口)26.1 (高)14.0	(外面)体部へラツギ、口縁部コナツ、(内面)体部へラツギ、口縁部へラツギナツ、口縁部コナツ。	E10F 黄緑	年代測定資料(9M01)、スナ丸。
215	25	571 美濃 野分研削痕	(口)23.7 (高)17.20	(外面)体部へラツギナツ、口縁部コナツ。 (内面)体部下平ナツ、上平へラツギ、一部へラツギ、口縁部コナツ。	E10F 黄緑	尾形記号、	
216	1	高脚	571 美濃	(口)21.8(高)20.0	(外面)体部へラツギ、口縁部コナツ、縞線文、口縁部へラツギ、口縁部細コナツ、縞線文、口縁部へラツギ。 (内面)体部へラツギ、口縁部コナツ、口縁部へラツギ。	E10F 黄緑	内丸4方向。
216	2	高脚	571 美濃	(口)20.6 (高)23.0	(外面)体部へラツギ、口縁部コナツへラツギ、口縁部へラツギ。 (内面)体部へラツギ、口縁部コナツへラツギ、口縁部へラツギ、口縁部へラツギ。	黄	
216	3	高脚	571 美濃	(高)20.7(口)20.3	(外面)脚部細コナツへラツギ、脚部へラツギ、(内面)脚部細コナツへラツギ、脚部へラツギ。	E10F 黄緑	内丸4方向。
216	4	高脚	571 美濃	(高)20.40(口)20.2	(外面)脚部細コナツへラツギ、脚部へラツギ、(内面)脚部細コナツへラツギ、脚部へラツギ。	黄	内丸4方向。
216	5	高脚	571 美濃	(高)20.7(口)20.8	(外面)脚部細コナツへラツギ、脚部へラツギ、(内面)脚部細コナツ、脚部へラツギ。	黄	内丸4方向。
216	6	高脚	571 美濃	(高)23.0 (口)20.4	(外面)体部へラツギ、脚部へラツギ、(内面)体部へラツギ、脚部上平ナツ、下平ナツ。	黄	内丸4方向。
216	7	高脚	571 美濃	(高)20.0(口)20.9	(外面)体部へラツギ、(内面)脚部へラツギコナツ。	黄	内丸4方向。
216	8	高脚	571 美濃	(口)22.8(高)22.7	(外面)口縁部コナツ(縞線文5条)、(内面)口縁部コナツ。	黄	
216	9	高脚	571 美濃	(口)21.8(高)22.0	(外面)口縁部へラツギコナツ(縞線文3条)、(内面)口縁部コナツ。	黄	
216	10	高脚	571 美濃	(高)20.0	(外面)体部ナツ、脚部縦線文、口縁部ナツ、脚部縦線文、(内面)体部ナツ、口縁部ナツ。	E10F 黄緑	

第2節 遺物

押印	番号	種別	遺物	数量(㎡)	概要	色別	備考		
	11	書	371	書簡	(C)134.4(幅)30.0	(外) 漆部ヘラケム、口縁部コナナゲ。(内) 漆部ナゲナゲ、口縁部コナナゲ。	E10A E10B		
	12	書	371	書簡	(C)122.7(幅)21.0	(外) 漆部黒上ホケム、下ホケムナゲ、口縁部コナナゲ。(内) 漆部ヘラケム、口縁部コナナゲ。	E10A E10B		
	13	書	371	書簡	(幅)10.0(幅)12.3	(外) 漆部ヘラケム、口縁部コナナゲ。(内) 漆部ヘラケム、口縁部コナナゲ。	灰白	内孔あり。	
	14	書	372	書簡	(口)13.8(幅)14.0	(外) 口縁部コナナゲ、漆部判正文、同数仕文。(内) 口縁部コナナゲ。	灰黒 黄	新装種灰色。	
	15	書	372	書簡	(口)36.9(幅)25.0	(外) 口縁部コナナゲ、(国書文3巻)、書簡正文、ヘラケム。 (内) 漆部コナナゲ、尺巻、竹葉、漆部漆文。	E10A E10B		
	16	書	372	書簡	(口)38.8(幅)23.0	(外) 口縁部コナナゲ(国書文3巻)、書簡(国書文3巻)、(内) 漆部ヘラケムナゲナゲ。	灰黒 黄		
	17	書	372	書簡	(口)17.8(幅)19.0	(外) 漆部ヘラケム、口縁部コナナゲ。(内) 漆部ヘラケム、口縁部コナナゲ。	E10A E10B		
	17	1	373	書簡	(口)17.8(幅)20.7 (幅)8.4	(外) 漆部ヘラケム後上ホケム、漆部漆文、同数仕文、口縁部ヘラケムコナナゲ、漆部ヘラケムナゲ。 (内) 漆部ヘラケム、口縁部ヘラケムコナナゲ、ヘラケム漆部漆文。	灰黒 黄	内面空面(口縁部)2方向、 漆部漆文書写。	
	17	2	373	書簡	(幅)10.29	(外) 漆部ヘラケム後上ホケム、漆部漆文、同数仕文。(内) 漆部ヘラケムナゲナゲ。	E10A E10B		
	17	3	373	書簡	(口)28.3(幅)22.0	(外) 口縁部コナナゲ(国書文3巻)、ヘラケム漆部漆文4巻。(内) 口縁部コナナゲ。	E10A E10B		
	17	4	373	書簡	(口)15.6(幅)15.0	(外) 漆部ヘラケム、口縁部ヘラケム後上ホケム(国書文3巻)、漆部(尺巻)漆文3巻。 (内) 漆部コナナゲ、口縁部コナナゲ。	E10A E10B		
	17	5	373	書簡	(口)17.6(幅)21.0	(外) 口縁部ヘラケム後上ホケム(国書文4巻)、漆部(尺巻)漆部漆文。 (内) 漆部コナナゲナゲナゲ、漆上ホケムナゲ。	E10A E10B		
	17	6	373	書簡	(口)22.4 (幅)21.40	(外) 漆部コナナゲ、漆部漆文、同数仕文、口縁部ヘラケム後上ホケム(国書文3巻)。 (内) 漆部コナナゲ、口縁部ナゲ後上ホケムナゲ、漆部判正文、同数仕文(漆部漆文)。	黄		
	17	7	373	書簡	(幅)12.7	(外) 漆部ヘラケム、漆部漆文、同数仕文。(内) 漆部ヘラケムナゲナゲ。	E10A E10B		
	17	8	373	書簡	(幅)15.7(幅)14.8	(外) 漆部ヘラケム後上ホケム、漆部漆文、同数仕文。(内) 漆部ヘラケム。	E10A E10B	漆部漆文書写。	
	18	1	373	書簡	(口)13.1 (幅)12.40	(外) 漆部ヘラケム、口縁部ヘラケム後上ホケム(国書文3巻)、漆部(尺巻)漆文。 (内) 漆部ヘラケム後上ホケム、口縁部ヘラケム後上ホケム、漆上ホケムナゲ。	黄 灰黒	ススリ。	
	18	2	373	書簡	(口)16.1(幅)16.3	(外) 口縁部下ホケム後上ホケム、上ホケム(国書文4巻)。(内) 漆部コナナゲナゲ。	黄		
	18	3	373	書簡	(口)16.3(幅)16.0	(外) 漆部ヘラケム、口縁部ヘラケム後上ホケム(国書文3巻)。(内) 漆部コナナゲ、口縁部コナナゲ。	E10A E10B		
	18	4	373	北書	(口)22.8(幅)10.0 (幅)7.8	(外) 漆部コナナゲ後上ホケム、口縁部ヘラケム後上ホケム(国書文3巻)、漆部(尺巻)漆文3巻。 (内) 漆部ヘラケム後上ホケム、口縁部ヘラケム後上ホケム。	黄	漆部漆文書写。	
	18	5	373	書簡	(口)11.5 (幅)10.29(幅)10.6	(外) 漆部ヘラケム、口縁部ヘラケム後上ホケムナゲ、漆部ナゲ。(内) 漆部漆文ナゲ、口縁部ヘラケム後上ホケムナゲ。	E10A E10B	漆部漆文書写、ススリ あり。	
	18	6	書	373	書簡	(幅)12.40	(外) 漆部ヘラケム、漆部漆文、同数仕文。(内) 漆部ヘラケムナゲナゲ、漆部ヘラケム後上ホケムナゲ、下ホケムナゲ。	漆部 黄	内孔(裏面)4方向、漆部 あり。
	18	7	書	373	書簡	(口)18.0(幅)20.0 (幅)8.1	(外) 漆部下ホケムナゲ、上ホケム、口縁部ヘラケム後上ホケム(国書文3巻)、漆部ナゲ。 (内) 漆部ヘラケム後上ホケム、口縁部ヘラケム。	E10A E10B	漆部下ホケム漆部漆文、漆部 あり。
	18	8	書	373	書簡	(幅)12.29(幅)11.9	(外) 漆部ヘラケム、漆部判正文、漆部ヘラケム。(内) 漆部ヘラケムナゲナゲ。	漆部 黄	漆部下ホケム漆部漆文、漆部 あり。
	18	9	書	373	北書	(幅)13.40	(外) 漆部ヘラケム後上ホケム。(内) 漆部ヘラケム後上ホケムナゲ。	E10A E10B	漆部ナゲ。
	18	10	書	373	書簡	(口)11.8(幅)11.0	(外) 漆部ヘラケム、口縁部コナナゲ(国書文3巻)。(内) 漆部ヘラケム、口縁部コナナゲ。	E10A E10B	
	18	11	書	373	書簡	(口)11.8(幅)11.3 (幅)7.8	(外) 漆部ヘラケム、口縁部コナナゲ(国書文4巻)、漆部コナナゲ。(内) 漆部ナゲ、漆部コナナゲ。	黄	内孔あり。
	18	12	書	373	書簡	(口)17.13(幅)14.0	(外) 漆部ヘラケム、口縁部コナナゲ(国書文3巻)。(内) 漆部ヘラケムナゲナゲ、口縁部コナナゲ。	E10A E10B	
	19	1	書	373	書簡	(口)22.8 (幅)16.7	(外) 漆部ヘラケム、口縁部コナナゲ、漆部判正文。(内) 漆部ヘラケム後上ホケム、口縁部ヘラケム。	E10A E10B	
	19	2	書	374	北書	(口)18.0 (幅)22.0(幅)15.6	(外) 漆部コナナゲ後上ホケム、口縁部ヘラケム後上ホケム、漆部判正文、漆部ナゲ。 (内) 漆部コナナゲ、口縁部ヘラケム後上ホケム。	E10A E10B	漆部漆部判正文(国書文3巻)・10、 ススリあり。
	19	3	書	374	書簡	(口)15.9(幅)15.0	(外) 漆部コナナゲ後上ホケム、口縁部コナナゲ後上ホケム、漆部判正文。 (内) 漆部コナナゲナゲナゲ、口縁部コナナゲ。	E10A E10B	
	19	4	書	373	書簡	(口)14.7(幅)21.3 (幅)4.4	(外) 漆部ヘラケム、漆部(尺巻)漆文、漆部コナナゲ、漆部判正文、漆部ヘラケム。 (内) 漆部下ホケムナゲ、上ホケム、口縁部コナナゲ。	E10A E10B	
	19	5	書	373	書簡	(幅)19.39(幅)12.9	(外) 漆部ヘラケム、漆部(尺巻)漆文3巻、漆部(漆部)漆部漆文3巻。(内) 漆部ヘラケムナゲナゲ。	E10A E10B	ススリ。
	19	6	書	373	書簡	(口)16.5 (幅)20.29(幅)15.1	(外) 漆部ヘラケム後上ホケム、口縁部コナナゲ、漆部判正文。(内) 漆部ナゲ、口縁部コナナゲ。	灰黒 黄	ススリあり。
	19	7	書	373	北書	(口)21.2(幅)16.0	(外) 漆部ヘラケム、口縁部コナナゲ。(内) 漆部ヘラケム、口縁部ヘラケム後上ホケムナゲ。	E10A E10B	ススリ。
	19	8	書	373	書簡	(口)12.8(幅)11.0	(外) 漆部ヘラケム、口縁部コナナゲ(国書文1巻)。(内) 漆部ナゲ、口縁部コナナゲ。	E10A E10B	ススリ。
	19	9	書	373	書簡	(口)12.8(幅)11.0)	(外) 漆部ヘラケム、口縁部コナナゲ。(内) 漆部ナゲ、口縁部コナナゲ。	E10A E10B	ススリ。
	19	10	書	373	書簡	(口)22.8 (幅)16.40	(外) 漆部ヘラケム、口縁部コナナゲ(国書文1巻)。(内) 漆部ヘラケム、口縁部コナナゲ。	漆部 黄	
	19	11	書	373	書簡	(口)27.8(幅)14.0)	(外) 漆部ヘラケム、口縁部コナナゲ、漆部(尺巻)漆文3巻。(内) 漆部ナゲ、口縁部コナナゲ。	漆部 黄	
	19	12	書	373	書簡	(口)22.8(幅)12.0)	(外) 漆部コナナゲ後上ホケム、口縁部コナナゲ(国書文3巻)。(内) 漆部ヘラケム後上ホケム、口縁部コナナゲ。	黄	ススリ。
	20	1	書	373	書簡	(口)23.7 (幅)19.40	(外) 漆部ヘラケム、口縁部コナナゲ(国書文2巻)後上ホケム、漆部ヘラケム、漆部漆文。 (内) 漆部ヘラケム、口縁部コナナゲ後上ホケム、漆部ナゲ。	E10A E10B	内孔(裏面)4方向、 漆部漆文書写。

第4章 遺構と遺物

探出	番号	種類	遺構	数量(㎡)	調査	色別	備考
220	2	瓦葺	373 南側	(C)38.8(北)33.3 (北)38.8(南)33.3	(外) 内部ヘラケツ後ヘラツギキ、白磁器コナヅ(国産文土)後ヘラツギキ。 (内) 内部ヘラツギキ、白磁器コナヅ後ヘラツギキ。	灰色	
220	3	瓦葺	373 南側	(北)33.40 (南)31.8	(外) 内部ヘラツギキ、巻掛瓦葺、焼酎コナヅ(国産文土)後ヘラツギキ。	灰色	
220	4	瓦葺	373 南側	(北)31.1(南)36.0	(外) 内部ヘラケツ後ヘラツギキ、白磁器コナヅ(国産文土)後ヘラツギキ、巻掛瓦葺。 (内) 内部ヘラツギキ、白磁器コナヅ、焼酎コナヅ。	灰色 白色	
220	5	瓦葺	373 南側	(南)38.0(北)38.0	(外) 内部ヘラツギキ、巻掛瓦葺、焼酎コナヅ。 (内) 内部ヘラツギキ、下平ヘラケツ、焼酎コナヅ。	灰色 白色	内瓦2枚欠。
220	6	瓦葺	373 南側	(G)39.2(北)38.5	(外) 内部ヘラケツ後ヘラツギキ、白磁器コナヅ(国産文土)後ヘラツギキ。 (内) 内部ヘラケツ、白磁器コナヅ。	灰色 白色	
220	7	瓦葺	373 北側	(北)33.53 (南)31.4	(外) 内部ヘラツギキ、巻掛瓦葺、焼酎コナヅ。 (内) 内部ヘラツギキ、下平ヘラケツ、焼酎コナヅ。	灰色	内瓦1枚北瓦1枚欠。
220	8	瓦葺	373 南側	(C)38.8(北)37.8	(外) 内部ヘラツギキ、白磁器コナヅ後ヘラツギキ。 (内) 内部ヘラツギキ、白磁器コナヅ後ヘラツギキ。	灰色	
220	9	瓦葺	373 東側	(C)38.8(北)32.0	(外) 内部ヘラツギキ、白磁器コナヅ後ヘラツギキ。 (内) 内部ヘラツギキ、白磁器コナヅ後ヘラツギキ。	灰色 白色	
220	10	瓦葺	373 南側	(C)21.8(北)4.0	(外) 内部ヘラツギキ、白磁器コナヅ(国産文土)後ヘラツギキ。 (内) 内部ヘラツギキ、白磁器コナヅ。	灰色	
220	11	瓦葺	373 南側	(北)34.80 (南)32.6	(外) 内部ヘラツギキ、焼酎コナヅ。 (内) 内部ヘラツギキ、焼酎コナヅ、下平ヘラケツ。	灰色	
220	12	瓦葺	373 北側	(北)32.2(南)3.2 (北)4.3	(外) 内部ヘラツギキ、白磁器コナヅ、巻掛瓦葺。 (内) 内部ヘラツギキ、巻掛瓦葺。	灰色 白色	
220	13	瓦葺	374 東側	(C)34.8(北)3.0	(外) 内部ヘラケツ、白磁器コナヅ(国産文土)後ヘラツギキ。 (内) 内部ヘラツギキ、白磁器コナヅ。	灰色 白色	内瓦1枚。
220	14	瓦葺	374 東側	(C)34.2(北)3.7	(外) 内部ヘラツギキ、白磁器コナヅ。 (内) 内部ヘラツギキ、白磁器コナヅ。	灰色 白色	内瓦1枚。
220	15	瓦葺	374 東側	(G)38.1(北)38.1	(外) 内部ヘラケツ、白磁器コナヅ。 (内) 内部ヘラケツ、白磁器コナヅ。	灰色 白色	内瓦1枚。
220	16	瓦葺	374 東側	(北)32.32(南)34.8	(外) 内部ヘラケツ、白磁器コナヅ。 (内) 内部ヘラケツ、白磁器コナヅ。	灰色 白色	
220	17	瓦葺	374 東側	(C)38.8(北)32.0	(外) 内部ヘラツギキ、白磁器コナヅ(国産文土)後ヘラツギキ。 (内) 内部ヘラツギキ、白磁器コナヅ後ヘラツギキ。	灰色 白色	
220	1	瓦葺	375 東側	(G)26.5(北)32.2 (北)1.6	(外) 内部ヘラツギキ後ヘラツギキ、巻掛瓦葺、内瓦1枚、白磁器コナヅ(国産文土)後ヘラツギキ。 (内) 内部ヘラツギキ後ヘラツギキ、巻掛瓦葺、内瓦1枚、白磁器コナヅ、下平ヘラケツ。	灰色 白色	内瓦1枚北瓦1枚欠。
220	2	瓦葺	375 西側	(北)28.1(南)36.2	(外) 内部ヘラケツ後下平ヘラツギキ、巻掛瓦葺、内瓦1枚、白磁器コナヅ(国産文土)後ヘラツギキ。 (内) 内部ヘラケツ後下平ヘラツギキ、巻掛瓦葺、内瓦1枚、白磁器コナヅ、下平ヘラケツ。	灰色 白色	内瓦1枚北瓦1枚欠。
220	3	瓦葺	375 北側	(北)28.1 (北)4.3	(外) 内部ヘラケツ後下平ヘラツギキ、巻掛瓦葺、内瓦1枚、白磁器コナヅ(国産文土)後ヘラツギキ。 (内) 内部ヘラケツ後下平ヘラツギキ、巻掛瓦葺、内瓦1枚、白磁器コナヅ。	灰色 白色	
220	4	瓦葺	375 東側	(C)31.8(北)30.8 (北)4.0	(外) 内部ヘラツギキ後ヘラツギキ、白磁器コナヅ(国産文土)後ヘラツギキ。 (内) 内部ヘラツギキ後ヘラツギキ、白磁器コナヅ。	灰色 白色	内瓦1枚欠。
220	5	瓦葺	375 東側	(C)31.6(北)14.4 (北)4.0	(外) 内部ヘラケツ後下平ヘラツギキ、巻掛瓦葺、内瓦1枚、白磁器コナヅ(国産文土)後ヘラツギキ。 (内) 内部ヘラケツ後下平ヘラツギキ、巻掛瓦葺、内瓦1枚、白磁器コナヅ。	灰色 白色	
220	6	瓦葺	375 東側	(C)19.8(北)15.5 (北)4.8	(外) 内部ヘラケツ後下平ヘラツギキ、巻掛瓦葺、内瓦1枚、白磁器コナヅ(国産文土)後ヘラツギキ。 (内) 内部ヘラケツ後下平ヘラツギキ、巻掛瓦葺、内瓦1枚、白磁器コナヅ。	灰色 白色	内瓦1枚欠。
220	7	瓦葺	375 西側	(北)16.1(北)17.3 (北)4.1	(外) 内部ヘラケツ、巻掛瓦葺、内瓦1枚、白磁器コナヅ(国産文土)後ヘラツギキ。 (内) 内部ヘラケツ、巻掛瓦葺、内瓦1枚、白磁器コナヅ。	灰色 白色	内瓦1枚北瓦1枚欠。
220	1	瓦葺	375 南側	(C)33.7(北)35.7 (北)4.7	(外) 内部ヘラケツ後下平ヘラツギキ、巻掛瓦葺、内瓦1枚、白磁器コナヅ(国産文土)後ヘラツギキ。 (内) 内部ヘラケツ後下平ヘラツギキ、巻掛瓦葺、内瓦1枚、白磁器コナヅ。	灰色 白色	内瓦1枚。
220	2	瓦葺	375 東側	(北)33.0(北)38.0	(外) 内部ヘラケツ後下平ヘラツギキ、巻掛瓦葺、内瓦1枚、白磁器コナヅ(国産文土)後ヘラツギキ。 (内) 内部ヘラケツ後下平ヘラツギキ、巻掛瓦葺、内瓦1枚、白磁器コナヅ。	灰色 白色	内瓦1枚。
220	3	瓦葺	375 東側	(C)325.80 (北)36.0	(外) 内部ヘラツギキ、白磁器コナヅ(国産文土)後ヘラツギキ。 (内) 内部ヘラツギキ、白磁器コナヅ後ヘラツギキ。	灰色 白色	
220	4	瓦葺	375 東側	(北)38.50(北)34.6	(外) 内部ヘラツギキ、巻掛瓦葺、内瓦1枚、白磁器コナヅ。 (内) 内部ヘラツギキ、巻掛瓦葺、内瓦1枚、白磁器コナヅ。	灰色 白色	
220	5	瓦葺	375 西側	(C)34.4(北)35.0 (北)11.4	(外) 内部ヘラケツ後下平ヘラツギキ、巻掛瓦葺、内瓦1枚、白磁器コナヅ(国産文土)後ヘラツギキ。 (内) 内部ヘラケツ後下平ヘラツギキ、巻掛瓦葺、内瓦1枚、白磁器コナヅ。	灰色 白色	内瓦1枚欠。
220	6	瓦葺	376 南側	(C)33.8(北)36.0	(外) 内部ヘラケツ後下平ヘラツギキ、巻掛瓦葺、内瓦1枚、白磁器コナヅ。 (内) 内部ヘラケツ後下平ヘラツギキ、巻掛瓦葺、内瓦1枚、白磁器コナヅ。	灰色 白色	
220	7	瓦葺	376 東側	(北)26.40(北)36.0	(外) 内部ヘラケツ、巻掛瓦葺、内瓦1枚、白磁器コナヅ。 (内) 内部ヘラケツ、巻掛瓦葺、内瓦1枚、白磁器コナヅ。	灰色 白色	内瓦1枚。
220	8	瓦葺	376 東側	(C)34.4(北)36.0	(外) 内部ヘラケツ、白磁器コナヅ。 (内) 内部ヘラケツ、白磁器コナヅ。	灰色 白色	
220	9	瓦葺	377 北側	(C)37.8(北)37.2	(外) 内部ヘラケツ、白磁器コナヅ(国産文土)後ヘラツギキ。 (内) 内部ヘラケツ、白磁器コナヅ。	灰色 白色	内瓦1枚。
220	10	瓦葺	378 東側	(C)34.8 (北)33.0	(外) 内部ヘラケツ後下平ヘラツギキ、巻掛瓦葺、内瓦1枚、白磁器コナヅ(国産文土)後ヘラツギキ。 (内) 内部ヘラケツ後下平ヘラツギキ、巻掛瓦葺、内瓦1枚、白磁器コナヅ。	灰色 白色	内瓦1枚欠。
220	11	瓦葺	378 東側	(C)31.8(北)30.2 (北)3.4	(外) 内部ヘラケツ後下平ヘラツギキ、巻掛瓦葺、内瓦1枚、白磁器コナヅ。 (内) 内部ヘラケツ後下平ヘラツギキ、巻掛瓦葺、内瓦1枚、白磁器コナヅ。	灰色 白色	内瓦1枚。
220	1	瓦葺	379 南側	(C)38.8 (北)35.0	(外) 内部ヘラケツ後下平ヘラツギキ、巻掛瓦葺、内瓦1枚、白磁器コナヅ(国産文土)後ヘラツギキ。 (内) 内部ヘラケツ後下平ヘラツギキ、巻掛瓦葺、内瓦1枚、白磁器コナヅ。	灰色 白色	
220	2	瓦葺	379 北側	(C)38.8(北)32.0	(外) 内部ヘラケツ後下平ヘラツギキ、巻掛瓦葺、内瓦1枚、白磁器コナヅ(国産文土)後ヘラツギキ。 (内) 内部ヘラケツ後下平ヘラツギキ、巻掛瓦葺、内瓦1枚、白磁器コナヅ。	灰色 白色	内瓦1枚(内瓦1枚欠)。
220	3	瓦葺	379 南側	(C)36.2(北)36.0 (北)9.4	(外) 内部ヘラツギキ、白磁器コナヅ(国産文土)後ヘラツギキ。 (内) 内部ヘラツギキ、白磁器コナヅ(国産文土)後ヘラツギキ。	灰色 白色	
220	4	瓦葺	379 東側	(C)32.2(北)35.0	(外) 内部ヘラツギキ、白磁器コナヅ(国産文土)後ヘラツギキ。 (内) 内部ヘラツギキ、白磁器コナヅ。	灰色 白色	内瓦1枚。
220	5	瓦葺	379 東側	(C)38.5(北)34.4 (北)7.2	(外) 内部ヘラケツ、白磁器コナヅ。 (内) 内部ヘラケツ、白磁器コナヅ。	灰色 白色	
220	6	瓦葺	379 東側	(C)38.8(北)32.0 (北)3.4	(外) 内部ヘラケツ、白磁器コナヅ(国産文土)後ヘラツギキ。 (内) 内部ヘラケツ後下平ヘラツギキ、巻掛瓦葺、内瓦1枚、白磁器コナヅ。	灰色 白色	内瓦1枚。

第2節 遺物

押印	番号	種別	遺物	数量(㎡)	調査	色別	備考		
	222	7	資料	379	東原	(O)39.8(A)23.5 (O)39.2	(外) 扉部へラヒガキ、口縁部コナダ、扉部へラヒガキ、端部コナダ。 (内) 扉部へラヒガキ後へラヒガキ、口縁部コナダ後へラヒガキ、扉部へラヒガキ。	にぶ し境	
	223	8	瓦	5711	東原	(O)39.1(A)21.0	(外) 口縁部へラヒガキ後へラヒガキ、端部コナダ、竹葉文。(内) 口縁部へラヒガキ後端部コナダ。	にぶ し境	
	224	9	銅線瓦	5713	東原	(O)39.8(A)8.7 (O)39.3	(外) 扉部へラヒガキ、口縁部コナダ(国産文5条)、端部コナダ。 (内) 口縁部へラヒガキ後へラヒガキ、口縁部コナダ。	にぶ し境	緑丸あり。
	225	10	自然木瓦	5712 5713	東原	(O)39.8(A)23.5 (O)39.4	(外) 扉部へラヒガキ後へラヒガキ、上ラハケ文、端部瓦文、端部瓦文、同列瓦文、口縁部へラヒガキ後コナダ、竹葉文、同列瓦文、端部瓦文、端部コナダ、(内) 扉部へラヒガキ後コナダ、口縁部コナダ、端部コナダ。	浅黄 黄	扉部下平地成後厚10、想 手あり。
	226	11	資料	5713 5714	東原	(O)37.1(A)39.7 (O)39.2	(外) 扉部コナダ、口縁部コナダ、端部コナダ。 (内) 扉部へラヒガキ、口縁部コナダ、扉部上ラハケ文、下ラハケ文。	黄緑	
	227	1	瓦	5714	北原	(O)39.2 (O)39.1(A)11.8	(外) 扉部コナダ、口縁部コナダ(国産文5条)、端部コナダ(国産文5条)。(内) 扉部コナダ、口縁部コナダ。	灰白	
	228	2	資料	5714	東原	(O)39.8(A)10.1	(外) 扉部へラヒガキ、口縁部コナダ(国産文5条)後へラヒガキ。 (内) 扉部へラヒガキ、口縁部コナダ後へラヒガキ。	にぶ し境	
	229	3	瓦	5715	北原	(O)39.8 (O)39.8	(外) 扉部コナダ、竹葉文瓦文、口縁部コナダ後上ラハケ文(国産文5条)。 (内) 扉部コナダ、口縁部コナダ後上ラハケ文。	にぶ し境	(内) 扉部コナダ後上ラハケ文。
	230	4	瓦	5715	東原	(O)39.8(A)14.7	(外) 扉部コナダ、端部瓦文、口縁部コナダ、竹葉文瓦文。(内) 扉部コナダ、口縁部コナダ。	にぶ し境	スス丸。
	231	5	銅線	5715	東原	(O)39.8(A)14.8	(外) 扉部へラヒガキ、口縁部コナダ。(内) 扉部上ラハケ文、下ラハケ文。	黄	四丸あり。
	232	6	瓦	5716	東原	(O)39.8(A)10.7	(外) 口縁部へラヒガキ後コナダ(国産文5条)、端部コナダ(国産文5条)。(内) 口縁部コナダ。	浅黄	
	233	7	瓦	5716	北原	(O)39.8(A)10.3	(外) 扉部コナダ後コナダ、口縁部コナダ。(内) 扉部コナダ後コナダ、口縁部コナダ。	浅黄	
	234	8	銅線	5716	東原	(O)39.2(A)14.0	(外) 扉部へラヒガキ、端部コナダ(国産文5条)。(内) 扉部へラヒガキ。	灰白	四丸あり。
	235	9	瓦	5717	北原	(O)39.7 (O)39.1(A)10.6	(外) 扉部コナダ、端部瓦文、同列瓦文、口縁部コナダ後上ラハケ文。 (内) 扉部コナダ、口縁部コナダ、端部瓦文。	黄	(内) 扉部瓦文あり。
	236	10	瓦	5717	東原	(O)39.8(A)10.8 (O)39.6	(外) 扉部コナダ後下ラハケ文、口縁部へラヒガキ後コナダ(国産文5条)、端部コナダ(国産文5条)、端部へラヒガキ。 (内) 扉部コナダ後下ラハケ文、上ラハケ文後コナダ、口縁部コナダ後上ラハケ文。	にぶ し境	
	237	11	木瓦	5717	東原	(O)39.8(A)14.4 (O)39.6	(外) 扉部コナダ、口縁部コナダ、端部コナダ。(内) 扉部コナダ後コナダ、口縁部コナダ。	黄緑	想手あり。
	238	12	瓦	5717	北原	(O)37.2(A)10.0	(外) 口縁部へラヒガキ後端部(国産文5条)、竹葉文瓦文。 (内) 口縁部へラヒガキ後コナダ、竹葉文瓦文。	灰白	
	239	13	瓦	5717	東原	(O)39.8(A)10.0	(外) 扉部コナダ、口縁部へラヒガキ後コナダ、端部コナダ(国産文5条)。 (内) 扉部コナダ後コナダ、口縁部コナダ後コナダ。	にぶ し境	
	240	14	瓦	5717	北原	(O)39.8(A)10.7	(外) 扉部コナダ、口縁部コナダ(国産文5条)。(内) 扉部コナダ、口縁部コナダ。	にぶ し境	
	241	15	瓦	5717	北原	(O)39.8(A)11.7	(外) 口縁部コナダ、端部瓦文。(内) 口縁部コナダ後上ラハケ文。	にぶ し境	
	242	16	瓦	5717	北原	(O)39.8(A)11.6	(外) 扉部へラヒガキ、口縁部コナダ。(内) 扉部へラヒガキ。	浅黄	四丸あり。
	243	1	瓦	5718	東原	(O)39.8(A)10.8	(外) 口縁部へラヒガキ後上ラハケ文(国産文5条)、端部コナダ(国産文5条)。 (内) 口縁部へラヒガキ後上ラハケ文、口縁部コナダ。	にぶ し境	
	244	2	瓦	5718	東原	(O)39.1(A)10.6	(外) 口縁部へラヒガキ後上ラハケ文、端部コナダ(国産文5条)。(内) 口縁部へラヒガキ後上ラハケ文。	灰白	
	245	3	瓦	5718	東原	(O)37.8(A)10.0	(外) 扉部コナダ後コナダ、口縁部コナダ。(内) 扉部コナダ、口縁部コナダ。	黄	
	246	4	瓦	5718	東原	(O)39.4(A)10.1	(外) 口縁部コナダ(国産文5条)。(内) 口縁部コナダ。	灰白	
	247	5	自然木瓦	5718	東原	(O)39.8(A)24.6 (O)39.2	(外) 扉部コナダ後上ラハケ文、上ラハケ文、端部瓦文、同列瓦文、口縁部コナダ(国産文5条)、端部コナダ、端部コナダ、(内) 扉部コナダ後上ラハケ文、口縁部コナダ、端部コナダ。	浅黄 黄	扉部下平地成後厚10、想 手あり。
	248	6	瓦	5718	東原	(O)39.2(A)10.7	(外) 扉部コナダ後下ラハケ文、上ラハケ文(国産文5条)。(内) 口縁部コナダ。	浅黄 黄	
	249	7	瓦	5718	東原	(O)39.4(A)10.1	(外) 口縁部コナダ、端部瓦文、同列瓦文、端部コナダ。(内) 口縁部コナダ、端部コナダ。	にぶ し境	
	250	8	瓦	5718	東原	(O)39.4(A)10.4	(外) 扉部コナダ、端部瓦文、同列瓦文、端部コナダ、(内) 扉部コナダ、端部コナダ。	にぶ し境	
	251	9	瓦	5718	東原	(O)39.2(A)10.3	(外) 扉部コナダ、口縁部コナダ、竹葉文。(内) 扉部コナダ、口縁部コナダ。	にぶ し境	
	252	10	瓦	5718	東原	(O)37.9 (O)39.2(A)11.7	(外) 扉部コナダ、口縁部コナダ。(内) 扉部コナダ、口縁部コナダ。	黄緑	八ス丸、輸入品。
	253	11	瓦	5718	東原	(O)39.2(A)10.0	(外) 扉部コナダ、口縁部コナダ。(内) 扉部コナダ、口縁部コナダ。	黄	母文の粘土質付付片を 認めず。
	254	12	瓦	5718	東原	(O)39.2(A)10.0	(外) 扉部コナダ、口縁部コナダ。(内) 扉部コナダ、口縁部コナダ。	にぶ し境	スス丸。
	255	13	瓦	5718	東原	(O)39.8(A)10.0	(外) 扉部コナダ、口縁部コナダ。(内) 扉部コナダ、口縁部コナダ。	にぶ し境	スス丸。
	256	14	資料	5718	東原	(O)39.2 (O)39.8	(外) 扉部上ラハケ文後コナダ、下ラハケ文後へラヒガキ、口縁部コナダ、端部へラヒガキ。 (内) 扉部コナダ後へラヒガキ、口縁部コナダ、端部へラヒガキ。	にぶ し境	
	257	15	銅線	5718	東原	(O)39.1(A)11.4	(外) 扉部へラヒガキ後へラヒガキ、端部コナダ。(内) 扉部コナダ、端部上ラハケ文、下ラハケ文。	にぶ し境	
	258	16	銅線	5718	東原	(O)39.8(A)12.0	(外) 扉部へラヒガキ後上ラハケ文、端部瓦文、端部コナダ。(内) 扉部へラヒガキ、端部コナダ。	灰白	四丸上成後4丸あり。
	259	17	瓦	5720	東原	(O)39.8(A)10.0	(外) 口縁部コナダ(国産文5条)、端部瓦文の成りあり。(内) 口縁部コナダ後へラヒガキ。	にぶ し境	輸入品。
	260	18	瓦	5721	東原	(O)39.8(A)10.1	(外) 扉部コナダ、口縁部コナダ後へラヒガキ、端部コナダ。(内) 扉部コナダ、口縁部コナダ、端部コナダ。	灰白	
	261	19	瓦	5720	東原	(O)39.8(A)24.9 (O)39.4	(外) 扉部コナダ後上ラハケ文、口縁部コナダ後端部コナダ、端部コナダ。 (内) 扉部コナダ後上ラハケ文、口縁部コナダ。	にぶ し境	

第4章 遺構と遺物

押印	番号	種別	遺構	数量(㎡)	調査	色別	備考
	204	2	3722 遺構	(C)38.6 (調)38.4	(外) 外部排水溝・排水口、口縁部コナテ、(内) 内部排水溝テ、口縁部コナテ。	緑・白 黄緑	
	205	3	3722 遺構	(C)36.7 (調)33.4	(外) 口縁部排水溝上縁コナテ、覆土排水口、(内) 口縁部コナテ。	緑・白 黄緑	
	206	4	3722 遺構	(C)38.9(調)2.9	(外) 外部排水口、口縁部コナテ、(内) 内部排水口、口縁部コナテ。	黄緑	ススガ。
	207	5	3722 遺構	(C)31.6 (調)27.2	(外) 内部排水口、口縁部コナテ、(内) 内部排水口、口縁部コナテ。	緑・白 黄緑	黄緑色。
	208	6	3722 遺構	(C)34.8 (調)33.9	(外) 外部排水口、口縁部コナテ、(内) 内部排水口、口縁部コナテ。	緑・白 黄緑	ススガ。
	209	7	3722 遺構	(C)36.2 (調)38.0	(外) 内部排水口、口縁部コナテ(国産文1品)。 (内) 内部排水口以下へラズテ、上縁コナテ、口縁部コナテ。	緑・白 黄緑	ススガ・赤土。
	210	8	3722 遺構	(C)38.4(調)2.5	(外) 内部排水口下縁テ、口縁部コナテ(国産文2品)。(内) 内部排水口下縁テ、口縁部コナテ。	黄緑	
	211	9	3722 遺構	(C)22.9(調)21.8 (調)38.8	(外) 内部排水口下縁コナテ、上上縁排水口、口縁部コナテ、内部排水口、内部排水口下縁コナテ、上上縁排水口、口縁部コナテ。	黄緑 黄緑	ススガ・赤土。
	212	10	3722 遺構	(C)22.2(調)9.5	(外) 内部排水口下縁コナテ、上上縁排水口、国産文3品、口縁部コナテ(国産文1品)。 (内) 内部排水口下縁コナテ、上上縁排水口、口縁部コナテ。	黄緑 黄緑	ススガ。
	213	11	3722 遺構	(調)23.7(調)15.2	(外) 内部排水口下縁テ、口縁部コナテ(国産文1品)。(内) 内部排水口下縁テ、下上縁排水口。	緑・白 黄緑	赤土・黄緑。
	214	12	3722 遺構	(C)38.8 (調)33.4	(外) 口縁部排水溝上縁コナテ、覆土排水口。(内) 口縁部コナテ。	黄緑 黄緑	ススガ、新国産文。
	215	13	3722 遺構	(C)33.4(調)35.0	(外) 外部排水口、口縁部コナテ(国産文3品)。(内) 内部排水口、口縁部コナテ。	黄緑 黄緑	
	216	14	3722 遺構	(C)34.1(調)4.8	(外) 内部排水口、口縁部コナテ、(内) 内部排水口、口縁部コナテ。	黄緑	
	217	15	3722 遺構	(C)36.9(調)11.0	(外) 内部排水口、口縁部コナテ、(内) 内部排水口、口縁部コナテ。	緑・白 黄緑	緑色あり。
	218	16	3724 遺構	(C)36.2 (調)33.1	(外) 外部排水口、口縁部コナテ、へラ状状況。(内) 内部排水口、口縁部コナテ、覆土排水口。	黄緑	
	219	17	3724 遺構	(C)36.9 (調)33.4	(外) 内部排水口下縁コナテ、口縁部コナテ下縁コナテ、 (内) 内部排水口下縁コナテ、口縁部コナテ下縁コナテ。	緑・白 黄緑	
	220	18	3724 遺構	(調)38.40	(外) 内部排水口下縁テ、口縁部コナテ。	黄緑	
	221	19	3724	(調)38.40 (調)38.6	(外) 外部排水口、口縁部排水溝コナテ、(内) 外部排水口、口縁部排水溝コナテ。	緑・白 黄緑	
	222	20	3724 遺構	(C)22.8 (調)14.4	(外) 内部排水口下縁部コナテ、覆土排水口排水溝。(内) 内部排水口下縁部コナテ、口縁部排水溝コナテ。	緑・白 黄緑	
	223	21	3724 遺構	(C)34.8 (調)44.20	(外) 外部排水口、口縁部コナテ、覆土排水溝排水口。(内) 外部排水口下縁部コナテ、口縁部排水溝コナテ。	黄緑 黄緑	
	224	22	3724 遺構	(C)35.9 (調)33.60	(外) 口縁部コナテ、(内) 内部排水口、口縁部排水溝コナテ。	黄緑	
	227	1	3726 遺構	(C)28.8 (調)33.20	(外) 内部排水口下縁コナテ下縁コナテ、口縁部コナテ(国産文3品)。(内) 内部排水口下縁コナテ、口縁部コナテ。	黄緑	
	228	2	3726 遺構	(C)11.4(調)9.0 (調)4.5	(外) 外部排水口、口縁部コナテ、覆土排水口、蓋部コナテ、(内) 内部排水口、口縁部コナテ。	黄緑 黄緑	
	229	3	3727 遺構	(調)38.40(調)4.7	(外) 内部排水口、蓋部コナテ、(内) 内部排水口。	緑・白 黄緑	
	227	4	3728 遺構	(C)38.8(調)8.7 (調)3.1	(外) 内部排水口下縁コナテ、口縁部コナテ下縁コナテ、蓋部コナテ。 (内) 内部排水口下縁コナテ、口縁部コナテ下縁コナテ。	緑・白 黄緑	粘土あり。
	227	5	3728 遺構	(C)37.8(調)8.0	(外) 外部排水口、口縁部コナテ、(内) 内部排水口下縁コナテ、口縁部コナテ。	黄緑	
	227	6	3728 遺構	(C)37.8(調)8.0	(外) 外部排水口、口縁部コナテ、(内) 内部排水口下縁コナテ、口縁部排水口。	黄緑	
	227	7	3729 西條 北 遺	(C)22.2 (調)13.9)	(外) 外部排水口、口縁部排水溝コナテ、(内) 内部排水口下縁コナテ、口縁部排水溝コナテ。	緑・白 黄緑	外周ススガ。
	227	8	3731 遺構	(調)38.13(調)4.8	(外) 外部排水口、蓋部コナテ、(内) 内部排水口下縁コナテ。	緑・白 黄緑	年代判定資料のPM100、 埋入品、コナテ。
	228	1	3732 遺構	(C)32.8(調)38.0	(外) 内部排水口下縁コナテ下縁コナテ、口縁部コナテ(国産文3品)。(内) 内部排水口下縁コナテ、口縁部コナテ。	緑・白 黄緑	ススガ。
	228	2	3732 遺構	(調)38.0(調)3.8	(外) 内部排水口下縁コナテ下縁コナテ、蓋部排水口。(内) 内部排水口下縁コナテ。	緑・白 黄緑	外周ススガ。 埋入品・蓋部排水口。
	229	3	3733 遺構	(C)38.8(調)16.8	(外) 外部排水口、口縁部コナテ下縁コナテ、蓋部排水口。 (内) 内部排水口下縁コナテ下縁コナテ、口縁部コナテ。	黄緑 黄緑	
	230	4	3732 遺構	(C)38.4(調)15.7 (調)3.3	(外) 外部排水口、口縁部コナテ、蓋部コナテ。(内) 内部排水口下縁コナテ下縁コナテ、口縁部排水口下縁コナテ。	黄緑 黄緑	蓋部排水口あり。
	230	5	3732 遺構	(調)38.0	(外) 内部排水口下縁コナテ下縁コナテ、蓋部排水口。(内) 内部排水口下縁コナテ下縁コナテ、口縁部排水口下縁コナテ。	緑・白 黄緑	粘土・黄緑あり。
	230	6	3732 遺構	(調)33.7(調)7.4	(外) 外部排水口、蓋部コナテ、(内) 内部排水口下縁コナテ。	黄緑	蓋部排水口あり。
	230	7	3732 遺構	(C)22.2(調)20.2 (調)4.4	(外) 外部排水口、口縁部排水口、蓋部コナテ、口縁部排水口。 (内) 内部排水口下縁コナテ下縁コナテ、蓋部排水口。	緑・白 黄緑	埋入品、蓋部排水口。 ススガ。
	230	8	3732 遺構	(C)34.8(調)12.2 (調)4.8	(外) 外部排水口、口縁部コナテ、蓋部コナテ。(内) 内部排水口下縁コナテ下縁コナテ、蓋部排水口、口縁部コナテ下縁コナテ、蓋部コナテ。	緑・白 黄緑	
	230	9	3732 遺構	(C)37.8(調)38.0	(外) 外部排水口、口縁部コナテ、(内) 内部排水口下縁コナテ、口縁部コナテ。	緑・白 黄緑	埋入品、ススガ。
	230	10	3732 遺構	(C)38.2(調)38.0	(外) 外部排水口、口縁部コナテ、(内) 内部排水口下縁コナテ、口縁部コナテ。	黄緑	
	230	11	3732 遺構	(C)22.8(調)38.0	(外) 外部排水口、口縁部コナテ(国産文1品)。(内) 内部排水口下縁コナテ、口縁部コナテ。	緑・白 黄緑	ススガ。

第2節 遺物

押印	番号	種別	遺物	数量(㎡)	概要	色別	備考	
	220	14	縄文	3732 北条	(C)18.2(幅)3.0	(外) 漆器ヘラケム、口縁部コナダ(図録文2巻)、(内) 漆器ナダ、口縁部コナダ。	浅黄	
	220	15	縄文	3732 北条	(A)18.0(幅)4.2	(外) 漆器ヘラケム、蓋部ナダ、(内) 漆器下位ナダ、中央ヘラケム。	黒	
	220	16	縄文	3732 東条	(A)13.4(幅)3.2	(外) 漆器ナダ、蓋部ナダ、(内) 漆器ヘラケム、蓋部ナダ。	黒	成層底痕跡あり。
	220	17	縄文	3732 東条	(A)16.4(幅)3.4	(外) 漆器ヘラケム、蓋部コナダ(図録文2巻)、押部上半に比類11巻。	浅黄	
	220	18	弥生	3732 東条	(A)18.8(幅)7.3	(外) 漆器ヘラケム(下)後ヘラケム、両部ナダ、(内) 漆器ヘラケム。	黒	
	220	19	弥生	3732 北条	(C)13.7(幅)1.0	(外) 漆器ヘラケム後ヘラケム、口縁部コナダ、蓋部ヘラケム。	黒	
	220	20	弥生	3732 北条	(C)13.8(幅)4.8	(外) 漆器ヘラケム後ヘラケム、口縁部コナダ。	黒	
	220	1	弥生	3733 西条	(C)18.5(幅)35.5	(外) 漆器ヘラケムナダ、口縁部コナダ(図録文1巻)。(内) 漆器下平ヘラケム、上半ヘラケムナダ、口縁部コナダ。	黄	
	220	2	弥生	3733 西条	(C)11.9(幅)20.4	(外) 漆器ヘラケム、口縁部ヘラケムコナダ(図録文4巻)、蓋部ナダ、比平ナダ。(内) 漆器下平ヘラケム、上半ヘラケムナダ、口縁部ヘラケムナダ、上半コナダ。	黄	
	220	3	弥生	3733 西条	(C)11.6(幅)23.3	(外) 漆器ヘラケムナダ、口縁部ヘラケムコナダ(図録文3巻)、蓋部ナダ、比平ナダ。(内) 漆器下平ヘラケム、上半ヘラケム、口縁部ヘラケムコナダ。	黄	比平あり。
	220	4	弥生	3733 西条	(A)13.4	(外) 漆器ヘラケム、比平ヘラケム、(内) 漆器ヘラケムナダ。	黒	
	220	5	弥生	3733 東条	(C)14.9	(外) 漆器ヘラケム、口縁部コナダ、(内) 漆器ヘラケムヘラケム、口縁部コナダ。	黒	鏡丸あり、新装時灰色。
	220	6	弥生	3733 東条	(C)13.2	(外) 漆器ヘラケム後ヘラケム、口縁部コナダ後ヘラケム、蓋部に図録文3巻。	黄	鏡丸あり。
	220	7	弥生	3733 西条	(C)18.2(幅)4.8	(外) 漆器ヘラケム、口縁部コナダ後ヘラケム、口縁部ヘラケム比平(ヘラケム以前)、蓋部ヘラケム。(内) 漆器ヘラケム、口縁部コナダ後ヘラケム。	黒	
	220	8	弥生	3733 北条	(C)13.4	(外) 漆器ナダヘラケムヘラケム、口縁部コナダ、(内) 漆器下平ヘラケム、上半ヘラケム、口縁部コナダ。	黒	
	220	9	弥生	3733 西条	(A)18.0(幅)15.2	(外) 漆器ヘラケム、蓋部ヘラケム形存在、口縁部コナダ。(内) 漆器下平ヘラケム、上半ヘラケムナダ、口縁部コナダ。	比平	スズあり。
	220	1	弥生	3734 東条	(C)18.5(幅)11.5	(外) 漆器下平ヘラケム後ヘラケム、ヘラケム、上半ヘラケム、口縁部コナダ。(内) 漆器ナダ、口縁部ヘラケムコナダ。	黒	
	220	2	弥生	3735 北条	(C)13.8(幅)7.4	(外) 口縁部ヘラケム後部コナダ(図録文1巻)、蓋部に図録文4巻以上、(内) 口縁部コナダ。	黒	
	220	3	弥生	3735 東条	(C)16.4(幅)7.0	(外) 口縁部ヘラケム後上半コナダ(図録文6巻)、蓋部に図録文6巻以上、(内) 漆器ヘラケム後ナダ、上半コナダ。	浅黄	
	220	4	弥生	3736 東条 北条	(C)17.7(幅)14.3	(外) 漆器ヘラケム後下平ヘラケム、口縁部コナダ、蓋部ナダ、(内) 漆器ナダ、口縁部コナダ。	黒	
	220	5	弥生	3736 東条	(A)13.7	(外) 漆器ヘラケム後下平ナダ、蓋部ナダ、(内) 漆器ヘラケム。	黄	スズあり。
	220	6	弥生	3736 北条	(C)12.8	(外) 漆器ヘラケム後ヘラケム、口縁部コナダ(蓋部文7巻)、ヘラケム、比平ヘラケム、(内) 漆器ヘラケム、口縁部コナダ後ヘラケム、上半ヘラケムヘラケム。	黄	
	220	1	弥生	3738 北条	(C)12.8	(外) 漆器上半ヘラケム、下平ヘラケム、口縁部コナダ(図録文2巻)、(内) 漆器上半ナダ、下平ヘラケム。	浅黄	押部底痕跡あり(図録文2巻)、スズあり。
	220	2	弥生	3738 西条	(C)23.1(幅)3.0	(外) 漆器ヘラケム、口縁部コナダ、(内) 漆器ヘラケム、口縁部コナダ。	浅黄	
	220	3	弥生	3738 西条	(C)16.8(幅)7.7	(外) 漆器ヘラケム、口縁部コナダ後ヘラケム、蓋部ナダ、(内) 漆器ヘラケム、口縁部コナダ後ヘラケム。	浅黄	
	220	4	弥生	3739 西条	(C)19.4(幅)9.5	(外) 漆器ヘラケムヘラケム、口縁部コナダ(図録文4巻)後ヘラケム、(内) 漆器下平ヘラケム後ヘラケム、上半ヘラケム、口縁部コナダ後ヘラケム。	浅黄	
	220	5	弥生	3739 西条	(C)11.4(幅)15.9	(外) 漆器ヘラケム後ヘラケム、口縁部コナダ、蓋部ヘラケム、(内) 漆器ヘラケムナダ、口縁部コナダ。	黒	
	220	6	弥生	3739 西条	(C)13.8	(外) 漆器ヘラケム後ヘラケム、口縁部コナダ後ヘラケム、(内) 漆器ヘラケム後ヘラケム、口縁部コナダ後ヘラケム。	黄	
	220	7	弥生	3740 西条	(A)16.0	(外) 漆器ヘラケム、黄銅上式鍍金後ヘラケム形存在、(内) 漆器ヘラケムナダ。	灰白	スズあり、新装時黄色、黒色。
	220	8	弥生	3743 西条	(C)11.7(幅)21.1	(外) 漆器ヘラケム後下平ナダ、口縁部コナダ後部コナダ、蓋部ナダ、蓋部に図録文3巻、(内) 漆器ヘラケムナダ、口縁部ヘラケムナダ、蓋部コナダ。	灰白	口縁部打欠あり。
	220	9	弥生	3744 東条	(C)11.9	(外) 漆器ヘラケム、黄銅鍍金5巻以上、(内) 漆器ヘラケム、蓋部ナダ(シラガ蓋)。	比平	
	220	10	弥生	3745 北条	(A)11.3	(外) 漆器ヘラケム後ヘラケム、蓋部ナダ、(内) 漆器ナダ。	灰白	
	220	11	弥生	3745 西条	(C)14.9(幅)3.0	(外) 漆器ヘラケム、口縁部コナダ後ヘラケム、つまみヘラケム、つまみ内ヘラケム存在、(内) 漆器ヘラケム、口縁部コナダ後ヘラケム。	黄	
	220	12	弥生	3745 西条	(C)11.8(幅)21.3	(外) 漆器ヘラケム、口縁部ヘラケムコナダ、蓋部ヘラケム、蓋部コナダ。(内) 漆器ヘラケム、口縁部コナダ、蓋部ナダ。	黒	鏡丸あり。
	220	13	弥生	3745 西条	(C)18.9(幅)18.2	(外) 漆器ナダヘラケムヘラケム、口縁部ヘラケムコナダ、蓋部に黄銅、(内) 漆器ヘラケム、口縁部ヘラケムコナダ。	比平	スズあり。
	220	1	弥生	3746 西条	(A)18.0(幅)4.4	(外) 漆器ヘラケム、蓋部ナダ、(内) 漆器ナダ。	黒	
	220	2	弥生	3747 東条	(C)11.6	(外) 漆器ヘラケム、口縁部コナダ後ヘラケム、蓋部ヘラケム、(内) 漆器ヘラケム後ヘラケム、口縁部コナダ後ヘラケム。	黒	
	220	3	弥生	3730 北条	(C)18.4(幅)14.6	(外) 漆器ヘラケム後下平ヘラケム、上半ナダ、口縁部コナダ後ヘラケム、口縁部コナダ後部コナダ、蓋部ナダ、蓋部に図録文、黄銅鍍金5巻以上、ヘラケム存在、(内) 漆器ヘラケムナダ、口縁部コナダ、黄銅鍍金、比平文。	黒	口縁部内外黄、蓋部下平黄、黒色あり。
	220	4	弥生	3747 北条	(C)13.8(幅)23.0	(外) 漆器ヘラケム、口縁部コナダ、蓋部ナダ、口縁部完成一部、(内) 漆器ヘラケム、口縁部コナダ。	灰白	
	220	5	弥生	3747 西条	(C)25.9	(外) 漆器ヘラケム後ヘラケム、蓋部ナダ、(内) 漆器ヘラケム。	黒	蓋部に十字状ヘラケム。

第4章 遺構と遺物

探跡番号	探跡名	遺構	位置 (m)	調査	状態	備考
232	6 遺	2740 南境 2742 西境	(1)14.9 (東)11.0	(外) 塚部ヘムメ、口縁部コナテ、(内) 塚部下平ヘムメ、上平ナテ、口縁部コナテ、	片断 焼	
232	7 遺	2742 西境	(1)14.9(東)1.6 (東)3.8	(外) 塚部ヘムメ、口縁部コナテ、蓋部ナテ、(内) 塚部ヘムメ後ナテ、口縁部コナテ、	片断 焼	
233	1 土	2754 南境	(1)17.8(東)17.8 (東)4.7	(外) 塚部ヘムメ後上平ナテ、口縁部コナテ(原境文)、蓋部ヘムメ後コナテ、口縁一部に於て磨石付 底文、蓋部文 (内) 塚部ヘムメ、口縁部コナテ、蓋部ヘムメ後コナテ、	片断 焼	塚部下平身取あり、
233	2 土	2754 南境	(1)17.8(東)12.8 (東)3.0	(外) 塚部ヘムメ後上平ナテ、口縁部コナテ後上平コナテ(原境文)、蓋部ヘムメ、 (内) 塚部ヘムメ後ナテ、口縁部ヘムメ後コナテ、	片断 焼	磨石付、片断スノ内境ノ コナテ、
233	3 遺	2754 南境	(1)16.4(東)10.8 (東)4.2	(外) 塚部ヘムメ後蓋部付ナテ、口縁部ヘムメ後コナテ、蓋部ナテ、 (内) 塚部ヘムメ後ナテ、口縁部ヘムメ後コナテ、	焼	
233	4 遺	2754 北境	(1)16.0(東)10.2 (東)4.0	(外) 塚部ヘムメ後下平ヘムメナテ、ナテ、口縁部ヘムメ後コナテ、蓋部ナテ、 (内) 塚部ナテ、口縁部ヘムメ後コナテ、	片断 焼	
233	5 遺	2756 北境	(1)17.2(東)15.5 (東)4.8	(外) 塚部ヘムメ、口縁部コナテ、蓋部ナテ、(内) 塚部ナテ、口縁部コナテ、	片断 焼	
233	6 遺	2756 西境	(1)15.5(東)11.4 (東)4.8	(外) 塚部ヘムメ、口縁部不明、蓋部ナテ、口縁部に於て磨石の残存(数量不明)、 (内) 塚部ヘムメ、口縁部コナテ、	片断 焼	
233	7 遺	2760 北境	(1)15.8 (東)11.2	(外) 塚部ヘムメ、口縁部コナテ、蓋部ナテ、磨石に磨痕遺存、(内) 塚部ヘムメ、口縁部ヘムメ後コナテ、	片断 焼	
233	8 遺	2761 北境	(1)15.1 (東)11.0	(外) 塚部ヘムメ、口縁部コナテ、(内) 塚部ヘムメ後ナテ、口縁部コナテ、	片断 焼	片断スノあり、
234	1 遺	2762 東境	(1)16.4(東)17.3 (東)3.8	(外) 塚部下平ヘムメナテ後ヘムメ、上平ヘムメ、口縁部ヘムメ後コナテ、磨石にヘムメ直前ナテ、 (内) 塚部ヘムメ、口縁部コナテ、	片断 焼	
234	2 遺	2762 東境	(1)15.0(東)13.8 (東)4.4	(外) 塚部ヘムメ後下平ヘムメナテ上平ナテに磨痕遺存、口縁部ヘムメ後上平コナテ、且、 (内) 塚部ヘムメ、口縁部コナテ、	片断 焼	
234	3 遺	2762 東境	(1)15.0(東)12.8 (東)4.3	(外) 塚部ヘムメ、口縁部ヘムメ後上平コナテ、蓋部ナテ、(内) 塚部ヘムメ、口縁部コナテ、	片断 焼	
234	4 遺	2762 東境	(1)16.0(東)11.7 (東)5.0	(外) 塚部ヘムメ、口縁部ヘムメ後上平コナテ、蓋部コナテ、口縁部コナテ、 (内) 塚部ヘムメ、口縁部ヘムメ後コナテ、蓋部ナテ、	片断 焼	
234	5 遺	2762 北境	(1)16.0 (東)12.0(東)15.0	(外) 塚部下平ヘムメナテ後ヘムメナテ、上平ヘムメ、口縁部ヘムメ後磨石付コナテ(原境文)、 (内) 塚部ヘムメ後ナテ、口縁部コナテ、	片断 焼	
234	6 遺	2762 東境	(1)15.2(東)11.6 (東)4.1	(外) 塚部ヘムメ後ヘムメ、口縁部コナテ、磨石に磨痕付、蓋部ヘムメ後ナテ、 (内) 塚部下平ヘムメナテ、上平ナテ、口縁部ヘムメ、	片断 焼	スノあり、
234	7 高野	2762 東境	(1)26.4 (東)17.0	(外) 塚部ヘムメ、口縁部ヘムメ後コナテ、(内) 塚部ヘムメ、口縁部ヘムメ後コナテ、	片断 焼	
234	8 高野	2762 東境	(1)11.0 (東)12.8	(外) 塚部ヘムメ後ナテ、焼痕ヘムメ、(内) 塚部ヘムメ後ナテ、	片断 焼	
234	9 遺	2762 北境	(1)17.7(東)23.8 (東)6.8	(外) 塚部ヘムメ、口縁部ヘムメ後上平コナテ、蓋部ナテ、(内) 塚部ヘムメ、口縁部ヘムメ後上平コナテ、	焼	ヘムメ身あり、
234	10 遺	2762 西境	(1)19.0 (東)3.3	(外) 塚部ヘムメ後ヘムメナテ、蓋部ナテ、(内) 塚部ヘムメ後ナテ、	片断 焼	
234	11 遺	2762 西境	(1)14.9 (東)128.7	(外) 塚部ヘムメ後ナテ、ヘムメナテ、口縁部ヘムメ後上平コナテ、 (内) 塚部ヘムメ後ナテ、口縁部ヘムメ後上平コナテ、	片断 焼	スノあり、
234	12 高野	2762 南東角	(東)17.4)	(外) 塚部ヘムメ後ナテ、(内) 塚部ヘムメ後ナテ、	片断 焼	
234	13 舞台	2762 西境	(東)11.8) (東)14.2	(外) 塚部ヘムメ後ヘムメナテ、磨石にヘムメ後ヘムメナテ、磨石コナテ、 (内) 塚部ヘムメ後ナテ、磨石上平ヘムメナテ、下平コナテ、	片断 焼	
235	1 遺	3227	(1)16.4(東)13.3 (東)4.6	(外) 塚部ヘムメ、蓋下ナテ、口縁部コナテ、蓋部ナテ、(内) 塚部ヘムメ後上平ナテ、口縁部コナテ、	片断 焼	スノあり、
235	2 遺	3227	(東)16.0	(外) 塚部ヘムメ後ヘムメナテ、ヘムメ後遺文焼痕以上、(内) 塚部ナテ、	片断 焼	
235	3 遺	3227	(東)14.0	(外) 塚部ヘムメ後ヘムメナテ、磨石に於、ヘムメ後遺文焼痕、(内) 塚部ナテ、	片断 焼	
235	4 遺	3227	(1)14.9(東)15.0	(外) 塚部ヘムメ、口縁部ヘムメ後コナテ、磨石に磨痕、磨石にヘムメ後遺文焼痕、 (内) 塚部ナテ、口縁部コナテ、	片断 焼	スノあり、
235	5 遺	3227	(1)15.0(東)17.5	(外) 塚部ヘムメ、蓋部ナテ、(内) 塚部ナテ、	焼	
235	6 遺	3227	(東)10.7)	(外) 口縁部コナテ、磨石に磨痕、磨石にヘムメ後遺文焼痕、(内) 口縁部コナテ、	片断 焼	
235	7 高野	3227	(1)20.4 (東)118.1)	(外) 塚部ナテ、口縁部コナテ、(内) 塚部ナテ、口縁部コナテ、	片断 焼	スノあり、磨石あり、
235	8 遺	3229	(東)10.0)	(外) 塚部ヘムメ、口縁部ヘムメ後ナテ、磨石に磨痕遺文焼痕、(内) 塚部ナテ、口縁部コナテ、	片断 焼	
235	9 遺	3229	(東)12.4)	(外) 塚部ヘムメ後ヘムメナテ、磨石に磨痕、磨石にヘムメ後遺文焼痕、(内) 塚部ナテ、ヘムメナテ、	片断 焼	
235	10 遺	3229	(1)26.5(東)14.2)	(外) 塚部ヘムメ、口縁部コナテ、(内) 塚部ヘムメ後ナテ、口縁部コナテ、	焼	
235	11 遺	3229	(1)17.1(東)11.0)	(外) 口縁部コナテ(原境文)、磨石に磨痕遺文、(内) 口縁部コナテ、半磨石磨石ナテ、	片断 焼	
235	12 遺	3229	(東)13.0(東)14.2)	(外) 塚部ヘムメ、蓋部ナテ、(内) 塚部ナテ、	片断 焼	
236	1 遺	3241	(1)26.1 (東)12.1)	(外) 口縁部ヘムメ後磨石付コナテ、磨石に磨痕遺文、(内) 口縁部ヘムメ後磨石付コナテ、	片断 焼	
236	2 遺	3241 北境	(1)26.1(東)17.0)	(外) 口縁部ヘムメ後コナテ、(内) 口縁部ヘムメ後コナテ、	片断 焼	塚部下平身取あり、
236	4 遺	3241 北境	(東)18.4(東)12.8	(外) 塚部ヘムメ、蓋部ナテ、(内) 塚部ヘムメ後ナテ、蓋部ヘムメ後ナテ、	片断 焼	
236	4 遺	3241 北境	(東)18.0(東)14.0	(外) 塚部ヘムメ後ナテ、蓋部ヘムメ、(内) 塚部ヘムメ後ヘムメナテ、	片断 焼	
236	5 遺	3241 南境	(1)16.8(東)11.7)	(外) 口縁部コナテ(原境文焼痕)、(内) 口縁部コナテ、	片断 焼	

第2節 遺物

押印	番号	種別	遺物	数量(㎡)	概要	色別	備考		
	200	6	障	障1	障障	(□)38.1(障)2.0	(内)口縁部コナダ。(内)口縁部コナダ。	にぶ 白	10049
	206	7	障	障1	障障	(障)6.0	(内)体部ヘラヘラ、口縁部コナダ、裏面コナダ(裏面列状瓦文。(内)体部下平ヘラヘラ、上平ナダ。	灰白	
	206	8	瓦	障6		(□)22.8(瓦)0.0	(内)口縁部コナダ後ヘラヘラ。(内)口縁部コナダ。	灰黄 黄	10052
	230	9	瓦	障6		(障)26.0	(内)裏面ヘラヘラ、口縁部コナダ。(内)口縁部コナダ。	灰黄 黄	10052
	206	10	瓦	障6		(□)36.8(瓦)0.1	(内)体部ヘラヘラ、口縁部コナダ(裏面列状瓦文)。(内)体部ヘラヘラ、口縁部コナダ。	灰黄	10053、10049
	206	11	瓦	障6		(□)38.8(瓦)0.5	(内)体部ヘラヘラ、口縁部コナダ(裏面列状瓦文)。(内)体部ヘラヘラ、口縁部コナダ。	黄	10049
	206	12	瓦	障6		(□)22.8(瓦)0.0	(内)口縁部コナダ後ヘラヘラ。(内)口縁部コナダ後ヘラヘラ。	灰黄 黄	10043
	206	13	瓦	障6		(□)16.4(瓦)20.6 (障)3.8	(内)体部ヘラヘラ、口縁部コナダ後ヘラヘラ、裏面ヘラヘラ、 (内)体部ヘラヘラ、口縁部コナダ後ヘラヘラ。	にぶ 白	10043
	206	14	瓦	障6		(□)36.4(瓦)0.3	(内)体部コナダ、口縁部コナダ(裏面列状瓦文)。(内)体部コナダ、口縁部コナダ。	にぶ 白	10043、障乳白。
	206	15	瓦	障6		(□)36.4(瓦)3.8 (障)4.4	(内)体部コナダ、口縁部コナダ、裏面コナダ。(内)体部コナダ、口縁部コナダ。	灰黄 黄	10043
	206	16	瓦	障6		(□)36.4(瓦)5.4 (障)3.8	(内)体部コナダ、口縁部コナダ、裏面コナダ。(内)体部コナダ、口縁部コナダ。	灰黄 黄	10028
	206	17	瓦	障6		(□)36.4(瓦)4.9 (障)3.7	(内)体部コナダ、口縁部コナダ、裏面コナダ。(内)体部コナダ、裏面コナダ。	灰黄	10043
	206	18	瓦	障6		(□)26.2(瓦)10.0 (障)3.8	(内)体部ヘラヘラ、口縁部コナダ、裏面コナダ。 (内)体部ヘラヘラ、口縁部コナダ、裏面コナダ。	灰黄 黄	10041
	206	19	瓦	障6		(障)35.1(瓦)4.8	(内)体部コナダ、裏面コナダ、口縁部コナダ。(内)体部ヘラヘラ、裏面コナダ、口縁部コナダ。	灰黄 黄	10041
	206	20	瓦	障6		(□)22.8 (障)4.8	(内)体部ヘラヘラ、口縁部コナダ(裏面列状瓦文)。(内)体部コナダ、口縁部コナダ。	にぶ 白	10041、10049
	206	21	瓦	障6		(□)36.8(瓦)0.7	(内)体部ヘラヘラ、口縁部コナダ後ヘラヘラ。(内)体部ヘラヘラ、口縁部コナダ後ヘラヘラ。	灰黄 黄	10043
	206	22	瓦	障6		(障)26.7 (障)4.8	(内)体部ヘラヘラ、裏面コナダ、口縁部コナダ。(内)体部ヘラヘラ、裏面コナダ。	灰黄 黄	10041、障乳白。
	206	23	瓦	障6		(□)22.8(瓦)0.0	(内)体部ヘラヘラ、口縁部コナダ後ヘラヘラ。(内)体部ヘラヘラ、口縁部コナダ後ヘラヘラ。	にぶ 白	10043
	206	24	瓦	障7		(□)34.8(瓦)0.4	(内)体部ヘラヘラ、口縁部コナダ後ヘラヘラ。(内)体部ヘラヘラ、口縁部コナダ後ヘラヘラ。	にぶ 白	10023
	206	25	瓦	障7		(□)36.8(瓦)0.0	(内)体部ヘラヘラ、口縁部コナダ(裏面列状瓦文)。(内)体部ヘラヘラ、口縁部コナダ。	にぶ 白	10023
	206	26	瓦	障7		(障)36.0(瓦)4.8	(内)体部ヘラヘラ、裏面コナダ、口縁部コナダ。(内)体部ヘラヘラ、裏面コナダ、口縁部コナダ。	灰白	10023
	207	1	瓦	障8		(障)28.0(障)5.2	(内)体部ヘラヘラ、裏面コナダ。(内)体部ヘラヘラ、口縁部コナダ。	灰黄	10031
	207	2	瓦	障8		(□)14.8(瓦)0.0	(内)体部ヘラヘラ、口縁部コナダ(裏面列状瓦文)。(内)体部ヘラヘラ、口縁部コナダ。	黄	10031
	207	3	瓦	障8		(□)38.2(瓦)0.2	(内)体部ヘラヘラ、口縁部コナダ(裏面列状瓦文)。(内)体部ヘラヘラ、口縁部コナダ。	にぶ 白	10039
	207	4	瓦	障8		(□)38.0(瓦)21.6 (障)3.8	(内)体部ヘラヘラ、口縁部コナダ(裏面列状瓦文)、裏面コナダ。(内)体部ヘラヘラ、口縁部コナダ。	灰黄 黄	10031、10049
	207	5	瓦	障8		(□)22.8(瓦)0.0	(内)体部ヘラヘラ、口縁部コナダ(裏面列状瓦文)。(内)体部コナダ、口縁部コナダ。	黄	10031
	207	6	瓦	障8		(□)22.8(瓦)0.2	(内)体部ヘラヘラ、口縁部コナダ(裏面列状瓦文)。(内)体部ヘラヘラ、口縁部コナダ。	黄	10033
	207	7	瓦	障8		(□)27.8 (障)10.0	(内)体部ヘラヘラ、口縁部コナダ(裏面列状瓦文)。(内)体部ヘラヘラ、口縁部コナダ。	黄	10031、10049
	207	8	瓦	障8		(□)40.2(瓦)3.9 (障)3.5	(内)体部コナダ、口縁部コナダ(裏面列状瓦文)、裏面コナダ。(内)体部コナダ、口縁部コナダ。	にぶ 白	10021、障乳白。
	207	9	瓦	障8		(□)36.8(瓦)5.9 (障)4.8	(内)体部ヘラヘラ、口縁部コナダ、裏面コナダ。(内)体部ヘラヘラ、口縁部コナダ、裏面コナダ。	にぶ 白	10021
	207	10	瓦	障8		(障)35.0(瓦)2.6	(内)体部コナダ、裏面コナダ。(内)体部コナダ、裏面コナダ。	灰黄	10039
	207	11	瓦	障8		(□)22.8(瓦)0.3	(内)体部コナダ、裏面コナダ(裏面列状瓦文)。口縁部コナダ、裏面コナダ。 (内)体部コナダ後ヘラヘラ、上平ナダ、口縁部コナダ、裏面コナダ。	灰白	10039
	207	12	瓦	障8		(障)26.0(障)4.8	(内)体部ヘラヘラ、口縁部コナダ、裏面コナダ。(内)体部ヘラヘラ、口縁部コナダ、裏面コナダ。	にぶ 白	10039
	207	13	瓦	障8		(□)28.8(瓦)2.0	(内)体部ヘラヘラ、口縁部コナダ後ヘラヘラ。(内)体部ヘラヘラ、口縁部コナダ後ヘラヘラ。	灰黄 黄	10039
	207	14	瓦	障8		(□)34.4(瓦)0.0	(内)体部ヘラヘラ、口縁部コナダ後ヘラヘラ、裏面ヘラヘラ。 (内)体部ヘラヘラ、口縁部コナダ後ヘラヘラ。	にぶ 白	10039
	207	15	瓦	障8		(□)22.8(瓦)0.0	(内)体部ヘラヘラ、口縁部コナダ後ヘラヘラ。(内)体部ヘラヘラ、口縁部コナダ後ヘラヘラ。	黄	10039
	207	16	瓦	障8		(障)24.2 (障)3.8	(内)体部ヘラヘラ、裏面コナダ、口縁部コナダ。(内)体部コナダ、口縁部コナダ。	にぶ 白	10039
	207	17	瓦	障8		(□)28.8(瓦)12.0 (障)3.8	(内)体部ヘラヘラ、口縁部コナダ、裏面コナダ、口縁部コナダ後ヘラヘラ。 (内)体部ヘラヘラ、口縁部コナダ後ヘラヘラ。	黄	10039
	207	18	瓦	障8		(障)28.0(障)4.2	(内)体部ヘラヘラ、裏面コナダ、口縁部コナダ。(内)体部ヘラヘラ、裏面コナダ、口縁部コナダ。	灰黄 黄	10021
	207	19	瓦	障8		(□)38.2(瓦)0.0	(内)体部ヘラヘラ、口縁部コナダ(裏面列状瓦文)。(内)口縁部コナダ、ヘラ状瓦、裏面列状瓦。	にぶ 白	10031、10049、障乳白。

第4章 遺構と遺物

押印	番号	種類	遺構	数量(㎡)	調査	色別	備考
	227	20	208	(口)38.0(高)3.0	(外) 赤土層→土層、口縁部コナダ(横切線文4条)、(内) 赤土層→土層、口縁部コナダ後→土層、	灰	10021
	227	21	208	(口)38.6 (高)30.0	(外) 赤土層→土層、口縁部コナダ(横切線文4条)、 (内) 赤土層→土層、口縁部コナダ後→土層、	にじみ層	10023
	227	22	209	(高)32.2	(外) 赤土層→土層、口縁部コナダ、	灰層	10025
	227	23	209	(口)23.4(高)3.0	(外) 赤土層→土層、口縁部コナダ、(内) 赤土層→土層、口縁部コナダ、	灰層	10026
	227	24	209	(口)23.0(高)3.0	(外) 赤土層→土層、口縁部コナダ、(内) 赤土層→土層、口縁部コナダ、	にじみ層	10028
	227	25	209	(高)32.45(高)4.8	(外) 赤土層→土層、口縁部コナダ、(内) 赤土層→土層、口縁部コナダ、	灰層	10029
	227	26	209	(口)23.0(高)3.0	(外) 赤土層→土層、口縁部コナダ、(内) 赤土層→土層、口縁部コナダ、	にじみ層	10030、スズ丸
	227	27	209	(口)27.0(高)3.0	(外) 赤土層→土層、口縁部コナダ(横切線文4条)、(内) 赤土層→土層、口縁部コナダ後→土層、	にじみ層	10030
	228	1	201	(口)29.0(高)6.2 (高)1.8	(外) 赤土層→土層、口縁部コナダ、底層ナダ、(内) 赤土層→土層、口縁部コナダ、	灰層	
	228	2	202	(高)32.22	(外) 赤土層→土層、口縁部コナダ、底層ナダ、	灰	
	228	3	202	(口)22.2(高)15.0	(外) 赤土層→土層、口縁部コナダ、底層ナダ、	灰	
	229	1	201	(高)19.0(高)3.5	(外) 赤土層→土層、底層ナダ、(内) 赤土層→土層、	にじみ層	
	229	2	203	(口)36.0(高)3.0	(外) 赤土層→土層、口縁部コナダ、	灰層	
	229	3	203	(高)32.45(高)4.4	(外) 赤土層→土層、口縁部コナダ後→土層、(内) 赤土層→土層、口縁部コナダ、	灰層	
	229	4	203	(口)36.0(高)3.0	(外) 赤土層→土層、口縁部コナダ(横切線文4条)後→土層、口縁部コナダ、	にじみ層	
	229	5	203	(口)34.4(高)3.0	(外) 赤土層→土層、口縁部コナダ(内) 赤土層→土層、口縁部コナダ、	灰層	スズ丸
	229	6	203	(口)21.2(高)3.0	(外) 赤土層→土層、口縁部コナダ、	にじみ層	
	229	7	203	(高)33.0 (高)3.8	(外) 赤土層→土層、口縁部コナダ、	にじみ層	
	229	8	203	(高)27.0(高)12.0	(外) 赤土層→土層、口縁部コナダ、	にじみ層	
	229	9	203	(高)30.0(高)13.0	(外) 赤土層→土層、口縁部コナダ、	にじみ層	
	229	10	203	(口)36.0(高)3.0	(外) 赤土層→土層、口縁部コナダ、	灰層	
	229	11	204	(口)35.2(高)3.0	(外) 赤土層→土層、口縁部コナダ、(内) 赤土層→土層、口縁部コナダ、	灰層	赤土層、灰層、
	229	12	204	(口)44.8 (高)30.3	(外) 赤土層→土層、口縁部コナダ(横切線文1条)、(内) 赤土層→土層、口縁部コナダ、	灰層	スズコガサ丸
	229	13	204	(口)34.0(高)3.0	(外) 赤土層→土層、口縁部コナダ、	にじみ層	スズ丸
	229	14	204	(口)39.2 (高)38.1	(外) 赤土層→土層→土層、口縁部コナダ、(内) 赤土層→土層→土層、口縁部コナダ、	灰層	スズ丸
	229	15	204	(口)35.0(高)12.0 (高)3.0	(外) 赤土層→土層、口縁部コナダ(横切線文4条)、底層ナダ、(内) 赤土層→土層、口縁部コナダ、	にじみ層	スズ丸
	229	16	204	(口)22.0(高)3.0 (高)3.0	(外) 赤土層→土層、口縁部コナダ(横切線文4条)、底層ナダ、(内) 赤土層→土層、口縁部コナダ、	灰層	スズコガサ丸、底層ナダ丸
	229	17	204	(口)22.0 (高)17.4	(外) 赤土層→土層→土層、口縁部コナダ、(内) 赤土層→土層→土層、口縁部コナダ後→土層、	灰層	スズ丸
	229	18	204	(高)34.0	(外) 赤土層→土層→土層、(内) 赤土層→土層、	にじみ層	スズ丸
	229	19	204	(高)11.0(高)6.8	(外) 赤土層→土層、底層ナダ、(内) 赤土層→土層、	にじみ層	
	229	20	204	(高)18.0(高)4.0	(外) 赤土層→土層、底層ナダ、(内) 赤土層→土層、	にじみ層	
	229	21	204	(高)10.0(高)4.9	(外) 赤土層→土層、底層ナダ、(内) 赤土層→土層、	にじみ層	
	229	22	204	(高)16.0(高)10.0	(外) 赤土層→土層→土層、底層ナダ、(内) 赤土層→土層、	灰層	
	229	23	204	(口)22.4 (高)17.4	(外) 赤土層→土層、口縁部コナダ、口縁部コナダ後→土層、	にじみ層	スズ丸
	229	24	204	(口)22.0(高)3.0	(外) 赤土層→土層→土層、口縁部コナダ、(内) 赤土層→土層→土層、口縁部コナダ、	灰層	スズ丸
	229	25	204	(口)36.4(高)3.0	(外) 赤土層→土層、口縁部コナダ、	にじみ層	スズ丸
	229	26	204	(口)36.3(高)3.0	(外) 赤土層→土層→土層、口縁部コナダ、	にじみ層	
	229	27	204	(口)33.0 (高)17.2	(外) 赤土層→土層、口縁部コナダ(横切線文4条)、底層ナダ、(内) 赤土層→土層→土層、口縁部コナダ、	灰層	スズ丸、底層ナダ丸
	229	28	204	(口)37.4 (高)3.0	(外) 赤土層→土層→土層、口縁部コナダ(横切線文4条)後→土層、	灰層	内径長径2丸
	229	29	204	(口)11.1(高)2.0 (高)3.4	(外) 赤土層→土層、口縁部コナダ(横切線文4条)、底層ナダ、(内) 赤土層→土層→土層、口縁部コナダ後→土層、	灰層	

第2節 遺物

押印番号	種別	遺物	数量(㎡)	調査	色別	備考
240 14 土	SK100	(F)11.8 (調)0.20	(F)0	(F)面 白磁器ヘラ後上型コナテ、白磁器コナテヘラ取付品。(内)面 白磁器ヘラ後上テ、楕円コナテ。	白磁器	
240 15 土	SK104	(F)11.8(調)0.20	(F)0	(F)面 黒磁器ヘラ上テ、楕円コナテ後上テ。楕円コナテは長さ3.5以上。(内)面 鉄板上半テ、下ホヘラケテ。	白磁器	
240 16 土	SK100	(F)10.2 (調)0.7	(F)0	(F)面 赤磁器ヘラ上テ、白磁器ヘラ後上型コナテ、黒磁器コナテ。	白磁器	スズコゲあり。
241 1 土	SK100	(F)10.2 (調)0.7, 2.0	(F)0	(F)面 赤磁器ヘラ上テ、白磁器ヘラ後上型コナテ、黒磁器コナテ。	白磁器	
241 2 土	SK100	(F)10.2 (調)0.4, 0.0	(F)0	(F)面 赤磁器ヘラ上テ、白磁器ヘラ後上型コナテ、黒磁器コナテ。	白磁器	
241 3 土	SK104	(F)10.5(調)0.8 (調)0.3	(F)0	(F)面 赤磁器ヘラ上テ、黒磁器コナテ後上テ。楕円コナテ。楕円コナテは長さ3.5以上。(内)面 赤磁器ヘラ上テ、黒磁器コナテ後上テ。	白磁器	
241 4 土	SK100	(F)10.2(調)0.1 (調)0.2	(F)0	(F)面 赤磁器ヘラ上テ、黒磁器コナテ。楕円コナテ。楕円コナテは長さ3.5以上。(内)面 赤磁器ヘラ上テ、黒磁器コナテ。	白磁器	スズコゲあり。
241 5 土	SK100	(F)10.2 (調)0.2, 0.0	(F)0	(F)面 赤磁器ヘラ上テ、黒磁器コナテ。楕円コナテ。楕円コナテは長さ3.5以上。(内)面 赤磁器ヘラ上テ、黒磁器コナテ。	白磁器	スズコゲあり。白磁器内面黒く、剥製の生肌で覆。
241 6 土	SK100	(調)0.10(調)0.4, 0.0	(F)0	(F)面 赤磁器ヘラ上テ、黒磁器コナテ。	白磁器	遺棄焼成後発見。
241 7 土	SK110	(F)10.2 (調)0.3, 0.0	(F)0	(F)面 赤磁器ヘラ上テ、黒磁器コナテ。(内)面 赤磁器ヘラ上テ、黒磁器コナテ。	白磁器	
241 8 土	SK110	(F)14.0(調)0.9 (調)0.8	(F)0	(F)面 赤磁器ヘラ上テ、黒磁器コナテ(楕円コナテ)。楕円コナテ。(内)面 赤磁器ヘラ上テ、黒磁器コナテ。	白磁器	年代測定資料 (F)0.010、スズコゲあり。
241 9 土	SK110	(F)14.4(調)1.0 (調)0.5	(F)0	(F)面 赤磁器ヘラ上テ、黒磁器コナテ(楕円コナテ)。楕円コナテ。(内)面 赤磁器ヘラ上テ、黒磁器コナテ。	白磁器	スズコゲあり。
241 10 土	SK110	(F)13.5(調)1.1 (調)0.4	(F)0	(F)面 赤磁器ヘラ上テ、黒磁器コナテ。楕円コナテ。楕円コナテは長さ3.5以上。(内)面 赤磁器ヘラ上テ、黒磁器コナテ。	白磁器	
241 11 銅線	SK110	(調)0.5(調)0.4	(F)0	(F)面 赤磁器ヘラ上テ、黒磁器コナテ。楕円コナテ。楕円コナテは長さ3.5以上。(内)面 赤磁器ヘラ上テ、黒磁器コナテ。	銅線	内見5方向。
242 1 土	SK112	(F)10.6(調)0.3 (調)0.2	(F)0	(F)面 赤磁器ヘラ上テ、黒磁器コナテ。楕円コナテ。楕円コナテは長さ3.5以上。(内)面 赤磁器ヘラ上テ、黒磁器コナテ。	白磁器	年代測定資料 (F)0.010、スズコゲあり。
242 2 土	SK112	(F)10.3(調)0.1 (調)0.2	(F)0	(F)面 赤磁器ヘラ上テ、黒磁器コナテ。楕円コナテ。楕円コナテは長さ3.5以上。(内)面 赤磁器ヘラ上テ、黒磁器コナテ。	白磁器	スズコゲあり。
243 1 土	SK113	(F)10.7 (調)0.4, 0.0	(F)0	(F)面 白磁器コナテ。(内)面 赤磁器コナテ。	白磁器	
243 2 土	SK113	(調)0.4 (調)0.4	(F)0	(F)面 赤磁器ヘラ上テ、黒磁器コナテ。(内)面 赤磁器ヘラ上テ、黒磁器コナテ。	白磁器	
243 3 土	SK113	(調)0.2, 0.0	(F)0	(F)面 赤磁器ヘラ上テ、黒磁器コナテ。楕円コナテ。(内)面 赤磁器ヘラ上テ、黒磁器コナテ。	白磁器	白磁器内面黒色付。剥製の生肌で覆。
244 1 土	SK116	(調)0.6, 0.0 (調)0.3	(F)0	(F)面 赤磁器ヘラ上テ、黒磁器コナテ。(内)面 赤磁器ヘラ上テ、黒磁器コナテ。	白磁器	白磁器内見6方向。
244 2 土	SK116	(F)10.1 (調)0.0(調)0.7, 0.0	(F)0	(F)面 赤磁器ヘラ上テ、黒磁器コナテ。楕円コナテ。楕円コナテは長さ3.5以上。(内)面 赤磁器ヘラ上テ、黒磁器コナテ。	白磁器	
245 1 土	SK118	(F)10.6(調)0.9 (調)0.7	(F)0	(F)面 赤磁器ヘラ上テ、黒磁器コナテ。楕円コナテ。楕円コナテは長さ3.5以上。(内)面 赤磁器ヘラ上テ、黒磁器コナテ。	白磁器	
245 2 土	SK121	(F)10.5 (調)0.0	(F)0	(F)面 赤磁器ヘラ上テ、黒磁器コナテ。楕円コナテ。(内)面 赤磁器ヘラ上テ、黒磁器コナテ。	白磁器	
245 3 銅線	SK123	(調)0.6, 0.0(調)0.8	(F)0	(F)面 赤磁器コナテ。楕円コナテ。楕円コナテは長さ3.5以上。(内)面 赤磁器ヘラ上テ、黒磁器コナテ。	白磁器	内見4方向。
245 4 土	SK129	(F)11.3(調)0.1 (調)0.8	(F)0	(F)面 赤磁器ヘラ上テ、黒磁器コナテ。楕円コナテ。楕円コナテは長さ3.5以上。(内)面 赤磁器ヘラ上テ、黒磁器コナテ。	白磁器	
245 5 土	SK140	(F)17.6(調)0.0	(F)0	(F)面 白磁器コナテ後上テ。楕円コナテ。楕円コナテは長さ3.5以上。(内)面 白磁器コナテ後上テ。	白磁器	
245 6 土	SK140	(F)17.6(調)0.4	(F)0	(F)面 白磁器コナテ後上テ。楕円コナテ。楕円コナテは長さ3.5以上。(内)面 白磁器コナテ後上テ。	白磁器	
245 7 土	SK140	(F)14.0(調)0.1	(F)0	(F)面 赤磁器ヘラ上テ、黒磁器コナテ。(内)面 赤磁器コナテ、黒磁器コナテ。	白磁器	
245 8 土	SK140	(調)0.0	(F)0	(F)面 赤磁器ヘラ上テ、黒磁器コナテ。(内)面 赤磁器コナテ(後上テ)。	白磁器	
245 9 土	SK140	(調)0.1	(F)0	(F)面 赤磁器ヘラ上テ、黒磁器コナテ。楕円コナテ。楕円コナテは長さ3.5以上。(内)面 赤磁器コナテ、黒磁器コナテ。	白磁器	
245 10 土	SK140	(調)0.10(調)0.7	(F)0	(F)面 赤磁器コナテ。楕円コナテ。(内)面 赤磁器コナテ。	白磁器	
245 11 土	SK140	(調)0.10(調)0.0	(F)0	(F)面 赤磁器コナテ。楕円コナテ。(内)面 赤磁器コナテ。	白磁器	
245 12 銅線	SK140	(F)10.8 (調)0.2	(F)0	(F)面 赤磁器コナテ、黒磁器コナテ後上テ。楕円コナテ。(内)面 赤磁器コナテ。	白磁器	輸入品。スズコゲあり。
245 13 銅片	SK144	(F)17.2(調)0.0	(F)0	(F)面 赤磁器ヘラ上テ、黒磁器コナテ(楕円コナテ)。(内)面 赤磁器ヘラ上テ、黒磁器コナテ。	銅線	
245 14 土	SK156	(F)10.8 (調)0.3, 0.0	(F)0	(F)面 赤磁器ヘラ上テ、黒磁器コナテ。楕円コナテ。楕円コナテは長さ3.5以上。(内)面 赤磁器ヘラ上テ、黒磁器コナテ。	白磁器	
245 15 土	SK156	(F)14.0(調)0.0	(F)0	(F)面 赤磁器ヘラ上テ、黒磁器コナテ(楕円コナテ)。(内)面 赤磁器ヘラ上テ、黒磁器コナテ。	白磁器	
245 16 土	SK156	(F)14.4(調)0.2	(F)0	(F)面 赤磁器ヘラ上テ、黒磁器コナテ。(内)面 赤磁器ヘラ上テ、黒磁器コナテ。	白磁器	年代測定資料 (F)0.010、スズコゲあり。
245 17 土	SK159	(F)10.6(調)0.0	(F)0	(F)面 赤磁器ヘラ上テ、黒磁器コナテ。楕円コナテ。楕円コナテは長さ3.5以上。(内)面 赤磁器ヘラ上テ、黒磁器コナテ。	白磁器	輸入品。スズコゲあり。
245 18 土	SK164	(F)13.8(調)0.0	(F)0	(F)面 赤磁器ヘラ上テ、黒磁器コナテ(楕円コナテ)。(内)面 赤磁器ヘラ上テ、黒磁器コナテ。	白磁器	スズコゲあり。
245 19 土	SK170	(F)13.1(調)0.4 (調)0.3	(F)0	(F)面 赤磁器ヘラ上テ、黒磁器コナテ。楕円コナテ。楕円コナテは長さ3.5以上。(内)面 赤磁器ヘラ上テ、黒磁器コナテ。	白磁器	

第4章 遺構と遺物

探跡番号	遺構	遺物	数量(個)	調査	時期	備考	
245	2	瓦	SK195	{(1)14.6 (調)13.5}	(外) 瓦部ヘラミ、口縁部コナダ、(内) 瓦部ヘラミナギ、口縁部コナダ。	古墳期	スズコギあり。
245	21	瓦	SK197	{(1)16.8(調)16.2 (調)6.6}	(外) 瓦部ヘラミナギ、口縁部コナダ後ヘラミナギ、蓋部ナダ。(内) 瓦部ヘラミ、口縁部コナダ後ヘラミナギ。	古墳期	スズコギあり。
245	22	瓦	SK200	{(1)14.2 (調)16.7}	(外) 瓦部ヘラミ、口縁部コナダ。(内) 瓦部ヘラミ、口縁部コナダ。	古墳期	スズコギあり。
246	1	瓦	SK201	{(1)12.1(調)14.6 (調)12.3}	(外) 瓦部ヘラミ後ヘラミナギ、口縁部コナダ後ヘラミナギ、蓋部ヘラミ後ヘラミナギ。 (内) 瓦部ヘラミナギ、口縁部コナダ後ヘラミナギ、蓋部ナダ。	古墳期	スズコギあり。
246	2	瓦	SK214	{(1)13.8 (調)13.2}	(外) 瓦部ヘラミ、蓋部直線式3等以上、蓋部ナダ。(内) 瓦部ヘラミ後、下段ノ上段ナダ。	古墳期	
246	3	瓦	SK225	{(調)13.0 (調)8.4}	(外) 瓦部ヘラミ、蓋部直線式6等以上、蓋部ナダ。(内) 瓦部ヘラミ後、下段ノ上段ナダ。	古墳期	
246	4	瓦	SK226	{(1)14.8(調)12.7 (調)8.9}	(外) 瓦部ヘラミ、口縁部ヘラミ後傾斜コナダ、(内) 瓦部ヘラミ、口縁部ヘラミ後傾斜コナダ。	古墳期	スズコギあり。
247	1	土器群	SK205	{(1)13.3(調)13.3(調)13.3}	(外) 瓦部・口縁部傾斜コナダ、蓋部傾斜コナダ。(内) 瓦部・口縁部傾斜コナダ。	古墳期	蓋部に直線式の傾斜あり。
247	2	土器群	SK192	{(1)17.2(調)16.0}	(外) 瓦部ヘラミ後ナダ、口縁部コナダ。(内) 瓦部ヘラミナギ、口縁部コナダ。	古墳期	スズコギあり。
247	3	土器群	SK197	{(調)14.3}	(外) 口縁部コナダ。(内) 口縁部コナダ。	古墳期	把手の傾斜あり。
247	4	土器群	SK197	{(調)18.1}	(外) 瓦部平字ナダ。(内) 瓦部傾斜コナダ、口縁部傾斜コナダ。	古墳期	
247	5	土器群	SK197	{(1)13.8(調)11.1}	(外) 瓦部傾斜コナダ、又平字傾斜コナダ。(内) 瓦部傾斜コナダ、口縁部傾斜コナダ。	古墳期	
247	6	土器群	SK197	{(1)11.4(調)6.0}	(外) 瓦部傾斜コナダ、蓋部傾斜コナダ。(内) 瓦部傾斜コナダ、口縁部傾斜コナダ。	古墳期	傾斜赤色。
247	7	土器群	SK197	{(1)12.8(調)14.0}	(外) 瓦部ナダ、口縁部コナダ。(内) 瓦部ナダ、口縁部コナダ。	古墳期	
247	8	土器群	SK175	{(調)16.1}	(外) 瓦部ナダ。(内) 瓦部ナダ。	古墳期	
247	9	土器群	SK175	{(1)16.4(調)16.0}	(外) 瓦部ヘラミ、口縁部コナダ。(内) 瓦部ナダ、口縁部コナダ。	古墳期	
247	10	土器群	SK175	{(1)12.2(調)4.1}	(外) 瓦部傾斜コナダ、又平字傾斜コナダ。(内) 瓦部傾斜コナダ、口縁部傾斜コナダ。	古墳期	
247	11	土器群	SK175	{(1)12.8(調)14.0}	(外) 瓦部傾斜コナダ、蓋部傾斜コナダ。(内) 瓦部傾斜コナダ、口縁部傾斜コナダ。	古墳期	
247	12	土器群	SK111	{(調)16.8}	(外) 瓦部ナダ。(内) 瓦部ナダヘラミ。	古墳期	
248	1	瓦	SP27	{(1)20.6(調)16.0}	(外) 瓦部ヘラミナギ、口縁部コナダ(蓋部直線式)。(内) 瓦部ヘラミナギ、口縁部コナダ後ヘラミナギ。	古墳期	
248	2	瓦	SP48	{(1)13.8(調)13.0}	(外) 瓦部ヘラミナギ、口縁部コナダ。(内) 瓦部ナダ、口縁部コナダ。	古墳期	スズコギあり。
248	3	瓦	SP133	{(調)13.7(調)10.2}	(外) 瓦部ヘラミナギ、蓋部ヘラミナギ、蓋部コナダ(蓋部直線式)。(内) 瓦部ヘラミ、蓋部ナダ。	古墳期	スズコギあり。
248	4	瓦	SP26	{(調)14.0}	(外) 瓦部ヘラミ後ナダ。(内) 瓦部ヘラミ。	古墳期	ヘラミ直線あり。
248	5	瓦	SP206	{(1)16.8(調)14.0}	(外) 瓦部ヘラミナギ、蓋部コナダ後ヘラミナギ。(内) 瓦部ヘラミ、蓋部コナダ。	古墳期	スズコギあり。
248	6	瓦	SP206	{(1)16.8(調)14.7}	(外) 瓦部ヘラミナギ、口縁部コナダ後ヘラミナギ、蓋部直線式。 (内) 瓦部ヘラミナギ、口縁部コナダ後ヘラミナギ。	古墳期	スズコギあり。
248	7	瓦	SP241	{(1)12.8(調)14.3}	(外) 口縁部コナダ後ヘラミナギ、直線式4等、直線式。(内) 口縁部コナダ後ヘラミナギ。	古墳期	
248	8	瓦	SP258	{(調)13.0}	(外) 口縁部コナダ後ヘラミナギ、蓋部直線式。(内) 口縁部コナダ後ヘラミナギ。	古墳期	
248	9	瓦	SP420	{(調)16.0}	(外) 瓦部ヘラミナギ、蓋部ヘラミナギ、直線式。(内) 瓦部ヘラミナギ、蓋部ナダ。	古墳期	
248	10	瓦	SP426	{(調)15.0(調)14.8}	(外) 瓦部ヘラミナギ、蓋部ナダ。(内) 瓦部ヘラミナギ。	古墳期	蓋部にヘラミ直線あり。
248	11	瓦	SP414	{(1)17.4(調)16.0}	(外) 瓦部ヘラミ、口縁部コナダ。(内) 瓦部ナダ、口縁部コナダ。	古墳期	スズコギあり。
248	12	瓦	SP225	{(1)17.8(調)17.8 (調)12.8}	(外) 瓦部ヘラミナギ、口縁部コナダ、蓋部ナダ。(内) 瓦部ナダ、上ヘラミナギ、口縁部ナダ。	古墳期	
248	13	瓦	SP206	{(調)16.0(調)12.7}	(外) 瓦部ヘラミナギ、蓋部直線式、蓋部コナダ。(内) 瓦部上ナダ、下ヘラミナギ。	古墳期	内口直線あり。
248	14	瓦	SP427	{(1)16.8(調)17.0}	(外) 瓦部ヘラミ、口縁部コナダ。(内) 瓦部ヘラミ、口縁部コナダ。	古墳期	スズコギあり。
248	15	瓦	SP203	{(1)14.4(調)14.0}	(外) 瓦部ヘラミ後ヘラミナギ、口縁部コナダ後ヘラミナギ。 (内) 瓦部ヘラミナギ、口縁部コナダ後ヘラミナギ。	古墳期	スズコギあり。
248	16	瓦	SP229	{(調)13.0(調)14.8}	(外) 瓦部ナダ、蓋部ナダ。(内) 瓦部ナダ、蓋部ナダ。	古墳期	スズコギあり。
248	17	瓦	SD466	{(1)16.8 (調)16.1}	(外) 瓦部ヘラミ、口縁部コナダ(蓋部直線式)。(内) 瓦部ナダ後ヘラミナギ、口縁部ヘラミ後コナダ。	古墳期	スズコギあり。
248	18	瓦	SP209	{(1)16.8(調)12.3 (調)11.2}	(外) 瓦部ヘラミナギ、口縁部ヘラミナギ、上段コナダ(蓋部直線式)。 (内) 瓦部ヘラミナギ、口縁部コナダ後ヘラミナギ。	古墳期	把手あり。
248	19	瓦	SP461	{(1)12.1(調)12.0}	(外) 口縁部コナダ後ヘラミナギ。(内) 口縁部コナダ後ヘラミナギ。	古墳期	
248	20	瓦	SP266	{(1)17.8(調)16.0}	(外) 瓦部ヘラミナギ、口縁部ナダ上段コナダ。(内) 瓦部ヘラミナギ、口縁部ヘラミナギ上段コナダ。	古墳期	スズコギあり。
248	21	瓦	SP267	{(1)16.2 (調)16.0}	(外) 口縁部ヘラミ後ヘラミナギ、傾斜コナダ。(内) 口縁部ヘラミナギ。	古墳期	
248	22	瓦	SP267	{(1)16.8 (調)16.0}	(外) 瓦部ヘラミ後ヘラミナギ、口縁部コナダ(蓋部直線式)。 (内) 瓦部ヘラミナギ後ヘラミナギ、口縁部コナダ。	古墳期	
248	23	瓦	SP215	{(1)17.8(調)17.0}	(外) 瓦部ヘラミ後ヘラミナギ、口縁部コナダ(蓋部直線式)。 (内) 瓦部ヘラミナギ、口縁部コナダ後ヘラミナギ。	古墳期	
248	24	瓦	SP229	{(1)11.8(調)11.0}	(外) 瓦部ヘラミナギナダ、口縁部コナダ。(内) 瓦部ヘラミナギナダ、口縁部コナダ。	古墳期	
248	25	瓦	SP276	{(1)12.2 (調)12.4}	(外) 瓦部ヘラミナギ、口縁部コナダ(蓋部直線式)。(内) 瓦部ヘラミナギ、口縁部コナダ。	古墳期	スズコギあり。

第2節 遺物

種別	番号	種名	遺物	数量(㎡)	調査	色別	備考
240	21	SF001	(1)36.2(高)4.0 (幅)3.8	(外) 扉部へつらぎケツリ、口縁部コナダ、蓋部ナダ、(内) 扉部へつらぎ、口縁部コナダ。	江戸 中期		
240	22	SF001	(1)36.6(高)5.0	(外) 口縁部コナダ(横切線文込)、(内) 扉部へつらぎ、口縁部コナダ。	江戸 中期	大丸丸。	
240	34	SF001	(1)37.8(高)6.0	(外) 扉部へつらぎ、口縁部コナダ(横切線文込)、(内) 扉部へつらぎ、口縁部コナダ。	江戸 中期	大丸丸。	
240	1	SF036	(1)17.8(高)3.5	(外) 扉部ナダ口縁部コナダ(横切線文込)、(内) 扉部ナダ、口縁部コナダ。	江戸 中期	大丸丸。	
240	2	SF000	(1)38.9(高)4.8	(外) 扉部閉鎖部コナダ、蓋部部へつらぎ、(内) 扉部閉鎖部コナダ、口縁部閉鎖部コナダ。	江戸 中期		
240	3	SF001	(1)38.8(高)5.0	(外) 口縁部コナダ後へつらぎ、(内) 口縁部コナダ後へつらぎ。	江戸 中期		
240	4	SF005	(1)35.6(高)6.0	(外) 扉部ナダ、口縁部コナダ(横切線文込)、(内) 扉部へつらぎ、口縁部コナダ。	江戸 中期		
240	5	SF003	(高)6.0(口)4.8	(外) 扉部ナダ、口縁部ナダ、(内) 扉部ナダ、口縁部ナダ。	江戸 中期		
240	6	SF009	(1)38.8(高)3.7	(外) 扉部へつらぎ、口縁部コナダ(横切線文込)、(内) 扉部へつらぎ、口縁部コナダ。	江戸 中期		
240	7	SF004	(1)38.1(高)6.4 (幅)4.4	(外) 扉部へつらぎ、口縁部コナダ、蓋部ナダ、(内) 扉部へつらぎ、口縁部コナダ、蓋部ナダ。	江戸 中期		
240	8	SF108	(高)14.0	(外) 扉部へつらぎ、口縁部コナダ、蓋部ナダ、(内) 扉部へつらぎ、口縁部コナダ、蓋部ナダ。	江戸 中期		
240	9	SF109	(1)22.4(高)10.0	(外) 扉部へつらぎ、口縁部コナダ(横切線文込)、(内) 扉部へつらぎ、口縁部コナダ。	江戸 中期		
240	10	SF109	(高)13.3 (幅)3.5	(外) 扉部へつらぎ、口縁部コナダ、蓋部ナダ、(内) 扉部へつらぎ、口縁部コナダ。	江戸 中期		
240	11	SF104	(高)10.0(口)5.6	(外) 扉部へつらぎ、蓋部ナダ、(内) 扉部ナダ。	江戸 中期		
240	12	SF104	(1)36.2(高)4.8 (幅)4.6	(外) 扉部ナダ、口縁部コナダ、蓋部ナダ、(内) 扉部ナダ、口縁部コナダ。	江戸 中期		
240	13	SF127	(1)13.9 (高)13.7	(外) 扉部へつらぎ、蓋部ナダ、口縁部コナダ、口縁部コナダ、蓋部ナダ、口縁部コナダ。	江戸 中期		
240	1	SD1	(1)36.8 (高)11.4	(外) 扉部へつらぎ、口縁部コナダ、蓋部ナダ、(内) 扉部へつらぎ、口縁部コナダ、蓋部ナダ。	江戸 中期		
240	2	SD1	(1)36.9 (高)15.0	(外) 扉部へつらぎ、口縁部コナダ、蓋部ナダ、(内) 扉部へつらぎ、口縁部コナダ、蓋部ナダ。	江戸 中期	大丸丸。	
240	3	SD5	(1)36.2 (高)7.0	(外) 扉部へつらぎ、口縁部コナダ、(内) 扉部へつらぎ、口縁部コナダ。	江戸 中期		
240	4	SD7	(1)36.2 (高)7.39	(外) 口縁部へつらぎコナダ、蓋部ナダ、(内) 口縁部へつらぎコナダ。	江戸 中期		
240	5	SD7	(1)32.9 (高)10.5	(外) 扉部へつらぎ、口縁部コナダ(横切線文込)、(内) 扉部へつらぎ、口縁部コナダ。	江戸 中期	大丸丸。	
240	6	SD8	(1)36.8 (高)6.30	(外) 扉部へつらぎ、口縁部コナダ、蓋部ナダ、(内) 扉部へつらぎ、口縁部コナダ、蓋部ナダ。	江戸 中期		
240	1	SD10 上層	(1)36.8 (高)6.50	(外) 口縁部へつらぎコナダ、蓋部ナダ、(内) 口縁部へつらぎコナダ。	江戸 中期		
240	2	SD10	(高)6.5(口)4.6	(外) 扉部へつらぎ、口縁部へつらぎ、蓋部ナダ、(内) 扉部へつらぎ、口縁部へつらぎ。	江戸 中期		
240	3	SD10 上層	(1)35.8 (高)6.0	(外) 口縁部コナダ(横切線文込)、蓋部ナダ、(内) 扉部へつらぎ、口縁部コナダ。	江戸 中期		
240	4	SD10	(1)36.1(高)8.2	(外) 扉部へつらぎ、口縁部コナダ、蓋部ナダ、(内) 扉部ナダ、口縁部コナダ。	江戸 中期		
240	1	SD10	(1)34.2 (高)6.0	(外) 扉部へつらぎ、口縁部コナダ、(内) 扉部へつらぎ、口縁部コナダ。	江戸 中期	大丸丸。	
240	6	SD10 上層	(1)22.9 (高)10.0	(外) 扉部へつらぎ、口縁部コナダ、(内) 扉部へつらぎ、口縁部コナダ。	江戸 中期		
240	7	SD10	(高)13.2(口)11.6	(外) 扉部へつらぎ、口縁部コナダ、蓋部ナダ、(内) 扉部へつらぎ、口縁部コナダ。	江戸 中期	大丸丸。輸入品(裏背多く含む)。	
240	8	SD10	(1)39.3(高)10.5 (幅)4.2	(外) 扉部へつらぎ、口縁部コナダ、蓋部ナダ、(内) 扉部ナダ、口縁部へつらぎ、口縁部コナダ。	江戸 中期		
240	9	高野小	(1)36.9 (高)9.7	(外) 扉部へつらぎ、口縁部コナダ(横切線文込)後へつらぎ、(内) 扉部へつらぎ、口縁部コナダ後へつらぎ。	江戸 中期	大丸丸。	
240	10	神	(1)36.6(高)13.0 (幅)1.6	(外) 扉部へつらぎ、口縁部コナダ、蓋部ナダ、(内) 扉部へつらぎ、口縁部コナダ。	江戸 中期		
240	11	高野小	(1)36.8(高)13.8 (幅)1.8	(外) 扉部へつらぎ、口縁部コナダ、蓋部ナダ、(内) 扉部へつらぎ、口縁部コナダ。	江戸 中期		
240	12	高野小	(高)12.7 (幅)1.2	(外) 扉部へつらぎ、口縁部コナダ、蓋部ナダ、(内) 扉部へつらぎ、口縁部コナダ。	江戸 中期		
240	13	高野小	(1)35.8(高)8.3 (幅)3.6	(外) 扉部へつらぎ、口縁部コナダ、蓋部ナダ、(内) 扉部へつらぎ、口縁部コナダ。	江戸 中期		
240	14	高野小	(高)10.1	(外) 扉部ナダ、口縁部コナダ、蓋部ナダ、(内) 扉部へつらぎ、口縁部コナダ。	江戸 中期		
240	15	SD10 上層	(1)32.8(高)4.8	(外) 扉部ナダ、口縁部コナダ、(内) 扉部ナダ、口縁部コナダ。	江戸 中期		
240	16	高野小	(1)24.8 (高)7.0	(外) 扉部へつらぎ、口縁部コナダ(横切線文込)、蓋部ナダ、(内) 扉部へつらぎ、口縁部コナダ後へつらぎ。	江戸 中期		
240	17	SD10 上層 下層	(1)32.2(高)15.0	(外) 扉部へつらぎ、口縁部コナダ(横切線文込)後へつらぎ、(内) 扉部へつらぎ、口縁部コナダ後へつらぎ。	江戸 中期		
240	18	高野小	(高)16.5	(外) 扉部へつらぎ、口縁部コナダ、蓋部ナダ、(内) 扉部へつらぎ、口縁部コナダ。	江戸 中期	四乳丸。	

第2節 遺物

押印	番号	種別	遺物	数量(㎡)	概要	色別	備考
202	11	白付瓦	SD19	(表) 03.7 (裏) 39.4	(外) 内部ヘラメ後ナツ、脚部コナツ。(内) 内部ヘラメナツ、脚部コナツ。	E10A E10B	
202	12	白付瓦	SD19 上層	(口) 13.9 (裏) 64.0	(外) 内部ヘラメナツ、口部コナツ後ヘラメナツ。(裏) 脚部コナツ後ヘラメナツ。	E10A E10B	
202	13	緑	SD19	(口) 18.0(裏) 1.5	(外) 内部ヘラメ、口部コナツ。(内) 内部ヘラメ後ナツ、口部コナツ。	E10A E10B	
202	14	緑	SD19 上層	(口) 36.2(裏) 10.8	(外) 内部ヘラメ、口部コナツ。(内) 内部ヘラメ後ナツ、口部コナツ。	E10A E10B	
202	15	黒砂	SD19	(口) 39.2 (裏) 63.9	(外) 内部ヘラメ後ヘラメナツ、口部コナツ後ヘラメナツ。(裏) 脚部コナツ後ヘラメナツ。	E10A E10B	大丸瓦
202	16	黒砂	SD19 下層	(表) 17.0	(外) 内部ヘラメナツ、脚部ヘラメナツ。(内) 内部ヘラメナツ、脚部ナツ。	緑	内丸瓦
202	17	黒	SD19	(口) 36.4(裏) 1.1	(外) 内部ヘラメ、つばみ後ナツ、口部コナツ。(内) 内部ヘラメ、口部コナツ。	E10A E10B	
202	18	黒	SD19 上層	(口) 11.9 (裏) 14.4	(外) つばみ後ヘラメ後ヘラメナツ、口部コナツ後ヘラメナツ。(内) 内部ヘラメ後コナツ。	黒	
202	19	脚部	SD19 上層	(表) 17.0 (裏) 30.2	(外) 内部ヘラメ後ナツ、後脚部コナツ。(内) 内部ヘラメ後ナツ、脚部ナツ後ナツコナツ。	浅黄 黄	
202	20	黒	SD19 上層	(表) 03.0	(外) 口部コナツ後コナツ。(内) 口部コナツ後コナツ。	青黄 緑	細粒砂(黒砂)。
202	21	黒	SD19 上層	(口) 39.4 (裏) 111.9	(外) 内部ヘラメ、口部コナツ(不明な脚部コナツ)。脚部にヘラメ後脚部コナツ後ナツ。 (内) 内部ヘラメ後コナツ。	浅黄	細丸瓦、コナツ。
202	22	黒砂瓦	SD19	(口) 17.9 (裏) 108.0	(外) 内部ヘラメ、口部コナツ。(内) 内部ヘラメ、口部コナツ。	浅黄 緑	細丸瓦。
204	1	黒	SD21	(口) 17.2 (裏) 4.3	(外) 内部ヘラメ後一割ナツ、裏部ヘラメ後ナツ。(内) 内部ヘラメ後ナツ、上ナツ。	浅黄 緑	
204	2	黒	SD21	(口) 19.0(裏) 17.1	(外) 内部ヘラメ、口部コナツ。(内) 内部ヘラメ後ナツ(一部ヘラメ)、口部コナツ。	E10A E10B	大丸瓦。
204	3	黒	SD21	(口) 32.9 (裏) 64.0	(外) 口部コナツ(脚部コナツ)。内) 内部コナツ後ヘラメナツ、口部コナツ後ナツ。 (内) 内部コナツ後ナツ、口部コナツ後ナツ。	浅黄	
204	4	脚部	SD21	(表) 36.0(裏) 13.7	(外) 内部ヘラメ後ヘラメナツ、脚部ヘラメ後ヘラメナツ。(内) 内部ヘラメ後ヘラメナツ、脚部ナツ。	E10A E10B	
204	5	白付瓦	SD21	(表) 17.0(裏) 10.4	(外) 内部ヘラメ後ヘラメナツ、脚部ヘラメ後ヘラメナツ、脚部コナツ。 (内) 内部ヘラメ後ナツ、上ナツ、脚部ナツ。	E10A E10B	
204	6	黒	SD21	(表) 17.0	(外) 内部ヘラメ、口部コナツ。(内) 内部ヘラメ後ナツ、口部コナツ。	E10A E10B	
204	7	黒砂	SD21	(表) 17.1(裏) 53.2	(外) 内部ヘラメ、脚部ナツ。(内) 内部ナツ。	浅黄	
204	8	黒	SD21	(口) 39.4 (裏) 64.0	(外) 口部コナツ(脚部コナツ)。内) 内部ヘラメ後ナツ、口部コナツ。	黒	大丸瓦。
204	9	黒	SD21	(口) 34.9 (裏) 66.0	(外) 内部ヘラメ、口部コナツ後ナツコナツ。脚部に脚部コナツ後ナツ、口部コナツ後ナツ。 (内) 内部ヘラメ後ナツ、口部コナツ後ナツ。	E10A E10B	大丸瓦、脚部瓦、瓦。
204	10	黒	SD21	(口) 18.1(裏) 10.9 (裏) 2.4	(外) 内部ヘラメ、口部コナツ後ナツコナツ、裏部ナツ。(内) 内部ナツ、口部コナツ。	浅黄 緑	
204	11	黒	SD21	(口) 14.7(裏) 11.9 (裏) 3.2	(外) 内部ヘラメ後ナツヘラメナツ、口部コナツ(脚部コナツ)。裏部ナツ。 (内) 内部ヘラメ後ナツ、口部コナツ。	浅黄	
204	12	黒	SD21	(口) 36.0(裏) 17.0	(外) 内部ヘラメ後ヘラメナツ、口部コナツ(脚部コナツ)。内) 内部ヘラメ後ナツ、口部コナツ。	灰白	
204	13	白付	SD21	(口) 14.0(裏) 11.6 (裏) 21.6	(外) 内部ヘラメ後ヘラメナツ、口部コナツ。脚部ヘラメ後ヘラメナツ、脚部コナツ。 (内) 内部ヘラメ後ヘラメナツ、下ナツ、口部コナツ。脚部ナツ後ヘラメナツ。	浅黄 緑	
204	14	黒	SD24	(口) 17.5 (裏) 36.0	(外) 内部ナツ、脚部に脚部コナツ後ナツ。口部コナツ。脚部コナツ。脚部コナツ後ヘラメナツ。 (内) 内部ナツ、口部コナツ後ナツ。	E10A E10B	大丸瓦。
204	15	黒砂	SD21 上層	(表) 12.3 (裏) 31.1	(外) 内部ヘラメ後ヘラメナツ、脚部コナツ。(内) 内部ナツ、脚部コナツ後脚部コナツ。	E10A E10B	
204	16	黒	SD22	(口) 39.2 (裏) 39.0	(外) 内部ヘラメ後ナツ、脚部コナツ。内) 内部ナツ、脚部コナツ。 (内) 内部ナツ、口部コナツ後コナツ。	E10A E10B	脚部瓦、瓦。
204	17	脚部	SD22	(表) 64.0(裏) 1.9	(外) 内部ヘラメ後ヘラメナツ、脚部ヘラメ後ナツ、脚部コナツ。(内) 内部ナツ、脚部コナツ。	E10A E10B	
204	18	脚部	SD23	(表) 11.3 (裏) 36.5	(外) 内部ヘラメ後ヘラメナツ、脚部コナツ。(内) 内部ヘラメ後ヘラメナツ、脚部コナツ。	E10A E10B	
204	19	黒	SD27	(口) 26.9 (裏) 61.7	(外) 内部ヘラメ、口部コナツ。(内) 内部ヘラメ、口部コナツ。	浅黄 緑	大丸瓦。
204	20	緑	SD28	(口) 36.4 (裏) 61.1	(外) 口部コナツ。(内) 内部ヘラメ後ナツ、口部コナツ。	浅黄 緑	
204	21	黒砂	SD41	(口) 39.4 (裏) 63.9	(外) 口部コナツ(脚部コナツ)。後脚部ヘラメナツ。(内) 内部コナツ後ヘラメナツ。	E10A E10B	
204	22	黒	SD41	(口) 36.0(裏) 4.5	(外) 内部ヘラメ後コナツ、口部コナツ(脚部コナツ)。内) 内部ナツ、口部コナツ後ナツコナツ。	E10A E10B	大丸瓦。
204	23	黒	SD43	(口) 14.4(裏) 29.6	(外) 内部ヘラメ、口部コナツ、裏部ナツ。(内) 内部ヘラメ後ナツ、口部コナツ。	E10A E10B	
204	24	黒砂瓦	SD46	(口) 34.9 (裏) 1.1	(外) 内部ヘラメ、口部コナツ(脚部コナツ)。内) 内部ヘラメ、口部コナツ。	E10A E10B	細丸瓦。
204	25	黒	SD47	(口) 39.2 (裏) 17.0	(外) 内部ヘラメ後コナツ(脚部コナツ)。脚部コナツ。内) 内部ヘラメ後コナツ。	黒	
204	26	黒	SD75	(口) 34.9 (裏) 17.2	(外) 内部ヘラメ後コナツ、脚部にナツ。内) 内部ヘラメ後コナツ。	浅黄 緑	
204	27	黒	SD75	(口) 34.4 (裏) 61.9	(外) 内部ヘラメ後コナツ。(内) 内部コナツ後ヘラメナツ。	E10A E10B	脚部コナツ瓦。
204	28	黒	SD75	(口) 39.9 (裏) 119.3	(外) 内部ヘラメ、口部コナツ。(内) 内部ヘラメ後ナツ、口部コナツ。	浅黄 緑	大丸瓦。

第4章 遺構と遺物

押出	番号	種別	遺構	数量(m)	調査	色別	備考
255	4	溝	SD75	(C)17.0 (測)17.0	(外) 内部ヘリウム、口縁部コナダ、裏面にヘリウム風採得状況。(内) 内部ヘリウム、口縁部コナダ。	緑 黄	特殊 土
255	5	溝	SD75	(C)36.0 (測)36.1	(外) 内部ヘリウム後ヘリウム、口縁部コナダ(裏面積文2条)、(内) 内部ヘリウム後ヘリウム、口縁部コナダ。	緑 黄	特殊 土
255	6	溝	SD75	(C)35.0 (測)35.0	(外) 内部ヘリウム、口縁部コナダ後ヘリウム、(内) 内部ヘリウム後ナダ、口縁部コナダ。	緑 黄	特殊 土
255	7	溝	SD99	(C)24.0 (測)24.2	(外) 口縁部ヘリウム後コナダ、裏面に積文2条、ヘリウム採得状況。(内) 口縁部コナダ、積文2条。	黄	特殊 土
255	8	溝	SD95	(C)19.0(測)19.0	(外) 内部ヘリウム、口縁部コナダ(裏面積文6条)、(内) 内部ヘリウム、口縁部コナダ。	緑 黄	特殊 土
255	9	溝	SD96	(C)12.4 (測)12.3	(外) 内部ヘリウム、口縁部コナダ、裏面に積文2条、(内) 内部ヘリウム、口縁部コナダ後ヘリウム。	緑 黄	特殊 土
255	10	溝	SD99	(C)19.0(測)19.7 (測)19.8	(外) 内部ヘリウム後ヘリウム、ヘリウム採得状況、口縁部ヘリウム後増設コナダ(裏面積文3条)、積目をもち 積文得文。裏面に積文2条、裏面ナダ。(内) 内部ヘリウム、口縁部ヘリウム後増設コナダ。	黄	特殊 土
255	11	溝	SD96	(C)16.0(測)16.0	(外) 内部ヘリウム、口縁部コナダ、裏面ナダ。(内) 内部ヘリウム、口縁部コナダ。	黄	特殊 土
255	12	溝	SD95	(C)17.0 (測)13.3	(外) 内部ヘリウム、口縁部ヘリウム後増設コナダ。 (内) 内部ヘリウム後ナダ、上ナダ、口縁部ヘリウム後増設コナダ。	緑 黄	特殊 土
255	13	溝	SD95	(C)12.2(測)4.1	(外) 内部ヘリウム後コナダ、口縁部コナダ、天部積文ヘリウム。 (内) 内部ヘリウム後コナダ、口縁部コナダ。	黄	特殊 土
255	14	溝	SD110	(C)16.4(測)4.0	(外) 内部ヘリウム後ヘリウム、口縁部コナダ後ヘリウム、(内) 内部ヘリウム、口縁部コナダ。	緑 黄	特殊 土
255	15	溝	SD124	(C)11.3(測)11.3 (測)11.2	(外) 内部ヘリウム後ヘリウム、口縁部コナダ。(内) 内部ヘリウム、口縁部ヘリウム後コナダ。	緑 黄	特殊 土
255	16	溝	SD122	(C)16.3(測)16.3 (測)16.4	(外) 内部ヘリウム後ナダ、口縁部コナダ、裏面ナダ。(内) 内部ヘリウム、口縁部コナダ。	黄	特殊 土
255	17	溝	SD131	(C)16.2(測)12.4 (測)16.8	(外) 内部ヘリウム、裏面ヘリウム、口縁部コナダ(裏面積文2条)、 (内) 内部ヘリウム後ナダ、口縁部コナダ後ヘリウム。	黄	特殊 土
255	1	溝	SD137	(C)16.0(測)17.3 (測)16.8	(外) 内部ヘリウム、裏面積文、積文、口縁部ヘリウム後コナダ。(裏面積文4条)、 (内) 内部ヘリウム後ナダ、口縁部コナダ。	黄	特殊 土
255	2	溝	SD137	(C)11.3 (測)11.0(測)11.1	(外) 内部ヘリウム、口縁部コナダ、裏面ナダ。(内) 内部ヘリウム、口縁部コナダ。	緑 黄	特殊 土
255	3	溝	SD137	(C)11.8 (測)11.0(測)11.0	(外) 内部ヘリウム後ヘリウム、口縁部ヘリウム後増設コナダ、裏面ナダ。 (内) 内部ヘリウム、口縁部ヘリウム後増設コナダ。	黄	特殊 土
255	4	溝	SD185	(C)16.2(測)16.5 (測)16.2	(外) 内部ヘリウム後ヘリウム、口縁部コナダ後ヘリウム、裏面ナダ。 (内) 内部ヘリウム後ヘリウム、口縁部コナダ後ヘリウム。	緑 黄	特殊 土
255	5	溝	SD166	(C)11.0 (測)10.0	(外) 内部ヘリウム後ナダ、口縁部コナダ(裏面積文2条)、(内) 内部ヘリウム、口縁部コナダ後ヘリウム。	緑 黄	特殊 土
255	6	溝	SD166	(C)16.0 (測)16.0	(外) 内部ヘリウム、口縁部コナダ(裏面積文2条)、(内) 内部ヘリウム、口縁部コナダ後ヘリウム。	黄	特殊 土
255	7	溝	SD166	(C)16.0 (測)16.0	(外) 内部ヘリウム、口縁部コナダ。(内) 内部ヘリウム、口縁部コナダ。	黄	特殊 土
255	8	溝	SD169	(C)11.0(測)11.2	(外) 内部ヘリウム後ナダ、つぎ内部ヘリウム後ナダ。(内) 内部ヘリウム、	緑 黄	特殊 土
255	9	溝	SD180	(C)11.7 (測)10.3	(外) 口縁部ヘリウム後ナダ。(内) 口縁部ヘリウム後増設コナダ。	黄	特殊 土
255	10	溝	SD181	(C)11.6 (測)11.3(測)11.0	(外) 内部ヘリウム後ヘリウム、口縁部コナダ後ヘリウム、裏面ナダ。 (内) 内部ヘリウム後ヘリウム、口縁部コナダ後ヘリウム。	緑 黄	特殊 土
255	11	溝	SD181	(C)17.2(測)16.2	(外) 内部ヘリウム、口縁部コナダ(裏面積文2条)、(内) 内部ヘリウム、口縁部コナダ。	黄	特殊 土
255	12	溝	SD181	(C)16.0(測)16.7	(外) 内部ヘリウム、口縁部コナダ(裏面積文2条)、(内) 内部ヘリウム、口縁部コナダ。	黄	特殊 土
255	13	溝	SD181	(C)14.6 (測)14.2	(外) 内部ヘリウム、口縁部コナダ(裏面積文4条)、(内) 内部ヘリウム、口縁部コナダ。	緑 黄	特殊 土
255	14	溝	SD183	(測)4.7	(外) 内部ヘリウム、つぎ内部ヘリウム後ナダ。(内) 内部ヘリウム、	緑 黄	特殊 土
255	15	溝	SD186	(C)14.2 (測)13.0	(外) 口縁部コナダ後ヘリウム、(内) 口縁部ヘリウム後コナダ。	緑 黄	特殊 土
255	16	溝	SD186	(C)13.5 (測)13.0	(外) 口縁部ヘリウム後ナダ(裏面積文3条)、後ヘリウム。 (内) 口縁部ヘリウム後ナダ、口縁部コナダ。	緑 黄	特殊 土
255	17	溝	SD186	(C)12.0 (測)11.0	(外) 内部ヘリウム、口縁部ヘリウム後増設コナダ。(内) 内部ヘリウム、口縁部コナダ。	黄	特殊 土
255	18	溝	SD186	(C)11.0 (測)10.5	(外) 口縁部ヘリウム後増設コナダ。(内) 口縁部コナダ後増設コナダ。	黄	特殊 土
255	19	溝	SD186	(C)17.0 (測)16.0	(外) 内部ヘリウム、口縁部コナダ後ヘリウム、裏面に積文2条、口縁部に積文得文。 (内) 内部ヘリウム、口縁部ヘリウム後コナダ。	緑 黄	特殊 土
255	1	溝	SD191	(C)14.0(測)13.7 (測)13.8	(外) 内部ヘリウム、口縁部コナダ、裏面ナダ。(内) 内部ヘリウム、口縁部コナダ。	黄	特殊 土
255	2	溝	SD191	(C)16.2(測)15.1 (測)15.8	(外) 内部ヘリウム後ヘリウム、上ナダ後ヘリウム、口縁部コナダ、裏面ヘリウム。 (内) 内部ヘリウム後ナダ、口縁部コナダ。	黄	特殊 土
255	3	溝	SD204	(C)12.7 (測)12.4	(外) 内部ヘリウム、下ヘリウム(後ヘリウム後ナダ)、裏面ヘリウム。(内) 内部ヘリウム、	黄	特殊 土
255	4	溝	SD204	(C)11.4 (測)11.0	(外) 内部ヘリウム、口縁部コナダ。(内) 内部ヘリウム、口縁部コナダ。	緑 黄	特殊 土
255	5	溝	SD206	(C)17.0(測)16.4	(外) 内部ヘリウム後ナダ、上ナダ後ヘリウム。(内) 内部ヘリウム、口縁部コナダ。	緑 黄	特殊 土
255	6	溝	SD211	(C)13.0 (測)13.1	(外) 内部ヘリウム、口縁部コナダ、裏面ヘリウム。(内) 内部ヘリウム後ナダ、口縁部コナダ。	黄	特殊 土
255	7	溝	SD211	(C)17.2 (測)16.4(測)16.4	(外) 内部ヘリウム後ヘリウム、裏面に積文得文、口縁部コナダ、裏面ナダ。 (内) 内部ヘリウム後ヘリウム、上ナダ後ナダ、口縁部コナダ。	緑 黄	特殊 土

第2節 遺物

押印	番号	種別	遺物	数量(㎡)	概要	色別	備考
202	10	碑	SD324	(口)1.8(奥)4.1 (口)2.7	(内) 碑頭ナブ、口縁部(口)ナブ、蓋部ナブ、(内面) 碑身ナブ、口縁部(ヘ)ナブ。	石 白	にま り遺
202	20	碑	SD324	(口)1.9(奥)1.4 (口)2.4	(内) 碑頭(ヘ)ナブナブ、口縁部(口)ナブ、蓋部ナブ、(内面) 碑身ナブ(蓋部付近縁部あり)、口縁部(口)ナブ。	石 白	にま り遺
202	31	旗	SD324	(口)1.8(奥) 0.8)	(内) 旗頭(ヘ)ナブ下平ナブ(下)ナブ、口縁部(口)ナブ。 (内面) 旗頭(下)ナブ(下)ナブ上ナブ、口縁部(ヘ)ナブ(口)ナブ。	石 白	にま り遺
202	1	石孔群	SD324	(口)26.8(奥)18.9 (口)2.9	(内) 旗頭(ヘ)ナブ、口縁部(口)ナブ、蓋部ナブ、(内面) 旗頭(ヘ)ナブ、口縁部(口)ナブ後縁部のみナブ。	石 白	旗 石
202	2	石孔群	SD324	(口)16.8(奥)18.9 (口)2.4	(内) 旗頭(ヘ)ナブ、口縁部(口)ナブ、蓋部ナブ、(内面) 旗頭(ヘ)ナブ、口縁部(口)ナブ。	石 白	旗 石
202	3	石孔群	SD324	(口)17.8(奥)20.7 (口)2.4	(内) 旗頭(口)ナブ(口)ナブ、口縁部(口)ナブ、(内面) 旗頭(ヘ)ナブ、口縁部(ヘ)ナブ後縁部(口)ナブ。	石 白	旗 石
202	4	石孔群	SD324	(口)17.8(奥)18.8 (口)1.8	(内) 旗頭(ヘ)ナブ、口縁部(口)ナブ、蓋部ナブ、(内面) 旗頭(ヘ)ナブ、口縁部(口)ナブ。	石 白	旗 石
202	5	石孔群	SD324	(口)17.2(奥)15.9 (口)2.7	(内) 旗頭(ヘ)ナブ、口縁部(口)ナブ、蓋部ナブ、(内面) 旗頭(ヘ)ナブ、口縁部(口)ナブ。	石 白	にま り遺
202	6	石孔群	SD324	(口)14.3(奥)11.4 (口)2.9	(内) 旗頭(ヘ)ナブナブ、口縁部(ヘ)ナブ、蓋部ナブ、(内面) 旗頭(ヘ)ナブ、口縁部(口)ナブ。	石 白	にま り遺
202	7	碑	SD24	(口)18.8(奥)15.0 (口)2.8	(内) 旗頭(ヘ)ナブ下平ナブ、蓋部(ヘ)ナブ、口縁部(口)ナブ(蓋部近縁部あり)、蓋部ナブ。 (内面) 旗頭(ヘ)ナブ(下)ナブ後(ヘ)ナブ、口縁部(口)ナブ後(ヘ)ナブ。	石 白	にま り遺
202	8	石孔群	SD324	(口)14.8(奥)11.4 (口)2.2	(内) 旗頭(ヘ)ナブ、口縁部(口)ナブ、蓋部ナブ、(内面) 旗頭(ヘ)ナブ、口縁部(口)ナブ。	石 白	にま り遺
202	9	碑	SD324	(口)12.8(奥) 8.1 (口)2.4	(内) 旗頭(ヘ)ナブ後(ヘ)ナブ、口縁部(口)ナブ後(ヘ)ナブ、蓋部(ヘ)ナブ。 (内面) 旗頭(ヘ)ナブ、口縁部(口)ナブ後(ヘ)ナブ。	石 白	にま り遺
202	10	碑	SD324	(口)12.8 (奥) 8.0)	(内) 旗頭(ヘ)ナブ、口縁部(口)ナブ(蓋部近縁部あり)後(ヘ)ナブ。 (内面) 旗頭(ヘ)ナブ後(ヘ)ナブ、口縁部(口)ナブ後(ヘ)ナブ。	石 白	ス キ コ ツ ア ル。
202	11	碑	SD324	(口)22.8(奥)11.6 (口)4.5	(内) 旗頭(ヘ)ナブ、口縁部(口)ナブ後(ヘ)ナブ、蓋部(ヘ)ナブ、 (内面) 旗頭(ヘ)ナブ後(ヘ)ナブ、口縁部(口)ナブ後(ヘ)ナブ。	石 白	にま り遺
202	12	碑	SD324	(口)11.8 (奥) 7.7)	(内) 旗頭(ヘ)ナブ後(ヘ)ナブ、口縁部(口)ナブ。 (内面) 旗頭(ヘ)ナブ後(ヘ)ナブ後(ヘ)ナブ、口縁部(口)ナブ後(ヘ)ナブ。	石 白	旗 石
202	13	碑	SD324	(奥) 8.0(奥)3.8	(内) 旗頭(ヘ)ナブ後(ヘ)ナブ、蓋部(口)ナブ、(内面) 旗頭(ヘ)ナブ後(ヘ)ナブ、蓋部(口)ナブ。	石 白	にま り遺
202	14	碑	SD324	(口)21.7(奥)11.3 (口)2.8	(内) 旗頭(ヘ)ナブ後(ヘ)ナブ、口縁部(口)ナブ(蓋部近縁部あり)、蓋部(ヘ)ナブ後(ヘ)ナブ、蓋部(口)ナブ。 (内面) 旗頭(ヘ)ナブ、口縁部(口)ナブ後(ヘ)ナブ、蓋部(口)ナブ、下平(ヘ)ナブ。	石 白	にま り遺
202	15	碑	SD324	(口)17.8(奥)18.1 (奥) 8.8	(内) 旗頭(ヘ)ナブナブ、口縁部(口)ナブ(蓋部近縁部あり)、蓋部(ヘ)ナブナブ、蓋部(口)ナブ。 (内面) 旗頭(ヘ)ナブ後(ヘ)ナブ、口縁部(口)ナブ、蓋部(ヘ)ナブ(蓋部近縁部あり)ナブ。	石 白	内 孔 あり
202	16	碑	SD24	(口)18.2 (奥) 18.0)	(内) 旗頭(ヘ)ナブ後(ヘ)ナブ、口縁部(口)ナブ、(蓋部近縁部あり)ナブ。 (内面) 旗頭(ヘ)ナブ、口縁部(口)ナブ後(ヘ)ナブ。	石 白	にま り遺
204	1	碑	SD324	(口)12.8 (奥) 12.3)	(内) 旗頭(ヘ)ナブ、口縁部(口)ナブ(蓋部近縁部あり)後(ヘ)ナブ、(内面) 旗頭(ヘ)ナブ後(ヘ)ナブ、 口縁部(口)ナブ後(ヘ)ナブ、蓋部(口)ナブ、下平(ヘ)ナブ、下平(ヘ)ナブ。	石 白	にま り遺
204	2	碑	SD324	(口)28.2(奥)10.4	(内) 旗頭(ヘ)ナブ、口縁部(口)ナブ、蓋部(口)ナブ(蓋部近縁部あり)後(ヘ)ナブ、(内面) 旗頭(ヘ)ナブ、 口縁部(口)ナブ後(ヘ)ナブ、蓋部(口)ナブ後(ヘ)ナブ。	石 白	にま り遺
204	3	碑	SD324	(口)12.8 (奥) 8.4)	(内) 旗頭(ヘ)ナブ、口縁部(口)ナブ(蓋部近縁部あり)、(内面) 旗頭(ヘ)ナブ、口縁部(口)ナブ後(ヘ)ナブ。	石 白	にま り遺
204	4	碑	SD324	(口)22.8 (奥) 17.0)	(内) 旗頭(ヘ)ナブ、口縁部(口)ナブ(蓋部近縁部あり)後(ヘ)ナブ、(内面) 旗頭(ヘ)ナブ、口縁部(口)ナブ後(ヘ)ナブ。 (内面) 旗頭(ヘ)ナブ後(ヘ)ナブ、口縁部(口)ナブ後(ヘ)ナブ。	石 白	にま り遺
204	5	碑	SD324	(奥) 18.0)	(内) 旗頭(ヘ)ナブ、(内面) 旗頭(ヘ)ナブ。	石 白	にま り遺
204	6	碑	SD324	(口)27.2 (奥) 18.4)	(内) 旗頭(ヘ)ナブ後(ヘ)ナブ、口縁部(口)ナブ後(ヘ)ナブ。 (内面) 旗頭(ヘ)ナブ、口縁部(口)ナブ後(ヘ)ナブ。	石 白	にま り遺
204	7	碑	SD324	(口)21.6 (奥) 14.0)	(内) 旗頭(ヘ)ナブ、口縁部(口)ナブ後(ヘ)ナブ、(内面) 旗頭(ヘ)ナブ、口縁部(口)ナブ後(ヘ)ナブ。	石 白	にま り遺
204	8	碑	SD324	(奥) 13.0 (口)1.2)	(内) 旗頭(ヘ)ナブ、蓋部(ヘ)ナブ、口縁部(口)ナブ。 (内面) 旗頭(ヘ)ナブ、蓋部(ヘ)ナブ、口縁部(口)ナブ。	石 白	にま り遺
204	9	碑	SD24	(奥)13.0)	(内) 旗頭(ヘ)ナブ、蓋部(ヘ)ナブ、(内面) 旗頭(ヘ)ナブ、蓋部(ヘ)ナブ。	石 白	にま り遺
204	10	碑	SD324	(奥)13.1) (口)14.5	(内) 旗頭(ヘ)ナブ後(ヘ)ナブ、蓋部(ヘ)ナブ後(ヘ)ナブ、(内面) 旗頭(上平(ヘ)ナブ、下平(ヘ)ナブ、 下平(ヘ)ナブ。	石 白	埋 没 遺 物
205	1	碑台	SD324	(口)31.9(奥)18.1 (奥) 16.6	(内) 旗頭(ヘ)ナブ後(ヘ)ナブ、口縁部(口)ナブ(蓋部近縁部あり)後(ヘ)ナブ、蓋部(ヘ)ナブ後(ヘ)ナブ、 (内面) 旗頭(ヘ)ナブ、口縁部(口)ナブ後(ヘ)ナブ、蓋部(ヘ)ナブ。	石 白	にま り遺
205	2	碑台	SD324	(口)26.1(奥)18.1 (奥) 16.1)	(内) 旗頭(ヘ)ナブ、口縁部(口)ナブ後(ヘ)ナブ、蓋部(ヘ)ナブ。 (内面) 旗頭(上平(ヘ)ナブ後(ヘ)ナブ、下平(ヘ)ナブ、口縁部(口)ナブ後(ヘ)ナブ、蓋部(ヘ)ナブ後(ヘ)ナブ。	石 白	にま り遺
205	3	碑台	SD324	(口)19.4 (奥) 17.0)	(内) 旗頭(ヘ)ナブ後(ヘ)ナブ、口縁部(口)ナブ(蓋部近縁部あり)。 (内面) 旗頭(上平(ヘ)ナブ、下平(ヘ)ナブ、口縁部(口)ナブ後(ヘ)ナブ、蓋部(ヘ)ナブ。	石 白	にま り遺
205	4	碑台	SD324	(口)21.8(奥)14.7	(内) 旗頭(ヘ)ナブ、口縁部(口)ナブ(蓋部近縁部あり)、(内面) 旗頭(ヘ)ナブ、口縁部(口)ナブ後(ヘ)ナブ。	石 白	にま り遺
205	5	碑台	SD324	(口)26.9 (奥) 13.0)	(内) 旗頭(ヘ)ナブ、口縁部(口)ナブ後(ヘ)ナブ。 (内面) 旗頭(上平(ヘ)ナブ、下平(ヘ)ナブ、口縁部(口)ナブ後(ヘ)ナブ、蓋部(ヘ)ナブ。	石 白	にま り遺
205	6	碑台	SD324	(口)33.9 (奥) 12.3)	(内) 口縁部(ヘ)ナブ後(ヘ)ナブ、蓋部(口)ナブ、口縁部(口)ナブ以上、(内面) 口縁部(ヘ)ナブ。	石 白	旗 石
205	7	碑	SD324	(口)18.7(奥)7.2	(内) 旗頭(口)ナブ後(口)ナブ、口縁部(口)ナブ、(内面) 旗頭(ヘ)ナブナブ、つまみ部ナブ。	石 白	にま り遺
205	8	碑	SD24	(口)18.7(奥)7.9	(内) 旗頭(ヘ)ナブナブ、口縁部(口)ナブ、つまみ部ナブ、(内面) 旗頭(ヘ)ナブナブ。	石 白	にま り遺
205	9	碑	SD324	(口)14.8(奥)13.8	(内) 全体ナブ(彫刻多く残す)、(内面) 旗頭(ヘ)ナブ、つまみ部ナブ。	石 白	にま り遺
205	10	碑	SD324	(口)13.2(奥)7.7 (口)2.7	(内) 旗頭(ヘ)ナブナブ、口縁部(口)ナブ、蓋部(口)ナブ、(内面) 旗頭(上平(ヘ)ナブ、下平(ヘ)ナブ、口縁部(口)ナブ、 蓋部(口)ナブ。	石 白	ス キ コ ツ ア ル。
206	1	碑	SD324	(口)11.8(奥)11.2 (奥)4.4	(内) 旗頭(ヘ)ナブ、口縁部(口)ナブ、蓋部(口)ナブ、(内面) 旗頭(ヘ)ナブ、口縁部(口)ナブ。	石 白	にま り遺

第4章 遺構と遺物

押出	番号	遺構	遺物	調査	色別	備考
204	2	溝	SD355	(□)22.2 (■)13.4	(外) 赤土・ヘラ土・灰土、口縁部コナダ、(内) 赤土・ヘラ土コナダ、	土色不明
204	3	溝	SD356	(□)16.9 (■)15.0	(外) 赤土・ヘラ土、口縁部コナダ、(内) 赤土・ヘラ土、口縁部コナダ、	浅褐色
204	4	溝	SD360	(□)36.9(■)30.0	(外) 赤土・ヘラ土、口縁部コナダ・ヘラ土、堀部に灰土、(内) 赤土コナダ、口縁部ヘラ土、ヘラ土厚積状土、	土色不明
204	5	溝	SD348	(■)13.1 (■)13.0	(外) 赤土・ヘラ土、底層コナダ、(内) 赤土コナダ、	灰褐色
204	6	溝	SD356	(□)14.9(■)8.5	(外) 赤土・ヘラ土、口縁部コナダ(厚積状土)、(内) 赤土・ヘラ土、口縁部コナダ、	土色不明
204	7	溝	SD356	(□)22.9 (■)14.0	(外) 赤土・ヘラ土、口縁部コナダ(厚積状土)、(内) 赤土・ヘラ土、口縁部コナダ、	褐色
204	8	溝	SD356	(□)27.6(■)4.3	(外) 赤土・ヘラ土、口縁部コナダ・ヘラ土、上平コナダ、厚積状土、竹筧文、瓦目をもつ遺物、	土色不明
204	9	溝	SD356	(□)25.9 (■)12.4	(外) 赤土・ヘラ土、口縁部コナダ・ヘラ土、(内) 赤土・ヘラ土、口縁部ヘラ土コナダ、	褐色
204	10	溝	SD356	(□)22.9 (■)16.3	(外) 赤土・ヘラ土、口縁部コナダ(内) 赤土コナダ、口縁部コナダ、	土色不明
204	11	溝	SD356	(□)24.9(■)5.8 (■)8.3	(外) 赤土・ヘラ土、口縁部コナダ、底層コナダ・ヘラ土、(内) 赤土コナダ、底層コナダ、	土色不明
204	12	溝	SD356	(□)27.6(■)12.0	(外) 口縁部コナダ、(内) 口縁部コナダ、	灰褐色
204	13	溝	SD360	(■)11.0	(外) 口縁部コナダ、竹筧形砂文、ヘラ土厚積状土、(内) 口縁部コナダ・ヘラ土、竹筧文、	褐色
204	14	溝	SD360	(■)13.7(■)20.0	(外) 赤土・ヘラ土、底層コナダ(厚積状土)、(内) 赤土コナダ、	褐色
204	15	溝	SD364	(□)16.9(■)12.0	(外) 口縁部コナダ(厚積状土)、(内) 赤土・ヘラ土、口縁部コナダ、	土色不明
204	16	溝	SD364	(■)17.0 (■)14.9	(外) 赤土・ヘラ土、底層コナダ・ヘラ土(内) 厚積状土・ヘラ土コナダ、上平コナダ、	土色不明
204	17	溝	SD371	(□)22.9 (■)16.3	(外) 赤土・ヘラ土、口縁部コナダ、(内) 赤土・ヘラ土、口縁部コナダ、	土色不明
204	18	溝	SD371	(□)16.8(■)3.9)	(外) 赤土・ヘラ土、口縁部コナダ(厚積状土)、(内) 赤土・ヘラ土、口縁部コナダ・ヘラ土、	褐色
207	1	溝	包含層 G28	(□)15.5(■)10.4 (■)4.2	(外) 赤土厚積状土、灰土、口縁部コナダ、口縁部コナダ、口縁部コナダ、口縁部コナダ、	土色不明
207	2	溝	3722 赤土	(■)6.0	(外) 赤土厚積状土、灰土、(内) 赤土コナダ、	褐色
207	3	溝	包含層 F26	(■)6.7	(外) 口縁部コナダ、口縁部コナダ、灰土、赤土、(内) 口縁部コナダ・ヘラ土、	灰褐色
207	4	溝	SD11	(■)5.5	(外) 赤土厚積状土、灰土、(内) 赤土コナダ、	灰褐色
207	5	溝	包含層	(■)5.5	(外) 口縁部コナダ、灰土、(内) 口縁部コナダ、	土色不明
207	6	溝	3725 赤土	(■)3.4	(外) 口縁部コナダ、灰土、口縁部コナダ、(内) 赤土コナダ、灰土、	灰褐色
207	7	溝	3727 赤土	(■)4.8	(外) 口縁部コナダ、灰土、(内) 口縁部コナダ、	土色不明
207	8	溝	3727 赤土	(■)5.5	(外) 口縁部コナダ、(内) 口縁部コナダ、	灰褐色
207	9	溝	3717 赤土	(■)16.7	(外) 赤土・ヘラ土、堀部土上へコナダ状土、(内) 赤土コナダ、	灰褐色
207	10	溝	3730 赤土	(□)20.2(■)13.9)	(外) 赤土・ヘラ土・ヘラ土、口縁部コナダコナダ・ヘラ土、堀部にヘラ土状土、	土色不明
207	11	溝	3721 赤土	(■)9.0	(外) 赤土・ヘラ土・ヘラ土、堀部コナダ状土、(内) 赤土コナダ、	土色不明
207	12	溝	3725 赤土	(■)12.9	(外) 赤土・ヘラ土、瓦目をもつ土質(灰土・赤土・底層)、堀部に瓦目をもつ土質、(内) 赤土・ヘラ土、	土色不明
207	13	溝	3723 赤土	(■)4.0	(外) 赤土・ヘラ土、ヘラ土状土、厚積状土、(内) 赤土コナダ、	褐色
207	14	溝	3733 赤土	(■)10.0	(外) 口縁部コナダ、堀部に瓦目をもつ土質、(内) 口縁部コナダ・ヘラ土、瓦目厚積状土、	褐色
207	15	溝	3735 赤土	(■)11.8)	(外) 赤土・ヘラ土・ヘラ土、口縁部コナダ・ヘラ土、堀部に瓦目をもつ土質、	土色不明
207	16	溝	3728 赤土	(■)10.2)	(外) 赤土・ヘラ土、瓦目をもつ土質、(内) 赤土コナダ、	褐色
207	17	溝	3726 赤土	(■)12.0)	(外) 赤土・ヘラ土、瓦目をもつ土質、(内) 赤土コナダ、	土色不明
207	18	溝	3726 赤土	(■)10.4)	(外) 赤土・ヘラ土、堀部にヘラ土状土、竹筧文、(内) 赤土コナダ、	灰褐色
208	1	溝	包含層 Y24	(□)22.1(■)11.1)	(外) 赤土・ヘラ土、堀部にヘラ土状土、口縁部コナダ、堀部コナダ、	土色不明
208	2	溝	3724 赤土	(□)16.9(■)8.7)	(外) 赤土・ヘラ土、口縁部コナダ、堀部に瓦目、堀部にヘラ土状土、(内) 赤土コナダ、口縁部コナダ、	褐色
208	3	溝	3711 赤土	(□)16.9(■)10.0)	(外) 赤土コナダ、口縁部コナダ、堀部に瓦目、堀部にヘラ土状土、(内) 赤土コナダ、口縁部コナダ、	褐色
208	4	溝	包含層 C18	(□)16.4 (■)16.3)	(外) 赤土・ヘラ土、口縁部コナダ、口縁部コナダ、	灰褐色
208	5	溝	包含層 A27	(□)21.9(■)10.0)	(外) 赤土コナダ、口縁部コナダ、堀部に瓦目、堀部にヘラ土状土、竹筧文、	土色不明

第2節 遺物

押印	番号	種別	遺物	数量(㎡)	調査	色別	備考
205	6	瓦	3724 七溝	[G]21.8 [測]15.4	(外) 赤部ナズ、口縁部ナズ、腹面に付目玉、腹面に付短直文3条。(内) 赤部ナズ、口縁部ナズ。	灰黒	
206	7	土	包含層 C18	[G]11.9 [測]10.6	(外) 赤部ヘナズ後ヘナズナズ、口縁部ナズ、腹面に付短直文3条。 (内) 赤部ヘナズ後ヘナズナズ、口縁部ナズ。	白 土 色	スズコが多少。
207	8	餅か	3722 丸溝	[測]14.0	(外) 赤部ヘナズ、口縁部ナズ。(内) 赤部ヘナズ、口縁部ナズ。	白 土 色	口縁部に亀背状突起付。
208	9	餅か	包含層 124	[測]16.9 [測]15.3	(外) 赤部ナズナズ、底辺ナズ。(内) 赤部ナズナズ。	黄	底面縁丸あり。
209	10	餅	3717 七溝	[G]14.9 [測]17.0	(外) 赤部ヘナズ、口縁部ナズ。(内) 赤部ナズ、口縁部ヘナズ後ナズ。	黄	底平あり。
210	11	餅	包含層 99	[G]14.2 [測]12.3	(外) 赤部ヘナズ、口縁部ナズ。(内) 赤部ヘナズ後ヘナズナズ、口縁部ナズ後ヘナズナズ。	黄	底平あり。
211	12	餅	3744 丸溝	[G]14.8 [測]13.7	(外) 赤部ヘナズ、口縁部ナズ。腹面に付短直文、竹管文。(内) 赤部ヘナズ後ナズ、口縁部ナズ。	白 土 色	スズコが多少。
212	1	土	包含層	[G]19.4 [測]11.9 [測]7.2	(外) 赤部ヘナズ後中位以上ナズ、口縁部ヘナズ後ナズ、底辺ヘナズ、腹面に付短直文、直線文、口縁部 に付短直文。(内) 赤部ヘナズ後下ナズ(一部ヘナズナズ)、口縁部ヘナズ後上ナズナズ、腹縁部直文。	赤褐色	スズコが多少、内面腹縁に点 縁部付的。
213	2	土	包含層 跡号	[測]11.3	(外) 赤部ヘナズナズ、口縁部ヘナズナズ、腹縁部直文。(内) 赤部ナズ、口縁部ヘナズ後ナズ。	白 土 色	
214	3	土	包含層 113	[G]22.3 [測]18.1	(外) 口縁部下ヘナズ、上平ナズ、ヘナズ縁ナズ。(内) 口縁部ヘナズ後上平ナズ。	黄褐色	
215	4	土	包含層 112	[G]27.7 [測]21.9	(外) 口縁部ヘナズ後ナズ、腹縁部直文。(内) 口縁部ナズ。	白 土 色	
216	5	土	包含層 124	[G]19.6 [測]14.2	(外) 口縁部ヘナズ後上平ナズ、腹縁部直文、腹縁部直線文。 (内) 口縁部ヘナズ後上平ナズ、腹縁部直文。	白 土 色	黄褐色斑色。
217	6	土	包含層 跡号	[G]12.2 [測]17.2	(外) 赤部ヘナズ、口縁部ナズ(図録文3条)。(内) 赤部ナズ。	灰黒	
218	7	土	包含層 跡号	[測]19.1	(外) 口縁部ナズ、腹縁部直文。(内) 口縁部ナズ。	黄褐色	
219	8	土	包含層 317	[G]16.4 [測]14.2	(外) 赤部ヘナズ、口縁部ナズ。(内) 赤部ナズ、口縁部ナズ、腹縁部直文。	黄	内面に突起あり。
220	9	土	包含層 99	[G]17.8 [測]11.3	(外) 赤部ナズ、口縁部ナズ。(内) 赤部ナズ、口縁部ナズ。	白 土 色	縁丸あり。
221	10	焼物	包含層 008	[G]12.8 [測]11.4	(外) 赤部ヘナズ後下平ヘナズナズ、口縁部ナズ。(内) 赤部ヘナズ後下平ヘナズナズ、口縁部ナズ。	灰白	
222	1	土	包含層 D21・ D22	[G]19.8 [測]14.0	(外) 赤部ヘナズ、口縁部ナズ。(内) 赤部ヘナズ後ナズ、口縁部ヘナズ後ナズ。	白 土 色	
223	2	土	包含層 A22	[G]17.7 [測]17.4	(外) 赤部ヘナズ、口縁部ナズ。(内) 赤部ナズ、口縁部ナズ。	黄	縁入込み。
224	3	土	包含層 A22	[G]16.2 [測]16.0	(外) 赤部ヘナズ、口縁部ナズ。(内) 赤部ナズ、口縁部ナズ。	白 土 色	縁入込み。
225	4	土	包含層 B21	[G]13.9 [測]12.3	(外) 赤部下位ヘナズナズ、中上位ヘナズ、口縁部ナズ、口縁部縁部直線1条、腹縁部直線3(5)条。 (内) 赤部ヘナズ後上平ナズ、口縁部ナズ。	灰褐色	スズコが多少。
226	5	土	包含層	[G]19.9 [測]16.8 [測]15.8	(外) 赤部ナズナズヘナズナズ、口縁部ナズ、腹縁部ナズ。(内) 赤部ナズ、口縁部ヘナズ後ナズ。	白 土 色	
227	6	土	包含層 39	[G]13.9 [測]12.3	(外) 赤部ヘナズ、口縁部ナズ(図録文2条)、腹縁部直線部直線1条。(内) 赤部ナズ、口縁部ナズ。	黄褐色	スズコが多少。
228	7	土	包含層 H13	[G]13.9 [測]17.4	(外) 赤部ヘナズ、口縁部ナズ(図録文3条)、腹縁部直線部直線1条、腹縁部直線部直線3(5)条。 (内) 赤部ヘナズ後ナズ、口縁部ナズ。	白 土 色	
229	8	餅	包含層 39	[G]16.2 [測]16.0	(外) 赤部ヘナズナズ、口縁部ナズ(図録文3条)。(内) 赤部ヘナズナズ、口縁部ナズナズ。	赤褐色	
230	9	餅	包含層 M1	[G]13.8 [測]15.4	(外) 赤部ヘナズ後上平ナズナズ、腹縁部直文、口縁部ナズ。 (内) 赤部ヘナズ後ヘナズナズ、口縁部ナズ後ヘナズナズ。	白 土 色	縁入込み(腹縁部有)。
231	10	餅	包含層 K8	[G]13.3 [測]14.0	(外) 赤部ヘナズナズ、口縁部ナズ(図録文2条)、腹縁部直線部直線1条。 (内) 赤部ヘナズ後ナズ、口縁部ナズ後ヘナズナズ。	白 土 色	
232	11	餅	包含層 K4	[G]14.9 [測]20.8 [測]13.2	(外) 赤部ヘナズ後ヘナズナズ、口縁部ナズ、腹縁部直線部直線1条、腹縁部直線部直線3(5)条。 (内) 赤部ヘナズナズ、口縁部ナズ後ヘナズナズ、腹縁部ナズ。	灰白	
233	12	餅	包含層 B13	[測]18.1	(外) 赤部ヘナズナズ、直線部直線2条。(内) 赤部ナズ。	白 土 色	
234	13	餅	包含層 K8	[測]16.4	(外) 赤部ヘナズナズ、腹縁部直線部直線1条。(内) 赤部ナズ。	白 土 色	
235	14	餅	包含層 K8	[測]19.0 [測]18.6	(外) 赤部ヘナズナズ、腹縁部ナズ。(内) 赤部ヘナズナズ。	白 土 色	内面に点状化。
236	15	餅	包含層 K8	[測]19.0 [測]11.4	(外) 赤部ヘナズナズ、口縁部ナズ、底辺ナズ。(内) 赤部ヘナズナズ、口縁部ナズ後ヘナズナズ。	白 土 色	内面に点状化あり。
237	1	土	包含層 G29	[G]16.4 [測]15.0	(外) 口縁部ナズ、腹縁部直線部直線1条、竹管片直線文。(内) 口縁部ナズ(後ヘナズナズ)。	白 土 色	竹管片直線部、縁部丸あり、 底平あり。
238	2	土	包含層 H11	[G]16.8 [測]14.1	(外) 口縁部ナズ、腹縁部直線部直線1条、竹管片直線部直線1条。(内) 口縁部ナズ。	白 土 色	竹管片直線部。
239	3	土	包含層 12	[G]18.2 [測]13.2	(外) 口縁部ナズ、腹縁部直線部直線1条、竹管片直線部直線1条。(内) 口縁部ナズ。	白 土 色	竹管片直線部、縁部丸あり。
240	4	土	包含層 128	[G]21.7 [測]11.1	(外) 口縁部ナズ、腹縁部直線部直線1条。(内) 口縁部ナズ後ヘナズナズ。	白 土 色	竹管片直線部。
241	5	土	包含層 14	[G]21.9 [測]11.4	(外) 口縁部ナズ、腹縁部直線部直線1条、竹管片直線部直線1条。(内) 口縁部ナズ。	灰褐色	竹管片直線部。
242	6	土	包含層 D17	[測]18.2 [測]16.3	(外) 赤部ヘナズナズ、口縁部ヘナズナズ、腹縁部ナズ。 (内) 赤部ヘナズ、口縁部ナズ。	白 土 色	竹管片直線部。
243	7	土	包含層 G19	[G]11.9 [測]16.0	(外) 赤部ヘナズナズ、口縁部ナズ、竹管片直線部直線1条、竹管文。 (内) 赤部ヘナズナズ、口縁部ナズ後ヘナズナズ。	白 土 色	
244	8	土	包含層	[G]14.9 [測]13.2	(外) 口縁部ナズ、腹縁部直線部直線1条、竹管片直線部直線1条。(内) 口縁部ナズ。	白 土 色	

第4章 遺構と遺物

押出	番号	種別	遺構	数量(㎡)	概要	色別	備考
271	9	包含層 J7	(C)21.8(高)14.0	(外) 口縁部コナダ、内形序文、(内) 口縁部コナダ。	灰黒		
271	10	包含層 H12	(C)21.4(高)10.0	(外) 口縁部ヘム、縁部ヘム後コナダ、(内) 口縁部コナダ、縁部ヘム後コナダ。	にぶい	口縁部縁部あり。	
271	11	包含層 F19	(C)13.2(高)7.2	(外) 口縁部ヘム後上ホコナダ、縁部縁状文、(内) 口縁部コナダ。	褐色	土師味濃厚。	
271	12	包含層 L1	(C)11.8(高)6.5	(外) 口縁部ヘム後上ホコナダ、縁部縁状文、ヘラ割状文、(内) 口縁部ヘム後上、上ホコナダ。	にぶい	輸入品、断面褐色、穴あり。	
271	13	包含層 J3	(C)10.9(高)5.0	(外) 口縁部ヘム後コナダ、上ホコナダ、ヘム裏縁列状文、帯状コナダ裏縁列状文、(内) 口縁部ヘム後コナダ。	灰白	輸入品あり。	
271	14	包含層 G28	(C)10.8(高)7.0(高)4.0	(外) 唇部ヘムコナダ、口縁部コナダ後ヘラコナダ、裏部ヘラコナダ、(内) 唇部コナダ、口縁部コナダ後ヘラコナダ。	黒		
271	15	包含層 O28	(C)11.8(高)6.0	(外) 口縁部ヘム後コナダ、片形序文、縁部に縁部縁状文、(内) 口縁部ヘム後コナダ。	灰黒		
271	16	包含層 K7	(C)10.2(高)6.0	(外) 口縁部ヘム後コナダ、縁部コナダ、口縁部縁、下部に片形文、(内) 口縁部コナダ。	褐色		
271	17	包含層 K2、K3	(C)10.4(高)6.0	(外) 唇部ヘム、口縁部コナダ片形序文、(内) 唇部ヘム後コナダ、口縁部コナダ、唇部ヘム後コナダ。	にぶい		
271	18	包含層 H6	(C)10.9(高)4.2	(外) 口縁部コナダ後ヘラコナダ、(内) 口縁部コナダ後ヘラコナダ。	にぶい		
271	19	包含層 J7	(C)11.8(高)11.2	(外) 唇部ヘム後コナダ、口縁部コナダ、(内) 唇部ヘラコナダ、口縁部ヘム後コナダ。	にぶい		
271	20	包含層 H2	(C)11.0(高)10.0	(外) 口縁部コナダ、(内) 口縁部コナダ。	にぶい		
271	21	包含層 G28	(C)14.7(高)8.2	(外) 唇部ヘラコナダ、口縁部コナダ(縁部縁文あり)、(内) 口縁部ヘラコナダ。	にぶい		
271	22	包含層 J28	(C)13.8(高)10.0	(外) 唇部ヘム後コナダ、口縁部コナダ、(内) 唇部ヘラコナダ、上ホコナダ後ヘラコナダ。	にぶい		
272	1	包含層 28号	(C)10.8(高)14.3	(外) 唇部ヘム、口縁部ヘム後上ホコナダ、(内) 唇部ヘラコナダ、口縁部ヘム後上ホコナダ。	にぶい		
272	2	包含層 G28	(C)13.9(高)12.0	(外) 唇部ヘム、口縁部ヘム後コナダ(縁部縁文あり)、(内) 唇部ヘラコナダ、口縁部ヘム後上ホコナダ。	にぶい	縁部縁文上に縁部縁文あり。	
272	3	包含層 J11	(C)10.4(高)10.0	(外) 口縁部ヘム縁部コナダ、裏部片形序文、(内) 口縁部ヘム。	にぶい		
272	4	包含層 H28	(C)10.2(高)13.2	(外) 唇部ヘムコナダ、口縁部ヘラコナダ(縁部縁文あり)、(内) 唇部コナダ、口縁部ヘム後コナダ、唇部コナダ。	にぶい		
272	5	包含層 L5	(C)12.9(高)10.0	(外) 口縁部ヘム後ヘラコナダ、縁部コナダ、(内) 口縁部コナダ後ヘラコナダ、唇部コナダ。	黒	輸入品(裏面含む)。	
272	6	包含層 H28	(C)10.8(高)10.0	(外) 口縁部コナダ、縁部縁状文、(内) 口縁部ヘム後コナダ。	にぶい		
272	7	包含層 H28	(C)10.8(高)10.0	(外) 唇部ヘラコナダ、口縁部コナダ(裏部縁文あり)、(内) 唇部ヘラコナダ後ヘラコナダ。	にぶい		
272	8	包含層 H28	(C)11.8(高)10.0(高)4.0	(外) 唇部ヘム、口縁部ヘム後上ホコナダ、裏部ヘム、(内) 唇部ヘラコナダ、口縁部ヘム後コナダ。	にぶい		
272	9	包含層 C22	(高)14.0(高)11.0	(外) 唇部ヘラコナダ、裏部ヘラコナダ、(内) 唇部ヘム後コナダ。	にぶい	輸入品あり。	
272	10	包含層 H28	(高)10.0	(外) 唇部ヘム後コナダ、縁部縁文あり、(内) 唇部コナダ。	にぶい		
272	11	包含層 J12	(高)14.0	(外) 唇部ヘム後コナダ、ヘラ割状文、(内) 唇部ヘム、口縁部コナダ。	にぶい		
272	12	包含層 J7	(C)17.0(高)5.3(高)2.0	(外) 唇部ヘラコナダ、口縁部コナダ、唇部コナダ、(内) 唇部ヘラコナダ(後ヘラコナダ)。	にぶい		
272	13	包含層 G28	(高)14.0	(外) 唇部ヘム後コナダ、(内) 唇部ヘム後コナダ。	灰黒	縁部縁部縁部あり。	
272	1	包含層 H6	(C)10.4(高)7.0	(外) 唇部ヘム、口縁部コナダ(縁部縁文あり)、裏部ヘラコナダ、(内) 唇部ヘラコナダ、口縁部コナダ。	にぶい	穴あり。	
272	2	包含層 K2	(C)17.0(高)10.0	(外) 唇部ヘム、口縁部コナダ(縁部縁文あり)、(内) 唇部ヘラコナダ、口縁部コナダ。	にぶい		
272	3	包含層 F22	(C)17.2(高)10.0	(外) 唇部ヘム、口縁部コナダ、(内) 唇部ヘラコナダ、口縁部コナダ。	にぶい	穴ありあり。	
272	4	包含層 J28	(C)10.2(高)14.0	(外) 唇部コナダ、口縁部コナダ、(内) 唇部ヘラコナダ後コナダ、口縁部コナダ。	にぶい		
272	5	包含層 H28	(C)10.8(高)14.0	(外) 唇部ヘム、口縁部コナダ、(内) 唇部ヘラコナダ後コナダ、口縁部ヘム後コナダ。	にぶい		
272	6	包含層 G28	(C)14.9(高)10.0	(外) 口縁部コナダ(縁部縁文あり)、縁部縁状文、(内) 唇部ヘラコナダ、口縁部コナダ。	にぶい		
272	7	包含層 H11	(C)10.8(高)10.0	(外) 唇部ヘム後コナダ、口縁部コナダ、唇部コナダにヘム縁部縁状文、(内) 唇部ヘム後コナダ、上ホコナダ、口縁部コナダ。	にぶい	輸入品。	
272	8	包含層 H28	(C)17.0(高)9.0	(外) 唇部コナダ、口縁部コナダ、(内) 唇部ヘラコナダ、口縁部コナダ。	灰白		
272	9	包含層 G28	(C)11.2(高)9.1(高)3.0	(外) 唇部ヘム、口縁部コナダ(縁部縁文あり)、唇部コナダ、(内) 唇部ヘラコナダ、口縁部コナダ。	にぶい		
272	10	包含層 H28	(C)11.0(高)14.7(高)2.7	(外) 唇部ヘム、口縁部コナダ(縁部縁文あり)、唇部コナダ、(内) 唇部ヘラコナダ、口縁部コナダ。	にぶい		
272	11	包含層 H12	(C)12.4(高)10.0(高)7.7	(外) 唇部ヘム、口縁部コナダ、唇部コナダ、(内) 唇部コナダ後ヘラコナダ、口縁部コナダ。	にぶい	断面縁部縁部あり、穴ありあり。	
272	12	包含層 K2	(C)10.8(高)12.0	(外) 唇部ヘム、ヘラ割片状文、序文、口縁部コナダ、縁部縁状文、片形序文、(内) 唇部コナダ、口縁部コナダ後ヘラコナダ、上ホコナダ。	灰黒		
272	13	包含層 H2	(C)10.8(高)10.0	(外) 口縁部ヘム後コナダ、縁部縁状文、裏部に縁部縁状文、(内) 口縁部ヘム後コナダ。	灰黒	穴あり、断面褐色。	

第2節 遺物

押印	番号	種別	遺物	数量(㎡)	調査	色別	備考	
	273	14	包巻	L31	(□)34.9(裏)32.0	(外)口縁部コナテ、縦線付点文、面線部に同目。(内)口縁部ヘム後コナテ。	灰黄 緑	大小丸、断面灰色。
	273	15	包巻	K24	(□)34.8(裏)32.3	(外)体部ヘム、口縁部コナテ、縦線付点文。(内)口縁部コナテ。	黄	大小丸。
	273	16	包巻	J26	(□)35.2(裏)35.6 (裏)7.7	(外)体部ヘム後下平テテ、口縁部コナテ、直線ナテ。(内)体部ヘム後ナテ、口縁部コナテ。	灰黄 緑	
	273	17	包巻	H00	(□)34.4 (裏)2.0	(外)口縁部ヘム後コナテ、直線部ヘラテ目。(内)口縁部ヘム後コナテ。	灰黄 緑	
	273	18	包巻	H09	(□)34.9 (裏)14.1	(外)体部ナテ、一定距離で急勾下縁線直線文、口縁部コナテ、縦線付点文。 (内)体部ナテ、口縁部コナテ。	灰黄 緑	大小丸、断面灰色。
	273	19	包巻	H	(□)37.4 (裏)13.2	(外)口縁部ヘム後コナテ、直下距離、2線一線の縁付点文、面線部に同目。	灰黄 緑	大小丸。
	273	20	包巻	J	(□)37.6(裏)32.0	(外)口縁部ヘム後コナテ、縦線付点文、面線部に同目。(内)口縁部ヘム後コナテ。	灰黄 緑	断面灰色。
	274	1	包巻	H	(□)39.5(裏)35.6 (裏)3.5	(外)体部ヘム後下平ナテ、口縁部ナテ、直線ナテ。(内)体部ヘラテ目、口縁部ナテ。	に よ り 黄	
	274	2	包巻	H	(□)39.4(裏)33.9 (裏)2.3	(外)体部ヘム、口縁部コナテ、直線ナテ。(内)体部ヘラテ目、口縁部コナテ。	に よ り 黄	
	274	3	包巻	J28	(□)34.4 (裏)7.3	(外)体部ヘム後ナテ、口縁部コナテ。(内)体部ヘラテ目後ナテ、口縁部コナテ。	に よ り 黄	片小丸。
	274	4	包巻	G28	(□)34.1(裏)30.2 (裏)4.9	(外)体部ヘム、口縁部コナテ、直線ナテ。(内)体部ヘラテ目後ナテ、口縁部コナテ、直線ナテ。	灰黄 緑	
	274	5	包巻	G28	(□)39.6(裏)19.1 (裏)20.4	(外)体部ヘラテ目、口縁部コナテ、直線ナテ。(内)体部ヘラテ目、口縁部コナテ、直線ナテ。	灰黄 緑	
	274	6	包巻	H28	(□)37.8(裏)7.9 (裏)5.9	(外)体部ナテ、口縁部コナテ、直線ナテ。(内)体部ナテ、口縁部コナテ、直線ナテ。	灰黄 緑	
	274	7	包巻	H29	(□)37.3(裏)4.1 (裏)5.7	(外)体部ヘラテ目、口縁部コナテ後ヘラテ目、直線ナテ。(内)体部ヘラテ目、直線ナテ後ヘラテ目。	灰黄 緑	
	274	8	包巻	H28	(裏)7.1(裏)2.5	(外)体部ナテ目、直線ナテ。(内)体部ナテ目。	灰黄 緑	
	274	9	包巻	H28	(裏)8.5(裏)3.4	(外)体部ヘラテ目、直線ナテ後ヘラテ目。(内)体部ヘラテ目、直線ナテ後ヘラテ目。	灰黄 緑	
	274	10	包巻	H30	(□)39.9(裏)11.3 (裏)7.4	(外)体部ナテ、口縁部コナテ、直線ナテ。(内)体部ナテ、口縁部コナテ、直線ナテ。	に よ り 黄	
	274	11	包巻	F29	(□)39.2(裏)16.5 (裏)2.3	(外)体部ヘム後ナテ、口縁部コナテ、直線ナテ。(内)体部ヘラテ目後ナテ、口縁部コナテ。	灰黄 緑	
	274	12	包巻	G29	(□)37.6(裏)12.9	(外)体部ナテ、口縁部コナテ。(内)体部ナテ、口縁部コナテ、直線ナテ。	灰黄 緑	
	274	13	包巻	G28	(裏)14.0(裏)8.8	(外)体部ヘム後ナテ、直線部コナテ。(内)体部ヘラテ目ナテ、直線ナテ。	灰黄 緑	
	274	14	包巻	G28	(裏)14.0(裏)3.4	(外)体部ナテ、直線部コナテ。(内)体部ナテ、直線ナテ。	黄	
	274	15	包巻	H15	(□)34.8(裏)2.8	(外)体部ナテ、口縁部コナテ。(内)体部ナテ、口縁部コナテ。	黄	
	274	16	包巻	G28	(□)38.8 (裏)39.3	(外)体部ヘム後ヘラテ目、口縁部コナテ(縦線直線文)。 (内)体部ヘラテ目、口縁部コナテ後ヘラテ目。	灰黄 緑	
	274	17	包巻	H29	(裏)14.0(裏)3.5	(外)体部ヘム、直線ナテ。(内)体部ナテ。	灰黄 緑	断面に半平ヘラテ部あり。
	274	18	包巻	A24	(□)42.7(裏)5.4 (裏)3.2	(外)体部ナテ、口縁部コナテ、直線ナテ。(内)体部ナテ、口縁部コナテ。	に よ り 黄	
	275	1	包巻	J14	(□)34.2 (裏)36.1	(外)体部ヘム後コナテ、口縁部コナテ。(内)体部コナテ、口縁部コナテ。	灰黄 緑	
	275	2	包巻	H7	(裏)36.0(裏)11.9	(外)体部ヘム後ナテ、直線部コナテ。(内)体部ヘム後下平ナテ、直線部コナテ。	灰黄 緑	内丸方向。
	275	3	包巻	G28	(□)38.8 (裏)7.7	(外)体部ヘラテ目、口縁部コナテ、直線ナテ。(内)体部ヘム後ナテ、直線ナテ。	黄	
	275	4	包巻	F29	(□)33.9(裏)36.3	(外)体部ヘム後ヘラテ目、口縁部コナテ後ヘラテ目、直線ナテ。 (内)体部ヘラテ目後コナテナテ。	灰黄 緑	
	275	5	包巻	H22	(□)37.8 (裏)7.6	(外)体部ヘラテ目、口縁部コナテ(縦線直線文)。(内)体部ヘラテ目、口縁部コナテ。	灰黄 緑	
	275	6	包巻	K8	(□)33.3(裏)30.0	(外)体部ヘラテ目、口縁部コナテ。(内)体部ヘラテ目、口縁部コナテ後ヘラテ目。	に よ り 黄	
	275	7	包巻	H11	(裏)7.3(裏)31.4	(外)体部ヘム後ヘラテ目、直線部直線文、直線部コナテ後ヘラテ目。 (内)体部直線ナテ、直線部ヘム後コナテ。	に よ り 黄	内丸4面集合4方向(1方向のみ)。
	275	8	包巻	K26	(裏)21.1 (裏)31.7	(外)体部ヘラテ目、(内)体部上平ナテ、下平ヘラテ目。	に よ り 黄	内丸方向。
	275	9	包巻	J14	(裏)12.8 (裏)13.7	(外)体部上平ヘラテ目、下平コナテ後ヘラテ目。(内)体部直線ナテ、直線部コナテ。	灰黄 緑	内丸方向。
	275	10	包巻	H	(□)31.9(裏)31.2 (裏)33.8	(外)体部ヘラテ目、直線部ヘラテ目。(内)体部ヘラテ目、直線部ヘム後コナテ。	灰黄 緑	内丸方向。
	275	11	包巻	K8	(裏)33.9(裏)7.2	(外)直線部コナテ後ヘラテ目。(内)直線部コナテ後ヘラテ目。	黄	
	275	12	包巻	H26	(□)31.2(裏)31.2	(外)体部ヘラテ目ナテ、口縁部コナテ(縦線直線文)。(内)体部ヘラテ目ナテ、口縁部コナテ(後ヘラテ目ナテ)。	灰黄 緑	
	275	13	包巻	H29	(□)38.7(裏)4.0	(外)体部ヘム後ヘラテ目、口縁部コナテ、直線ナテ。 (内)体部ヘム後ヘラテ目、口縁部コナテ後ヘラテ目。	に よ り 黄	
	275	14	包巻	F23	(裏)23.1	(外)口縁部コナテ目、直線部直線文。(内)口縁部コナテ目。	黄	
	275	15	包巻	H	(□)37.8(裏)22.0	(外)体部ヘラテ目ナテ、口縁部コナテ(縦線直線文)。(内)体部ヘラテ目ナテ、口縁部コナテ目。	黄	三角断面、平丸部に陥ら。

第4章 造標と造物

標記	品名	規格	数量(m)	単位	色別	備考	
227	100	包含層 B	(C)22.8(規)14.0	(外)体部へラビダ、口縁部コナダ、(内)体部へラビダのみ、口縁部コナダ(後へラビダのみ)。	にじり 白		
228	11	100	包含層 B2	(規)11.0(規)12.0	(外)体部へラビダのみ、口縁部コナダ(口縁部24本)、(内)体部へラビダのみ、口縁部コナダ。	にじり 白	内径14方。
229	16	100	包含層 L7	(規)10.0 (規)12.4	(外)体部へラビダのみ、口縁部コナダ(口縁部22本)、(内)体部へラビダのみ、口縁部コナダ。	にじり 白	内径14方。
230	19	100	包含層 G20	(規)10.0 (規)17.6	(外)体部へラビダのみ、口縁部コナダ、口縁部へラビダ、口縁部へラビダのみ、口縁部コナダのみ。	にじり 白	
231	20	100	包含層 G20	(C)12.0(規)10.3 (規)17.4	(外)体部へラビダのみ、口縁部コナダ(後へラビダのみ)、口縁部へラビダのみ、口縁部コナダ(後へラビダのみ)、口縁部へラビダのみ、口縁部コナダ(後へラビダのみ)、口縁部へラビダのみ、口縁部コナダ(後へラビダのみ)。	灰白	内径14方。
232	1	100	包含層 G20	(規)10.0(規)10.3	(外)体部へラビダのみ、口縁部コナダ、口縁部へラビダのみ、口縁部へラビダのみ、口縁部コナダ(後へラビダのみ)。	灰	
233	2	100	包含層 L2	(規)10.4 (規)11.9	(外)体部へラビダのみ、口縁部コナダ、口縁部へラビダのみ、口縁部へラビダのみ、口縁部コナダ(後へラビダのみ)。	灰	
234	3	100	包含層 A34	(C)10.6(規)8.6	(外)体部へラビダのみ、口縁部コナダ、口縁部へラビダのみ、口縁部へラビダのみ、口縁部コナダ(後へラビダのみ)。	灰	
235	4	多孔質	包含層 10	(規)14.2(規)14.9	(外)体部へラビダのみ、口縁部コナダ、口縁部へラビダのみ、口縁部へラビダのみ、口縁部コナダ(後へラビダのみ)。	灰	体積率50%。
236	5	多孔質	包含層 K6	(C)13.6(規)13.7	(外)体部へラビダのみ、口縁部コナダ、口縁部へラビダのみ、口縁部へラビダのみ、口縁部コナダ(後へラビダのみ)。	灰	体積率50%。
237	6	多孔質	包含層 G20	(規)10.0	(外)体部へラビダのみ、口縁部コナダ、口縁部へラビダのみ、口縁部へラビダのみ、口縁部コナダ(後へラビダのみ)。	灰	
238	7	多孔質	包含層	(規)10.0	(外)体部へラビダのみ、口縁部コナダ、口縁部へラビダのみ、口縁部へラビダのみ、口縁部コナダ(後へラビダのみ)。	灰	
239	8	多孔質	包含層 H20	(規)10.3	(外)体部へラビダのみ、口縁部コナダ、口縁部へラビダのみ、口縁部へラビダのみ、口縁部コナダ(後へラビダのみ)。	灰	輸入品(度々多量)。
240	9	多孔質	包含層 G20	(C)17.7(規)10.0	(外)体部へラビダのみ、口縁部コナダ、口縁部へラビダのみ、口縁部へラビダのみ、口縁部コナダ(後へラビダのみ)。	にじり 白	
241	10	多孔質	包含層 B9	(C)10.3(規)10.0	(外)体部へラビダのみ、口縁部コナダ、口縁部へラビダのみ、口縁部へラビダのみ、口縁部コナダ(後へラビダのみ)。	灰白	多量。
242	11	多孔質	包含層 R6 L6	(C)10.8 (規)10.3	(外)体部へラビダのみ、口縁部コナダ、口縁部へラビダのみ、口縁部へラビダのみ、口縁部コナダ(後へラビダのみ)。	灰	
243	12	多孔質	包含層 G20	(C)10.7	(外)体部へラビダのみ、口縁部コナダ、口縁部へラビダのみ、口縁部へラビダのみ、口縁部コナダ(後へラビダのみ)。	灰	多量。
244	13	多孔質	包含層 G20	(C)10.4 (規)11.2	(外)体部へラビダのみ、口縁部コナダ、口縁部へラビダのみ、口縁部へラビダのみ、口縁部コナダ(後へラビダのみ)。	にじり 白	
245	14	多孔質	包含層 G20	(C)20.5(規)12.0	(外)体部へラビダのみ、口縁部コナダ、口縁部へラビダのみ、口縁部へラビダのみ、口縁部コナダ(後へラビダのみ)。	にじり 白	
247	1	標準	包含層 F14	(C)12.4(規)10.7	(外)体部へラビダのみ、口縁部コナダ、口縁部へラビダのみ、口縁部へラビダのみ、口縁部コナダ(後へラビダのみ)。	灰	
247	2	標準	包含層 G19	(規)10.0(規)10.0	(外)体部へラビダのみ、口縁部コナダ、口縁部へラビダのみ、口縁部へラビダのみ、口縁部コナダ(後へラビダのみ)。	灰	
247	3	標準	包含層 B23	(規)11.0(規)11.4	(外)体部へラビダのみ、口縁部コナダ、口縁部へラビダのみ、口縁部へラビダのみ、口縁部コナダ(後へラビダのみ)。	灰	
247	4	標準	包含層 B23	(C)12.8(規)11.0	(外)体部へラビダのみ、口縁部コナダ、口縁部へラビダのみ、口縁部へラビダのみ、口縁部コナダ(後へラビダのみ)。	灰	
247	5	標準	包含層 B27	(C)13.0(規)11.5	(外)体部へラビダのみ、口縁部コナダ、口縁部へラビダのみ、口縁部へラビダのみ、口縁部コナダ(後へラビダのみ)。	灰	
247	6	標準	包含層 F19	(C)13.2(規)11.8	(外)体部へラビダのみ、口縁部コナダ、口縁部へラビダのみ、口縁部へラビダのみ、口縁部コナダ(後へラビダのみ)。	灰	
247	7	標準	包含層 C18	(C)14.6(規)11.7	(外)体部へラビダのみ、口縁部コナダ、口縁部へラビダのみ、口縁部へラビダのみ、口縁部コナダ(後へラビダのみ)。	灰	
247	8	標準	包含層 B27	(C)14.0(規)12.0	(外)体部へラビダのみ、口縁部コナダ、口縁部へラビダのみ、口縁部へラビダのみ、口縁部コナダ(後へラビダのみ)。	灰	
247	9	標準	包含層 B	(C)11.6(規)11.4	(外)体部へラビダのみ、口縁部コナダ、口縁部へラビダのみ、口縁部へラビダのみ、口縁部コナダ(後へラビダのみ)。	灰	
247	10	標準	包含層 J	(規)10.0(規)10.0	(外)体部へラビダのみ、口縁部コナダ、口縁部へラビダのみ、口縁部へラビダのみ、口縁部コナダ(後へラビダのみ)。	灰	
247	11	標準	不明	(規)10.0(規)10.0	(外)体部へラビダのみ、口縁部コナダ、口縁部へラビダのみ、口縁部へラビダのみ、口縁部コナダ(後へラビダのみ)。	灰白	
247	12	標準	包含層 J	(規)10.0(規)10.0)	(外)体部へラビダのみ、口縁部コナダ、口縁部へラビダのみ、口縁部へラビダのみ、口縁部コナダ(後へラビダのみ)。	灰白	製造機変更あり。
247	13	標準	包含層 B27	(規)10.0(規)11.7	(外)体部へラビダのみ、口縁部コナダ、口縁部へラビダのみ、口縁部へラビダのみ、口縁部コナダ(後へラビダのみ)。	灰白	製造機変更あり。
247	14	標準	包含層 D19	(規)10.0(規)10.0)	(外)体部へラビダのみ、口縁部コナダ、口縁部へラビダのみ、口縁部へラビダのみ、口縁部コナダ(後へラビダのみ)。	灰白	内径14方。
247	15	標準	包含層	(規)10.0(規)11.0)	(外)体部へラビダのみ、口縁部コナダ、口縁部へラビダのみ、口縁部へラビダのみ、口縁部コナダ(後へラビダのみ)。	灰白	
247	16	標準	包含層 K3	(規)10.0(規)10.0)	(外)体部へラビダのみ、口縁部コナダ、口縁部へラビダのみ、口縁部へラビダのみ、口縁部コナダ(後へラビダのみ)。	灰白	
247	17	標準	包含層 SX7	(規)10.0(規)11.0)	(外)体部へラビダのみ、口縁部コナダ、口縁部へラビダのみ、口縁部へラビダのみ、口縁部コナダ(後へラビダのみ)。	にじり 白	内外面に焼入。
247	18	標準	包含層 P17	(C)14.4(規)14.0)	(外)体部へラビダのみ、口縁部コナダ、口縁部へラビダのみ、口縁部へラビダのみ、口縁部コナダ(後へラビダのみ)。	灰	製造機変更あり。
247	19	標準	包含層 G12	(C)11.2(規)10.0)	(外)体部へラビダのみ、口縁部コナダ、口縁部へラビダのみ、口縁部へラビダのみ、口縁部コナダ(後へラビダのみ)。	灰	内外面に焼入、焼入済み。
247	20	標準	包含層 C18	(C)25.0(規)13.0)	(外)体部へラビダのみ、口縁部コナダ、口縁部へラビダのみ、口縁部へラビダのみ、口縁部コナダ(後へラビダのみ)。	灰	内外面に焼入。
247	21	標準	包含層 P21	(C)10.0(規)11.0)	(外)体部へラビダのみ、口縁部コナダ、口縁部へラビダのみ、口縁部へラビダのみ、口縁部コナダ(後へラビダのみ)。	灰	内外面に焼入。
247	22	標準	包含層 P21	(C)10.0(規)11.0)	(外)体部へラビダのみ、口縁部コナダ、口縁部へラビダのみ、口縁部へラビダのみ、口縁部コナダ(後へラビダのみ)。	灰	内外面に焼入。
247	23	標準	包含層 P21	(C)10.0(規)11.0)	(外)体部へラビダのみ、口縁部コナダ、口縁部へラビダのみ、口縁部へラビダのみ、口縁部コナダ(後へラビダのみ)。	灰	内外面に焼入。

第11表 土製品観察表

標記	品名	規格	数量(m)	単位	色別	備考	
248	1	分銅用土製品	包含層 G13	(規)10.0(規)10.0)11.2	G1.75	金赤をナダの後、裏面・裏面に焼入。	にじり 白
248	2	土鐘	包含層 127	(規)6.0(規)3.4	97.3	金赤をナダ。	焼入
248	3	土鐘	包含層 130	(規)7.1(規)4.0)	137.8	金赤をナダ。	灰白
248	4	土鐘	包含層 121	(規)4.7(規)4.5)	129.0	金赤をナダ。	灰白
248	5	土鐘	包含層 127	(規)4.2(規)4.3)	71.7	金赤をナダ。	灰白
248	6	土鐘	包含層 129	(規)4.2(規)3.3)	118.0	金赤をナダ。	灰白

2 石器・石製品

府中石田遺跡から出土した石器・石製品（玉類およびその関係遺物を除く）は、尖頭器・石鏃・スクレイパー・石包丁・打製石斧・磨製石斧・楔形石器・石錘・磨石・敲石・凹石・石皿・台石・砥石・石棒・紡錘車など、量は少ないが多様な器種がある。およそ半数は包含層出土として取り上げたもので、遺構出土の一部を除き、所属時期は明らかでない。ただし分布をみると、Ⅰ区からⅡ区南半にかけてと、Ⅳ・Ⅵ区西半からⅦ区にかけての両建物域に集中しており、出土土器の傾向から、これらの大半は弥生時代後期の所産と考えて大過ないであろう。出土したほぼすべての器種を網羅しており、特に敲石や砥石の出土量が多い。また、Ⅳ区東半の東部にも分布のまとまりが認められ、こちらは弥生前期の遺構・遺物が集中する範囲に重なる。器種では石鏃や磨石、剥片類が目立つ。そのほか、形態から縄文時代に帰属すると考えられる個体も存在する。

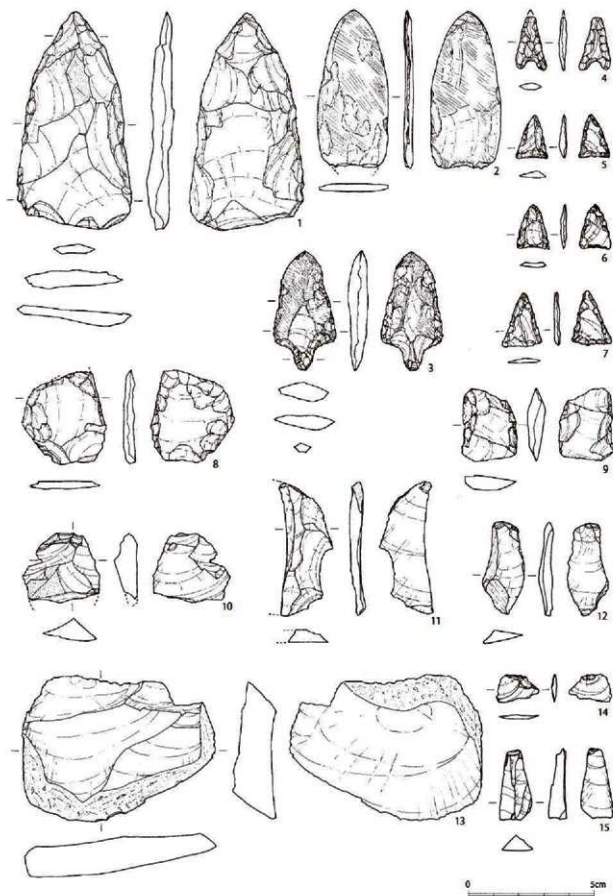
以下、器種ごとに解説する。なお、記述において正面・裏面および上下左右は掲載した実測図を基準にしている。

尖頭器（第279図1・2）2点検出した。1は最大幅を基部にもつ尖頭器で、H12グリッドで出土した。薄手の作りだが、全体に調整は粗く、素材剥片の背面（節理面）および腹面の一部を残している。未製品の可能性もあろう。石質は頁岩とみられる。2はSD11から出土した。研磨で仕上げられており、両側面に狭い面をもつ。基部を欠損している。石質は頁岩とみられる。

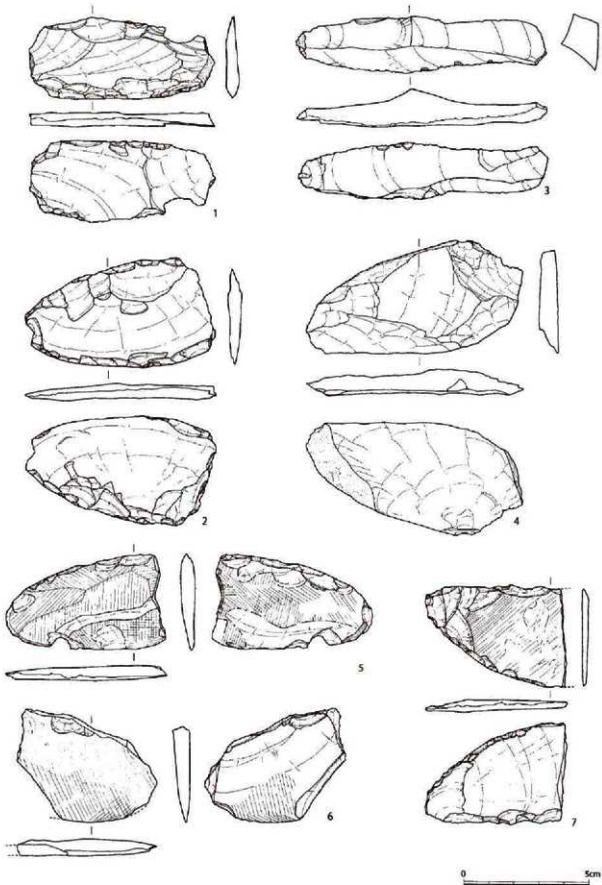
石鏃（第279図3～8）未製品を含め6点検出した。3は有茎鏃で、SD19から出土した。身部が研磨されているが、基部の調整剥離は研磨面より新しく、形状から磨製石剣の先端部破片を再加工したものと推測される。4は凹基無茎鏃である。SP1の上面で検出した。先端を欠損し、器面は著しく摩耗している。5～7は弥生前期の土坑墓とみられる遺構から出土した。石質はいずれもサヌカイトとみられる。5・6はSX27で検出したもので、石質・形態・サイズ共に良く似ている。基辺はわずかに窪むが、調整剥離の様子から平基の範疇で捉えられよう。調整剥離は浅く周縁にとどまる。5の正面には素材剥片背面の稜が鎮状に残る。7はSX29から出土した。平基無茎鏃で、やはり周縁調整のみで仕上げられ、素材面を広く残している。8はF25グリッドで出土した。未製品と考えられ、剥片の両面に周縁加工が施されている。石質は頁岩か。

剥片（第279図10～15）29点検出した。石質から主に石鏃製作に関連すると考えられる剥片を図示した。石質はいずれもサヌカイトである。10は石鏃（同図5・6）と共にSX27から出土した。打面は剥離面の単打面で、バルブは発達していない。末端はヒンジフラクチャーをなす。11は自然面打面をもつ。バルブは発達していない。12は打面が線状をなし、両極打撃による可能性がある。13は盤状を呈す比較的大型の剥片である。打面を含め、ほぼ全周に自然面が残る。打面直下にリップを形成し、バルブは発達していない。14は石鏃（同図7）と共にSX29から出土した貝殻状剥片である。15は線状打面をもつ。バルブは発達していない。

スクレイパー（第280図1～4）剥片の縁辺に連続的な調整加工を施し、刃縁を作出したものに加え、剥片の鋭い縁辺をそのまま刃部として用いたと考えられるいわゆる「使用痕のある剥片（U.F.）」もここに含めて記述する。各2点を確認した。第280図1・2は剥片の縁辺を調整加工により刃部としたものである。いずれも素材に両面がポジティブな横長剥片を用いている。石質は細粒砂岩である。1はH29グリッドで出土した。刃部が直線的で、全体形もおおよそ長方形を呈す。刃部は一応両面調整であるが、片面に集中的に施されている。側端には自然面がみられる。2の刃部は片面調整で、緩やかに



第279図 尖頭器・石鏃11か実測図(縮尺2/3)



第280図 スクレイパー・石包丁実測図(縮尺2/3)

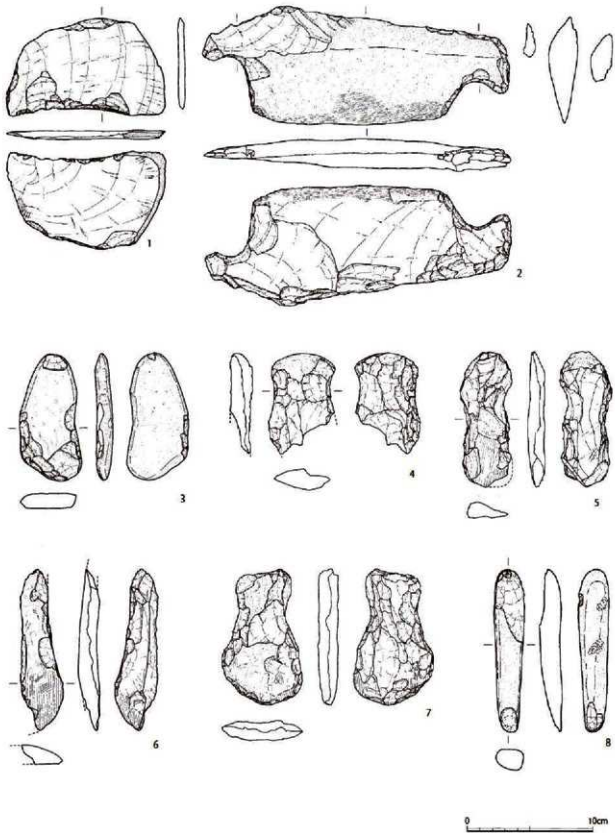
外湾する。素材剥片の打点側は両面調整が施されており、こちらも刃部として利用された可能性がある。3・4は縁辺に使用の痕跡が認められる剥片である。3はC22グリッドで出土した。おそらく両極打撃による縦長剥片を使用したもので、一側縁に連続する微細な剥離痕が観察される。石質はサヌカイトか。4は方形周溝墓ST41の北溝から出土した。横長剥片の縁辺が摩耗しており、使用による痕跡と考えたものである。石質は頁岩とみられる。

石包丁 (第280図5~7) 全面が研磨され穿孔が施される典型的な例は認められないが、図示した3点をこの器種として報告する。5はF12グリッドで出土した。ほぼ全面が研磨され、刃部を画する輪状の後縁が端部付近に観察される。半分程度を欠損しているものと推測されるが、欠損面にも研磨がおよんでいる。石質は細粒砂岩。6はI15グリッドで出土した。研磨が刃縁から体部中位にとどまるもので、背面が自然面の剥片を素材に用いている。石質は細粒砂岩。7は周溝建物SH8の柱穴SP1022から出土した。片面のみ研磨されるが、端部から刃部にかけては研磨がおよんでいない。器体が非常に薄いことから、研磨途中で破損し、放棄されたものであろうか。石質は頁岩とみられる。

大型石包丁 (第281図1・2) 2点を検出した。いずれも石質は細粒砂岩。1は方形周溝墓ST24の東溝から出土した。全体がおおよそ半月形を呈し、刃縁はやや内湾する。円礫を薄く輪切りにしたような剥片を素材に用いており、片側縁から刃縁にかけて自然面を残している。2はI12グリッドで出土した。長方形を呈する体部の両端上部に突起をもつ。突起は刃部側から挟るように作出され、挟りの縁辺はつぶれが顕著である。素材には亜円礫の表皮を打ち欠いた剥片を用い、背面は自然面に広く覆われている。刃部両面は研磨されたように滑らかで、刃縁にやや斜交する線状痕が顕著に認められる。

打製石斧 (第281図3~7) 8点を検出した。3はSD326から出土した。扁平な円礫の片面端部を集中的に加工し刃部とする。側縁にも加工はおよんでいるが、全形は素材の形状を保っている。石質は砂岩である。4はI28グリッドで出土した。撥形を呈する打製石斧の基部で、基部部に自然面を残す。石質はホルンフェルス。5はG30グリッドで出土した。短冊形の打製石斧で、側縁はやや内湾する。基部部には自然面を残す。刃部は摩耗しており、縦方向の線状痕が認められる。石質は頁岩か。6はE26グリッドで出土した。撥形の打製石斧で縦に約1/2を欠失している。片面に自然面を広く残す。刃部は著しく摩耗しており、縦方向の線状痕も認められる。摩耗は欠損面にもおよんでおり、欠損後も使用されたことがうかがえる。石質は凝灰岩とみられる。7も撥形の打製石斧である。I29グリッドで出土した。片面に自然面を残す。刃部は著しく摩耗し、部分的に研磨されたような滑面をなす。縦方向の線状痕も認められる。

磨製石斧 (第282図1~8) 9点を検出した。1~5は太型蛤刃石斧である。1は方形周溝墓ST28の東溝から出土した。断面がやや扁平な楕円形を呈すもので、刃部を欠失する。基部から側縁にかけて敲打痕が集中的に認められる。石質は閃緑岩。2はSK126から出土した。断面が肉厚な楕円形を呈すもので、やはり刃部を欠失する。主面と側縁に敲打痕の集中箇所が認められる。石質は安山岩。3はSK140から弥生前期の土器(第245図5~12)と共に出土した。裏面が基部部付近を除き平坦で、蒲鉾形に近い断面形状をもつ。刃部のほとんどを欠失するが、右側縁のわずかな範囲に刃縁を残している。石質は砂岩。4はST29西溝から出土した。断面が厚い凸レンズ状をなす刃部であり、右側縁から刃縁にかけて敲打痕の集中がみられる。石質は閃緑岩。5も刃部破片で、石質は砂岩。裏面は刃縁沿いを残し欠失している。6はH29グリッドで出土した扁平片刃石斧である。全体的に灰白色を呈し、白色・黒色の縞模様はいはる緻密な石材を用いている。基部には広い範囲で成形時の剥離面が完全に研磨されず



第281圖 大型石包丁・打製石斧ほか実測図(縮尺1/3)